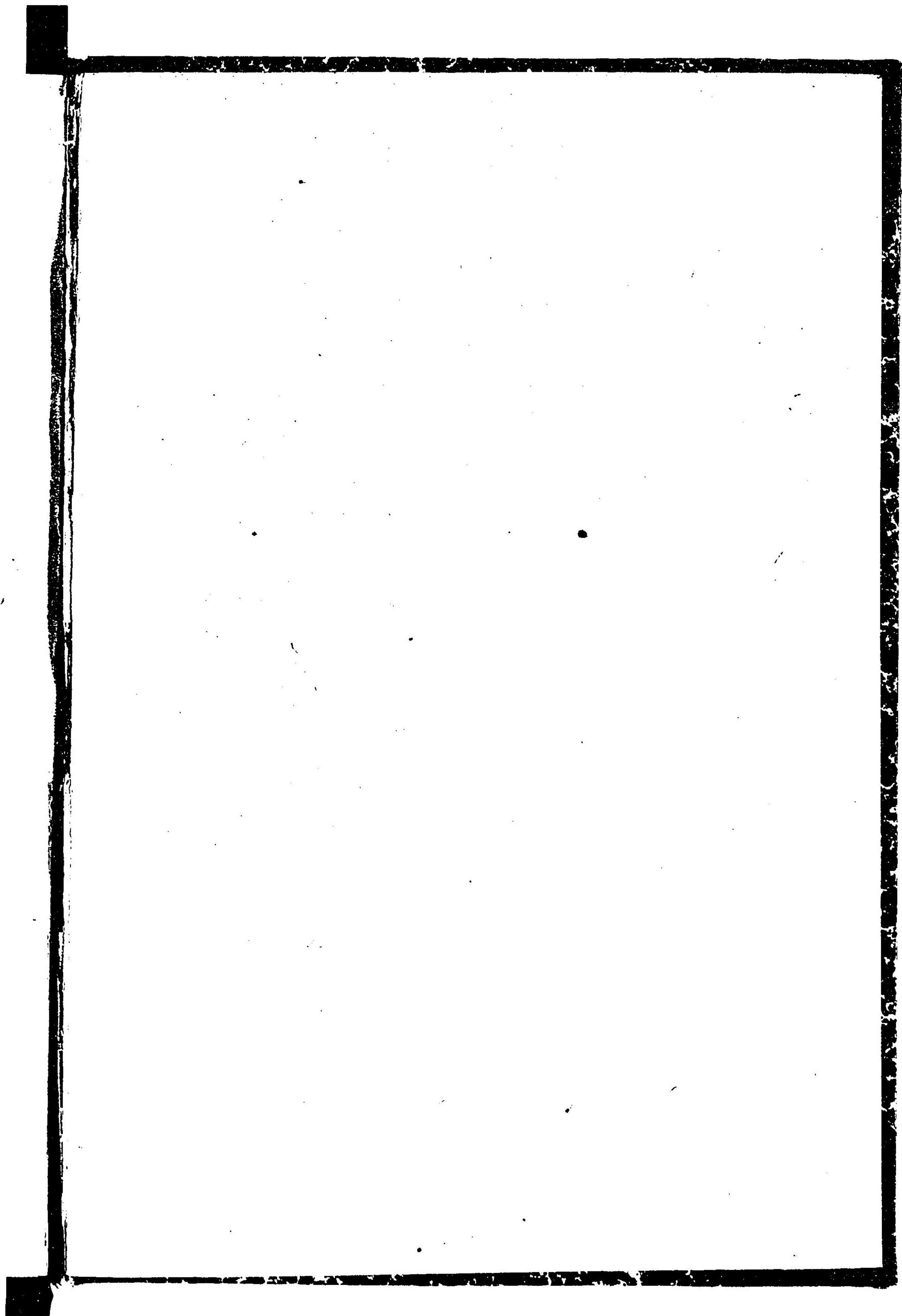


台灣各店視察復命書





未報告書

以テ視察シ

タルノ責務

及各支店ノ

参考ニ資

臺灣各店各船ノ事務ニ關シ周到ナル注意ヲ

以テ視察シタルノ結果ニシテ能ク調査員トシテ出張シ

タルノ責務ヲ竭シタルモノト謂フベシ周子ク關係各船

及各支店ノ海陸員ニ示シ以テ將來ニ於ケル整理計畫ノ

参考ニ資セノコトヲ要ス

明治三十四年一月

大阪商船株式會社

社長 中橋德五郎 識



緒言

明治三十三年九月臺灣安平支店其他各港ニ於ケル事故荷物取調ノ爲メ出張ノ命ヲ奉シ全月十日本社ヲ發シ十月三十一日ヲ以テ歸社仕候其間見聞セシ所耳目ヲ新ニセシモノ甚カラス候ヘトモ只自カラ首肯シ自カラ會得セシニ止マリ之ヲ筆ニスルニ當リテ偏ニ調査ノ精ナラザリシヲ悔ヒ申候加フルニ車城、南灣、卑南、花蓮港ノ諸港ニ在リテハ會々風浪烈シクシテ一モ上陸調査スルヲ得ザリシハ特ニ遺憾トスル所ニ候左ニ聊カ所見ヲ叙シテ以テ復命仕候

明治三十三年十一月

社員 樫尾 繁治

社員 藤田 子儀

社長 中橋德五郎殿

臺灣各店視察復命書

目次

第一編 安平

第一章 事故荷物取調ノ結果

一

第一節 不着荷物辨償ニ對スル取調ノ結果

第一款 取調ノ發端

第二款 大阪及神戸

第三款 基隆

第四款 安平

第一項 取調ノ順序及海陸授受ノ關係

第二項 賠償責任ノ有無

第三項 本辨償問題ノ狀況

第二節 現在ノ事故荷物取調ノ結果

第一款 一般事故荷物取調ノ結果

第二款 中品取扱荷物ノ事

第三節 事故荷物ノ多キ原因及其發生ニ對スル意見

第一款 不着荷物ニ對スル原因

第二款 不着以外ノ事故荷物ニ對スル原因

第二章 店務ノ取扱及組織

二十頁

第一節 事故荷物取扱方

第二節 執務ノ現況

第三節 倉庫及荷捌ノ事

第一款 倉庫ノ設備及其取締

第二款 荷捌ノ事

第四節 對岸事務ノ現況

第三章 安平支店ノ地位及洗評

二十九頁

第一節 店長ノ熱心

第二節 荷主ト支店トノ關係

第三節 官透ノ關係

第二編 基隆

第一章 事故荷物ノ調査並ニ荷物取扱ノ事

三十二頁

第一節 不足及過剩荷物ノ現狀

第二節 損害荷物ノ現狀

第三節 荷物ノ受授及取扱

第一款 接續荷物ノ手續

第二款 入荷物ノ取扱

第三款 事故荷物取扱規程及辨償規程ノ實行
第四款 船荷證券事項ノ勵行如何

第二章 倉庫ノ設備及荷捌

第三章 船商船組及仲次人ノ事

第一節 船商及商船組
第二節 仲次人

第四章 各船ニ對スル事務及取締

第一節 沿岸線管轄店トシテノ事務及取締

第二節 一般各船ニ對スル取締

第五章 雜件

第三編 淡水

第一章 荷物ノ取扱及事故荷物ノ事

第一節 荷受ノ種類及倉庫ノ事

第二節 船荷證書ノ事

第三節 事故荷物ノ事

第二章 乘客及各船ニ對スル事務及取締

第一節 乘客ニ對スル取締

第二節 各船乘組員ノ事

四十一頁

四十四頁

四十八頁

五十一頁

五十五頁

六十頁

第三節 賄ノ事

第三章 對岸各代理店ノ狀態

第四章 雜件

第一節 店長ノ希望

第二節 結論

六十五頁

第四編 澎湖島

第一章 荷物ニ關スル事

第一節 事故荷物並ニ荷物取扱ノ事

第二節 倉庫

第三節 船業及仲仕ノ事

第二章 雜件

六十九頁

七十五頁

第五編 打狗

第一章 打狗港ノ現在及未來ノ地位

第一節 現今ノ地位

第二節 鐵道

第三節 築港事業

第二章 荷物輸出入ノ狀況

七十七頁

八十二頁

第一節 官鹽輸出入ノ狀況
 第二節 一般荷物ノ取扱
 第三節 支店及倉庫
 第四節 事故荷物
 第三章 雜件

八十八頁

第六編 各船

第一章 各線

第二章 內地臺灣間各船

九十一頁
九十六頁

第一節 設備

第二節 執務ノ狀況

第三節 取締

第三章 沿岸線各船

百頁

第七編 雜部

附錄

第一編 安平

第一章 事故荷物取調之結果

第一節 不着荷物辨償ニ對スル取調之結果

第一節 不着荷物辨償ニ對スル取調之結果

第一款 取調之發端 安平行諸荷物ニ於テ不着、中品取扱及破損、漏脱等多キハ既ニ物議ヲ生シタル所ニシテ三十一年下半年期ヨリ本年上半期ニ至ル間本社ガ全港荷物辨償金トシテ既ニ支拂ヒタル額ハ實ニ五千壹百六十餘圓ノ多キニ上ル然レトモ此外ニ本社ノ責任ニアラズトシテ取合ハザルモノ及荷主ノ辨償ヲ請求セザルモノアリ或ハ互ニ確執シテ下ラス遷延以テ摸稜ノ間ニ彈リタルモノアリ不足証明書ヲ紛失シテ終ニ請求スル能ハザルモノアリ且前額金額タルヤ實際損害ノ幾分ニ止メテ其局ヲ結ヒタル額ナルヲ思ヘバ全港ニ於ケル荷物ノ損害額ハ實際之ニ幾十倍スルカヲ知ル能ハザルニ至ラシム而シテ本年五月又貳千八百貳拾六圓貳拾八錢五厘及參百七拾六圓八拾六錢ノ辨償請求ニ遭フ是レ多ク一昨年十一月ヨリ昨年十月ニ至ル一ケ年間ニ生シタル荷物ノ事故辨償ナリ本年一月前安平支店長續具氏上阪シ親シク狀ヲ具シテ假査定案ヲ作リ既ニ辨償金支出ノ内議ヲ經タルモノニ係リ其交迭ノ際引繼メテ稟議ニ及ヒタルモノナルヲ以テ直チニ其支出ヲ認可セラレ以テ舊事故ニ係ル辨償問題ノ煩累ハ茲ニ一掃シタルモノト信シタリ

尋テ六月明石丸積多數ノ濡荷ニ對スル辨償ノ請求ヲ受ケ越エテ七月更ニ不着

荷物辨償金千百貳拾參圓參拾八錢五厘及七拾七圓四拾錢ノ請求ニ接ス開フニ
近時安平支店ニ於テ斯ク荷物辨償ノ續々トノ來ルモノハ前現兩支店長ノ事務
引繼ニ際シ一時ニ奮闘着テ決セントセシニ歸スルト雖モ斯クシテ止マズンハ
全店ニ於ケル事故荷物ノ整理ハ何時ヲ期シテ待ツベキカ其取扱及其取調ハ如
何ナル方法ヲナソツ、アリヤ臺南ニ於ケル荷主カ我會社ニ對スル不平ハ何時
治マルベキヤ實ニ懸念ニ堪エサル所ニシテ此等ノ取調ハ實ニ今回出張ノ大眼
目タリシナリ而シテ安平支店ヨリ運輸課ヘ届出タル不着荷物ニシテ未ダ其處分ヲ
終ヘザルモノ及前現店長引繼書ニヨリテ知リタル現在ノ不着荷物ヲモ全時ニ
詳細ノ調査ヲナサント欲シ各個ニ就テ其積出港及寄港地ノ手續ヲ順檢シ其不
着ノ理由及取調ノ錯誤ヲ發見シタルモノ甚カラズ本節ニ於テハ單ニ今回辨償請
求ノ分ニ就テ其結果ヲ陳ベ次節ニ於テ現在不着荷物取調ノ結果ヲ陳述スベシ
第二款 神戸及大阪 今回安平支店ヨリ辨償ヲ請求シ來リタル前記二口計千貳
百圓七拾八錢五厘ニ對スル不着荷物十三個ニ就テハ其出荷地タル大阪神戸ノ
兩支店ニ就テ各個ノ川送書ヲ檢シタルニ「マニフェスト」面ノ記スル所ト符合シ
テ至ク本船ニ積入レタルモノアリ或ハ單ニ箱物ト記セルカ如ク類以品ノ多キ
ヲ以テ其何レニ該當スルモノナリヤヲ明知セズト雖總數ノ上ヨリ算シタル結
果一トシテ本船ヘ積入レザリシモノナシ

第三款 基隆支店 本荷物ヲ積入レタル各船ハ何レモ打狗線ノミナリシヲ以テ
基隆ニ於テ沿岸線接續ノ煩ナカリシト雖安平港ニ於テ風浪ノ爲ニ荷揚ヲ終エ

ズシテ其幾分ヲ基隆ニ陸上ケシ更ニ沿岸線ニ接續セシメタルモノアリ於是本
船ヨリ基隆ヘ陸上ケシタル荷物總數ニ對スル交附書ノ受取及全店ヨリ安平ヘ
發送シタル際ノ「マニフェスト」及川送書ヲ檢シタル結果トシテ

全店ヘ陸揚シタル荷物總數ノ内七個ハ安平ヘ向ケ發送シタル跡見エズシテ
結局基隆支店ノ責ニ歸スベシト考フルモノ一個アリ之ハ全地ノ積揚荷船送
テ受負ヒ居ル商船組トノ關係上全組ヲシテ辨償セシムルニ至ルベシト考フ
木材ヲ拼合セル儘陸揚セシモ積換ノ際解荷トナリタルガ爲メ基隆ニ於テ陸
揚シタル數ヨリモ遙カニ多數ノ荷物ヲ發送セシニヨリ雜貨ノ數ニ差違ヲ來
タシ基隆ニ於ケル積殘ノ有無及本品カ基隆揚ノ内ニ在リシヤ最初安平ニ陸
揚シタル内ニ在リシヤ不明ニ歸シタルモノ二個アリ此ノ如キハ畢竟一々ノ
現物ニヨラス只總數ヲ以テ受授シタルノ不備ニ其クモノナリ
本荷物事故發生ノ當時ニ於ケル證據書類盡ク完備セズ且其始末疎慢ノ跡アリ
川送書ノ如キ終ニ發見シ得ザルモノアリ爲メニ全店ニ於ケル取調ノ精密ナル
能ハザリシハ遺憾ナリトス

第四款 安平支店

第一項 取調ノ順序及海陸受授ノ關係 安平支店ニ於テモ昨年中ニ於ケル入
荷物ノ荷受及荷捌ノ手續簡ニシテ其不着取調ノ跡ヲモ知ルヲ能ハズ只據ル
ベキ唯一ノ材料ハ本船ト全店トノ授受荷數ニ對スル交附書及受取書ノ外マ
ニフェスト入荷臺帳及之ニ捺印シタル荷受主ノ印及全店カ發セシ不足證明

書引換ニ受取リタル船荷證書ノミニシテ不足證明書ノ控ヘサヘ備ハラズ加フルニ當時ノ入荷主任及倉庫番ハ盡ク交迭シテ在ラザルヲ以テ爲メニ詳細ノ取調ヲナスフ頗ル困難ナリキ然レモ本年六月事故荷物取扱規程發布以來ハ店務ヲ整理シ手續ヲ改良シ大ニ面目ヲ一新シタルヲ以テ現在諸帳簿ハ總テ整備セリ

其當時ハ荷捌ノ際「マニフエスト」ニ照シ不足荷物アルトキハ支店ハ之ニ對シ不足證明書ヲ發シ現存ノ荷物ト共ニ之ニ引渡シ船荷證書附ノモノハ之ト引換ニ該證書ヲ收受シ入荷臺帳ニ設ケラレタル欄内ニ荷主ノ受取印ヲ押サシムルノ手續トナリ居リシヲ以テ取調ノ順序トシテ先ヅ交附書及「マニフエスト」ニヨリテ本船ト全店トノ授受ヲ調査シ次ニ入荷臺帳ニヨリテ全店ト荷主トノ授受ヲ檢シ船荷證書附ノモノハ其裏書等ヲ檢シテ之ニ照合シ尙其他ノ往復書類ニヨリテ不着ノ實否及其發生ノ所在ヲ調査セリ現今ハ本船ヨリ船ニテ倉庫ヘ送ルニ船送ナルモノヲ用ヒテ本船ト船間及船間ト倉庫間ノ授受ヲ明ニスト雖モ當時ニ於テハ此種ノ書類ナク本船ト船間トノ授受ヲ以テ直チニ海陸ノ授受トナシタルガ故ニ船間ノ責任ヲ知ルニ苦ミタリ

右ノ順序ニヨリテ取調ヘタル結果トシテ前述二種ノ外ニ
 交附書受取面ニヨリテ本船ヨリ安平ニ陸揚シタル總數ヲ算スレバ數十個ノ揚不足トナリ居レリ然レトモ多分其陸揚ニ陸揚シテ其後漸次轉送セシモノアリ又其内「マニフエスト」ニ記載シテ正式ニ送りシモノ及單ニ荷物ノミ

ヲ送りシモノアリ或ハ其内幾分ヲ本船内ニ留メ置キ次航ニ揚荷セシモノモアルベシ而シテ現在安平支店ニテ之カ爲メニ不足セルモノ
 入荷臺帳ニ積送リト記シアルモノ何レモ書類不備ノ爲メ如何ニシテ着荷シ荷渡セシヤ詳ナラズ目下取調中ノモノ
 交附書受取面ニ於テ二十個ノ揚調ヲ生シタル結果荷捌ニ際シ二個ノ不足ヲ生シタルモノ

アリテ何レモ交附書面ノ調ヘニテハ或ハ本船ノ責ニ歸スベキモノアリ或ハ基隆支店ニ歸スベキモノアリ或ハ本船ヨリノ回答ヲ待タザレバ其責ノ歸スル所ヲ知り難キモノアリ然レトモ總數面ヨリ見テ安平支店ニ陸揚シナカラ不足トナリ居ルカ如キモノハ一モ發見スルヲ得サリキ只疑ヲ置クベキハ揚調ニヨリ生シタル二個ノ不足ニアルノミ

然リト雖モ交附書ナルモノガ果ソ海陸間ノ授受ヲ明ニスルニ足ルベキモノナルヤ現今スラ交附書ニヨリテ總數ノ授受ヲ證スルコトハ單ニ一ノ形式的調印ヲナス迄ノコトニテ中ニハ荷物ノ授受ヲ終ラザル前ニ既ニ其調印ヲ終セ或ハ各店及各船ノ調印ヲ一水夫長輩ニ委任シ去ルモノアリ爲メニ其記ス所ノ數ハ實際ノ現數ト相違セルコト多々有之ヲ見ル加之材木ノ類ニ至リテハ解荷トナル場合其個數大ニ増加シ總數ノ上ヨリ見ルトキハ間違ノ荷物ニ對シテ一モ取調ノ道ナキヲ往々之レアリ又各船及各店共成ルベク交附書ニ事由ヲ記載スルヲ忌ミ該書面ニハ完全ノ受渡トナシ別ニ不足證明ノ紙片ヲ

渡ス等ノ弊アリ後ニ至リテ之ヲ糺スニ及ヒテハ既ニ其證明書ヲ紛失セル爲メ却テ事實ト反對ノ證明ヲ殘ス等ノ患アリテ到底現今ノ交附書組織ヲ改正スルニ非ズンハ詳細ナル荷物ノ取調ヲナス能ハザルベシ然レトモ今ハ暫ク他ニ憑ルベキノ證據ナキヲ以テ遺憾ナカラ右不完全ノ交附書ヲ以テ其授受ヲ決定スルノ止ムヲ得サルニ終レルノミサレバ該交附書ノミニヨリ當時安平支店カーモ過失ノ存スルコトヲ發見シ得サリシコトヲ以テ其正否ヲ斷定シ去ルハ小生等自身ニ於テモ危ム處ナリトス

第二項 賠償責任ノ有無 右取調ノ目的タル十三個ノ荷物ハ實際安平ニ於テ不着トナリ居ルモノナリヤ果シテ本社ニ於テ賠償ノ責任アルモノナルヤニ就テハ前述ノ如ク荷捌ノ當時不足荷物アルトキ當局者ノ捺印セル不足證明書ヲ發スルモ其寫シ或ハ控へ無之ヲ以テ幾何ノ不足證明書ヲ發セシヤチ知ル能ハズ只荷主ヨリ該證明書ヲ持來リテ辨償ヲ求ムルヲ待チ之ヲ入荷臺帳ニ照合シ其引渡ノ數如何及受領印ノ如何ヲ檢スルニヨリテ定ムルノミ故ニ今回取調ニ係ル荷物ノ一々ニ就キ入荷臺帳ヲ檢シタル結果悉ク内何個受取或ハ何個不足等ノ記入アリ證明書引換ニ受取リタル船荷證書ニモ多ク全樣ノ裏書アリテ不足ノ實否ニ就テハ疑ナキヲ認メタリ只其禍因ハ基隆ニ在リシヤ本船ニ在リシヤ接續船ニ在リシヤ將タ安平支店ニ在リシヤハ前來述べタル處ノ如シ何レニセヨ右荷物ハ既ニ大阪及神戸ニ於テ積入チ了シ安平支店ヨリハ荷主ノ手ニ渡不足トナリ居ルコトハ事實ニシテ辨償ノ責ハ到底免ル

能ハサルモノナリ而シテ其個々ノ取調ノ結果ニ就テハ辨償稟議ニ詳細附申シタルヲ以テ茲ニ之ヲ省略ス

第三項 本辨償問題ノ狀況 今回ノ辨償稟議ニ係ル不着荷物ハ概チ客年下半期中ノ出來事ニシテ前任店長ヨリノ辨償稟議ニ係ル貳千八百貳拾六圓貳拾八錢五厘及三百七拾六圓八拾六錢ノ分ト全時ニ辨償スベキ筈ナリシモ當時關係各港取調中未ダ其結果ヲ知ル能ハズ爲メニ其中ヨリ省キタルモノナルヲ以テ自余ノ大部分ニ就テハ舊不着荷物辨償ノ紛紜ハ結了セルモ獨リ本荷物ノ荷主ハ未ダ其辨償ヲ受ケズ爲メニ屢々其督促ニ接シテ煩累ニ堪エズ毎ニ取調中トカ或ハ本社ニ對シ其手續中等ノ口實ヲ以テ一時遊レニ辨償シ來リタルモノナリ然レトモ荷主ハ却テ之ヲ難シテ船荷證書裏面ノ條項ニ不着荷物ニ就テハ取調ノ爲メ六ヶ月間其辨償ヲ猶豫スルヲ得ル旨ノ記載アルモ既ニ已ニ其期限ヲ經過シ去リテ今ヤ一ケ年ニ至リタル今日ニ在リテ尙取調未了チ云々セラル、ハ偏ニ支店ノ杜撰ニシテ大ニ荷主ヲ輕蔑スル所以ナリ且本社ニ對スル手續云々ノ如キハ事既ニ内部ノ事ニ屬ス商船會社カ勝手ナル内部ノ手續云々ヲ以テ第三者タル荷主ニ對抗センコト實ニ思ヒモ寄ラズトテ益々激スルノミ加之下章臺南荷主ト安平支店トノ關係ノ部ニ於テ述ブルガ如ク荷主ハ一般ニ現店長ノ措置ニ對シ喜ハズ互ニ反目ノ狀ニ在ルニ際シ此種ノ辨償ニ就テ徒ラニ一日ヲ延引セハ一日ノ不利益ヲ來スヲ以テ可成嚴重ノ方針ヲ執ルト全時ニ支拂フベキモノニ對シテハ可成速カニ之ヲ結

了スルヲ得策トス故ニ既ニ全店ニ於テ不足トナリ會社ハ到底辨償ノ責ヲ免ル、能ハサルモノト決定シタル以上ハ其内部ノ責任ハ何レニ在ルニモ拘ハラズ先ツ一旦支拂ヲナシ内部ノ責任ニ就テハ第二ノ問題ニ移スベキヲ至當ト信スベキヲ以テ歸社ト共ニ直チニ右辨償ノ稟請ヲ提出シ高斷ヲ仰キタル所以ナリトス然レトモ安平支店ノ要求ハ荷主ノ要求ヲ其儘提出シタルモノニシテ船荷證書ニヨリ送狀ニヨリ調査シタル結果ハ價格ニ於テ不償ノモノ少カラサリシヲ以テ嚴密ニ之ヲ精算シ各個ニツキ其支拂フベキ責任額ヲ査定シテ荷主ニ交渉セシメ之ヲ賠償スルコトニ定メタリ

第二節 現在ノ事故荷物調査ノ結果

第一款 一般事故荷物ノ取調 第一節ニ於テ陳述シタル不着荷物ノ取調ト全時ニ現在ニ於ケル事故荷物ヲモ調査セント欲シ出發スルニ臨ミ當時安平支店ヨリ届出ニ係ル過不足荷物ヲ取調ベ又現店長就任ノ際差出セル店務引繼書ニヨリテ六月十二日調ニ係ル事故荷物ヲ謄寫シ其積入地ノ不明ナル分ヲ除キ先ツ本船積入ノ証跡ヲ檢シタルニ二三ノ元地積殘リトナリ居ルモノヲ不足ト稱セルモノアリシモ其他ハ皆積入ヲ了シタルノ跡アリ尤モ前節ニ於テ述ヘタルカ如ク川送面類似品ノ記載多クシテ其何レニ該當スルカヲ知リ難キモノアリタレトモ總數ヲ算シ或ハ全一荷主ノ總荷物ヲ一々マニフェストニ對照シタル上川送面ニテハ悉ク積入済ナルコトヲ認メタリ次ニ基隆ニ於テ接續ノ手續ヲ取調ヘタル結果ハ前節ニ於テ述ヘタル所ト全シク總個數受渡制ノ不備ナルカ爲

メ數量上ノ調査ニヨレバ却テ多クノ不着ヲ安平ニ生スベキニ至ル等アリテ正確ノ取調ヲ得サリシト雖モ安平ニ至リ是迄取調ノ結果ト全店ノ成行トヲ對照シタル結果實ニ左表ノ如キ効果ヲ收メタリ

一 店長事務引繼書所載事故荷物表 六月十二日調
荷主ノ辨償請求ニヨリ取調ヘタルモノ
一 六十九種百〇三個

內 譯

- 一 五十種六十九個 不着(此分ハ多ク本年一月以前ノ者ニシテ次ノ不着荷物以外ナリ)
- 一 八種 八個 破損減量
- 一 六種 十八個 破損
- 一 二種 二個 潮及雨濡
- 一 三種 六個 空樽
- 一 四十三種九十八個 打狗線不着荷物
- 一 十九種二十八個 沿岸線不着荷物
- 合計百三十一種二百二十九個
- 一 當課へ報告ニ係ル各線不着荷物
- 一 十九種三十七個

總計事故荷物個數百五十種二百六十六個
右ノ内今回ノ取調ニヨル結果ハ左ノ如シ

但シ此分ハ六月十二日調以後ニ於テ不着ヲ生シタルモノナリ

種別	荷主ノ請求ニヨリ取調タル荷物ノ内		打狗線不着荷物ノ内		沿岸線不着荷物ノ内		本社報告不着荷物ノ内		合計	
	口數	個數	口數	個數	口數	個數	口數	個數	口數	個數
辨償済ノモノ	七	十二							七	十二
辨償原議中ノモノ	十一	十三							十一	十三
代品辨償済	一	二							一	二
辨償請求ノ權利ヲ拋棄セシモノ	五	十四							五	十四
着荷渡済ノモノ	一	二	十三	四十八	九	十二	二	二	廿五	六十三
元地積戻リアルト見セシモノ			二	二					二	二
現品倉庫ニ存在セシモノヲ發見セシモノ	一	一							二	二
合計	廿六	四十四	十六	五十一	十二	十四	二	二	五十六	百十一

斯ク總數百五十種二百六十六個ノ事故荷物ニ對シ五十六種百一十一個ハ既ニ其處分ヲ結了セリ然レテ荷主ノ辨償請求ニヨリテ取調ヘタル六十九種百三十九個ノ内ニハ廿六種四十四個ハ其處分ヲ終ヘ尙四十三種五十九個(此内不着荷物ハ三十九種五十六個アリ)ヲ殘スト雖モ是等ハ多ク不足證明書ヲ紛失シタルガ爲メニ支店ニ於テ之ニ應セズ荷主モ亦重ネテ其請求ヲナサハルモノニ中ニハ其後曩キニ引渡ヲ了セシ數ノ外ニ不足欠損等無之旨ノ證書ヲ差入レタルモノアリ其他代品ヲ保存シアルヲ以テ之ヲ以テ其請求ニ應スルコトヲ得ベキ見込ノ

モノアリサレバ四十三種五十九個ノ未處分ト云フモ今後辨償スベシト考フルモノ殆ント無之且此等ノ多クハ曩キニ前店長カ多額ノ辨償ヲナシタル際之ヲ傳聞シ是迄敢テ請求セザリシ分ニ對シテ試ミニ請求書ノミヲ差出シタルモノモ多キニ居ル由ナレバ今回ノ辨償ヲ終ラバ舊事故荷物ニ對スル紛紜ハ先ツ一掃セルモノト云フモ不可ナカルベシ

前來述べ來リシ事故荷物ハ六月十二日調ニ係ル分ト出張ノ前ニ臨ミ運輸課ヘ報告セシモノノミニ就テ取調ヘタル結果ニシテ此外一時報告ヲ省キタルモノアリ又其後新タニ生シタルモノアリサレバ安平支店取調ノ當時全店ニ於ケル本年一月已降ノ不着荷物及其終了荷物ノ結果ハ左ノ如シ

一月以來不着荷物總計百十四種九十六個

内 譯

現在不足ノモノ 七十六種 百三十四個

着荷渡済ノモノ 二十八種 四十七個

倉庫ニ現存セシコトヲ發見セシモノ 三種 六個

代品辨償交渉中ノモノ 二種 二個

元地積戻ナルコトヲ發見セシモノ 二種 二個

次航送來ノ等ノモノ 一種 四個

破損ニ付積戻セシモノ 一種 一個

右ノ表ヲ見ルニ十月現在ノ不着荷物ハ七十六種百三十四個ニシテ頗ル多數ナ

リト雖此内容年分ニ就テハ前述ノ如ク最早辨償モスシテ止ムベシト認ムルモ
 ノ三十九種五十六個アルコトヲ心得サルベカラズ
 今此表ヲ前記六月十二日調ノ不着荷物總計百十二種百九十五個ニ比スレバ三
 十六種六十一個ヲ減シ居レリ實ニ喜ブベキノ現象ナリトス
 更ニ之ヲ各線路ニヨリテ區別スレバ左ノ如シ

打狗線	七十九種	百四十四個
沿岸線	二十種	二十九個
臨時線	十二種	十七個
不明ノモノ	二種	二個

右ノ區別ニヨレバ凡テノ事故荷物ハ殆シト沖繩經過打狗線ニ在ルヲ知ルベシ
 右ノ内今回基隆支店取調ノ結果トシテ二百個ニ近キ過剩荷物ヲ發見シ其内七
 個ハ安平支店ノ不足ニ該當スルモノナルコトヲ知り直チニ送附セシメタリ
 又當時ノ取調ニヨルニ本年六月以降貨物ノ破損濫損及漏脱等損害荷物ノ總數
 ハ六十五種百三十七個ニシテ此内樽物ノ差シ破損減量及鏡落ハ三十七種八十
 一個ヲ占ム是等ノ荷物ハ多ク天候ノ險惡ナルニ基クモノナルヲ以テ辨償ノ責
 任ナク船荷證書ニハ特ニ臺灣南部暴風雨期間、雨濇、潮濇、破損、脫漏、無關係ノ約定
 トノ捺印アルニヨリ支拂ヲ要セサルモノナリ
 今之ヲ線路別ニ分テハ左ノ如シ

沿岸線	三十四種	八十六個
-----	------	------

打狗線	二十七種	四十二個
臨時線	四種	九個

合計	六十五種	百三十七個
----	------	-------

右ノ如ク沿岸線ニハ三十四種八十六個ノ多數アリト雖其内三十一種七十四個
 ハ六月一日建明石丸積荷ノ船中ニテ暴風ニ遭ヒテ濫損セシモノトス
 更ニ六月以降ノ當港過剩荷物ヲ取調ヘタル結果左ノ如シ

總數	三十八種	百二十三個
內譯	轉送濟ノモノ	三十一種 百十五個
全店在荷ノモノ	七種	八個

更ニ之ヲ線路別ニスレバ

打狗線	三十二種	六十八個
沿岸線	二種	二個
臨時線	四種	五十三個

以上ノ諸表ニヨリ總テノ事故ハ打狗線各船ニ最多キヲ知ルヲ得ベシ
 第二款 中品採取荷物ノコト 由來安平支店ニ於テ荷主ヲシテ最モ激昂セシメ

シモノ中品採取ニ在リ然レトモ前數表ニ於テ一モ表示セラレズ又全港ニ於ケ
 ル多數ノ汚濫破損モ僅カニ數種ニ止マリシモノハ此種ノ辨償ハ店長ノ委限權
 限タル五十圓以內ニ於テ支拂フベキモノト認メタルモノハ其支拂ヲ遲延セズ
 一旦辨償ヲ拒絶シタルモノニ就テハ荷主モ請求ヲ迫ラズ從フテ細大トモ記錄

シ置クコトナク且當時ハ現時ノ如ク事故荷物取扱規程及事故荷物臺帳ノ設ナカリシヲ以テ完全ナル記録ヲ得ズ

中品採取ハ客年臺南荷主カ陳述委員等ヲ設ケテ大ニ我會社ヲ攻撃セシトキニ當リ最モ甚タシカリシガ嚴重ナル探偵ト熱心ナル店長ノ盡力トニヨリ一時殆ソド其跡ヲ絶チシカ近頃ニ至リ漸ク其弊ヲ再發シ來レリ現ニ小生等ノ出張中千代丸揚荷ノ内二三ノ揚荷ヲ目撃セリ何レモ村井ノ「ヒーロー」ナリ開ク近頃ノ揚荷ハ殆ソ「ヒーロー」ノ特有ナルヨシ其竊取ノ跡ヲ見ルニ外包ノ釘附板ヲコシアケ中包ノ錫板ヲ切り其内ヨリ取出シ紙製函ハ其儘ニナシ中品ノ緩ミヲ生セザル様ニナシ或ハ紙製函モ共ニ採取リ其跡ニ吳薩布片ノ類ヲ詰込ミ外ニ外板ヲ打附ケタレハ外見上一モ其禍アルコトヲ發見スルコト能ハス其所爲タル輕易ノ業ニ非ルヲ覺ユ故ニ揚荷ノ際及貯ヨリ陸揚ノ際ハ完全ノ荷トシテ受取ルモ荷主カ倉庫ニ就テ一々点檢スル際其手馴レタル腕ヲ以テ其重量ノ稍輕キモノニ就キ店員立會ノ前ニテ開披シ見ルニ至リ初メテ其難アルコトヲ知ルモノナレバ只外包ノ如何ヲ以テスル授受ヲ詮議シ其源ヲ探ラフコト誠ニ至難ノ業タリ此惡手段ハ果シテ何レニ行ハル、モノナルヤ其禍根ニ就キテハ次節ニ於テ身見ヲ陳スベシ

第三節 事故荷物ノ多キ原因及其發生ニ對スル身見

第一款 不着荷物ニ對スル原因 前二節ニ於テ述ベシ處ヲ顧ルニ第一節ニ於ケル荷物十三個ハ悉ク沖繩經過打狗線ニ於ケル各船積ニシテ且其多クハ風浪ノ

爲メ安平ニ於テ陸揚ヲ終ラズ復航基隆ニ陸揚シ更ニ沿岸線各船ニ接續シタルモノナリ前節ニ於テ統計ヲ試ミタル安平不着荷物其他破損過剩荷物ノ航路別ヲ見レバ安平不着荷物ノ多クハ神戸基隆間各船ヨリ沿岸線ニ接續シタルモノニ非スシテ打狗線各船ニ在リ聞ク須磨丸宮島丸及釜山丸一般ニ揚違多ク平均一航海ニ二三乃至四五十個ノ揚違アリト云フ而シテ其最多クハ各船カ無事陸揚ヲ了シタルトキニアラズシテ風浪ノ爲メ其一部ヲ基隆へ持歸リ茲ニテ陸揚シタル荷物ニ在リトス

今其理由ヲ考フルニ

(一) 神戸基隆線ニヨリ接續ヲナス者ニ在リテハ出荷地ヨリ「マニフェスト」面ニ明カニ安平揚荷物ヲ明記シテ送り基隆支店ハ之ニヨリテ再ヒ川送書ヲ作りテ荷物ノ出納ヲナスガ故ニ割合ニ間違少シト雖打狗線各船ガ風波ノ爲メ臨時基隆ニ陸揚ヲナス場合ニハ其揚數ニ對スル明了ナル「マニフェスト」ナク只總個數何個或ハ材木何個雜貨何個瓦何個ト記シテ授受ヲナスヲ以テ該荷物ニ對スル每個ノ表ナルモノナク基隆ヨリ更ニ沿岸線ニテ轉送スル場合ニモ「マニフェスト」面上只何月何日建何丸揚殘品何個ト記スルノミニシテ安平ニ於テハ右總數ニテ受取り初メテ前「マニフェスト」ト照合スルノミ此間荷物授受ノ書類ハ全ク闕如セルニヨル

(二) 又此ノ如キ場合ニハ基隆倉庫ノ手順以外ニ臨時ノ揚積荷ヲ負フモノナレバ毎ニ他ノ荷物ト混雜ヲ極ムルナリ

(三) 且又今回取調ノ結果トシテ此類ノ荷物ヲ安平ニ轉送スルニ當リ一回ノ沿岸船ニヨルコト稀ニシテ毎ニ二三回或ハ五回ニ及ブコトアリ其内或ハ「マニフエスト」ニ記載シテ送ルモノアリ或ハ全ク何等ノ記載ナク送狀モナクシテ只現物ノ到着シ來リシコトヲ發見スルコト往々ナルコトヲ見出セリ此等ノ如キハ傷ニ基隆支店ノ取扱疎漏ナルニヨルモノト言ハザルヲ得ズ然レトモ此種ノ送荷ハ單ニ基隆支店ノミテ責ムル能ハズ各船ニ於テ其書類ナキヲ奇貨トシ揚殘品ヲ船艙内ニ所持シ隨時陸揚スルモノト申ハ之ヲ以テ他日ノ不足分ニ充テントスルノ弊アルコトアリ茲ニ至リテ益々總數受渡制度ノ不備ナルコトヲ感セズンバアテ尙此点ニ就テハ後ニ重ネテ陳述スル所アルベシ

要スルニ基隆支店ニ於ケル臨時陸揚及其接續ニ於ケル手續ヲ改良シ一層ノ注意ヲ加フベキハ今日ノ急務ナリトス

(四) 第一節第四款ニ於テ述ベシ如ク現今ハ安平支店ニ於テ本船ニ出張シタル店員ヨリ發スル船送狀ナルモノアリテ僅カニ船艙ノ責任ヲ明ニスルヲ得ルト雖モ本年四五月以前ニ在リテハ此種ノ設ケナク從フテ三運ノ沖合ニ在ル本船ヨリ倉庫迄ノ船艙ニ對シテハ一ノ輸送券ヲ有セズ只舢舨ヲ信用シテ倉入セシテ以テ舢舨子ニ於テ惡意ヲ狹ムトキハ容易ク其積荷ヲ騙取スルヲ得シナリ他港ニ於テハ揚荷ニ對シテハ船艙ニ送狀ヲ發スルモノハ殆ドナシト雖何レモ安平ノ

如ク三運ノ遠キヲ往復スルモノニアラザレバ左迄其必要ヲ見サリキサレバ安平ニ於テ一隻ノ船艙ニシテ一日一回ノ積取ヲナスニハ充分ナリト雖二回ノ積取ヲナサント欲スレバ星ヲ頂テ出ツルモ夜ニ入ルヲ免レズ斯カル難港ニ在リテハ船送券有セザリシハ事故發生ノ原因トシテ輕々ニ看過スベカラザルナリ

(五) 倉庫及之ニ出入スル仕人足ノ取締ノ不備ナリシコトハ亦其原因ナリ現今ハ稍其取締ヲ嚴ニシ其設備ヲ整ヘタリト雖以前ハ牆壁ノ設ケ不完全ニシテ各倉庫ノ戸ヲ開放シ炎熱ノ日其中ニ晝寢ヲナシ其周圍ニハ支那人ノ小船多數繫留シアル等今ニシテ之ヲ思ヘバ實ニ危險ナリシナリ尙ホ倉庫ノ取締ニ就テハ次章ニ於テ詳記スベシ

(六) 以前ハ倉庫ヨリ荷物ヲ臺南ノ各荷主ノ許ニ配達スルコトハ會社ノ責任ノ下ニ之ヲナサシメタルヲ以テ其間ノ出來事ハ凡テ會社カ責ヲ負ヒ而シテ更ニ之レカ取締ノ嚴重ナラサルモ亦其原因タルベシ是又次章ニ於テ改メ述ブベシ

畢竟スルニ右ノ諸理由ノ源ヲ遡リテ考フレバ多クハ安平港ノ不長ニ遠因スト雖基隆支店ノ手續宜キヲ得ザルハ亦少カラザル原因ナリトス今回基隆ノ倉庫ヲ取調ヘタル結果二百個ニ近キ過剩荷物カ累々トシテ横ハルヲ發見シタルカ如キ其内十三種ノ辨償濟ニ係ルモノアリ九種ノ不足要求ニ係ルモノアリ之ガ攻撃ノ衝ニ當ル安平支店ヲ見セシメバ或ハ歎極ツテ流涕スルモノアルベシ

第二款 不着以外ノ事故荷物ニ對スル原因 基隆航路ノ距離、其風波、港ノ不長、及人夫ノ支那人種ナルヲ等ハ他航路ト異ナリ臺灣各港行ノ荷物ヲ做損汚濡脱漏

等ノ事故多カラシムルコトハ今更言フヲ待タズ就中揚荷ノ數最多ク且ツ港トシテ最モ不長ナル安平ニ在リテハ是等ノ損害從フテ多キハ數ノ免レザル所ニシテ只此ノ如キ港ニ在リテハ海陸員共ニ一層ノ注意ヲ要スルノミ

破損荷物ニ就テ一ノ注意スベキヲハ外包ノ破損ニ乘シテ其中品ヲ竊取シ以テ破損ニ伴フ自然ノ散亂トシテ荷主ヲシテ云フ處ナカラシムルコト之ナリ是ハ各其責任者ヲシテ特別ノ手當ト特別ノ取扱ヲ施サシメ積取ニ際シテモ必ス店員ノ乘船セル舩ニ積入レシメ可成速ニ荷主ニ通知シ倉庫内ノ保管ニ最モ注意セバ此ノ憂ハ免ルハコトヲ得ベシ

客年臺南荷主ノ動搖ノ際ニ當リ一荷主カ倉庫ノ傍ヲテ通リカ、リシキ仲仕頭長船ノ使用セル土人入足ガ破損セル酒樽中ノ酒ヲ酌ミテ飲ミ居ルヲ見テ大ニ監督ノ不都合ヲ鳴ラシタルトハ當時ノ新聞紙ニモ喋々シタル所ナリ兎角其取締不行届ナリシ爲メ仲仕及人足等ノ姦計ニ懸リシトハ一大原因ナリシモ追々其取締ヲ嚴ニシタルト辨務署ノ熱心ナル探偵トニヨリテ爾來大ニ其害ヲ減シタリト雖中品採取ノ再發セル今日益其取締ヲ嚴ニスルハ刻下ノ急務ナリトス

事故荷物中最モ多ク荷主ノ感情ヲ損フモノハ中品採取ニ在ルコトハ前節ニ於テ述ブル處ノ如シ而シテ此所爲ノ何レニ在ルヤヲ探究センニハ左ノ諸項ニ就テ考ヘザルヘカラス

- 一 小生等ノ實見シタル卷煙草箱ヲ檢スルニ外包ノ釘附板ヲ發キ中包タル錫板ヲ切リテ中品ヲ採取シ其紙函ノミヲ殘シ置キテ其緩ミヲ防キ或ハ函共ニ取

出シテ其跡へ吳座或ハ布片ノ類ヲ詰込ミ置キ然ル後再ビ外板ヲ釘附ケシ外見一ノ異狀ヲ認メシメズ其所爲タル實ニ輕易ノ業ニアラサルコト

- 一 近來ノ中品採取ハ殆ント村井兄弟商會ノ卷煙草特ニ「ヒーロー」ニ多キコト
- 一 安平ノミナラズ打狗ニ於テモ村井ノ卷煙草ニノミ稀ニ中品採取アルコト
- 一 村井ノ煙草送荷ハ常ニ基隆ノ全支店ヨリ發送スルモノナルコト

右諸項ニ就テ案スルニ若シ之ヲ以テ本社關係ノ各部例ヘバ各港ノ仲仕或ハ各船内ニ於テ生スル者トセバ獨リ村井ノ煙草ニ限ルノ謂レナシ然ラバ右所業ヲ以テ基隆村井支店ノ仲仕ノナス所ト信セザルヲ得ザルナリ於是千代丸揚荷ノ内右被害品ヲ實檢シタル時直チニ基隆支店ヘ電報ヲ發シ村井煙草荷受ノ際其疑ハシキモノハ之ヲ秤量シ其輕量ノモノアラバ村井店員立會ノ上開披ヲ試ムベキ旨ヲ通知シ置キタリシガ果セル哉過般崎陽商會ノ煙草ニ於テ荷受ニ際シ其輕量ニシテ中品ノ緩ミ居ルモノヲ發見シタレバ直チニ全商會員立會ノ上開披ヲタリシニ果シテ中品不足アリシテ以テ以後全商會ノ荷物ニ對シテハ中品無關係ノコトニ決定シタリト云フ今暫ク此手數ヲ實行セバ村井煙草ニ於ケル吾人ノ推定モ亦的中スルヤ否ヤヲ知ルニ難カラズト信ス然レトモ近來基隆港ニ於ケル緩荷ノ發覺ハ亦種々ノ雜貨ニモ波及シ居ルヲ以テ今俄カニ斷言スルコト能ハザルナリ

右ノ如ク安平ニ於ケル近來ノ緩荷ハ全ク基隆ニ於ケル所爲ナラシコトヲ疑ヒタリ然レトモ又安平稅關ニ於ケル風評ニヨレバ安平仲仕ハ常ニ臺南ニ於テ不

相應ノ遊蕩ヲナスヲ以テ安平仲仕ニモ又疑ナキ能ハスト云ヘリ特ニ仲仕長
 船ナル受負者ハ仲仕ノ給料ヲ悉ク支拂ハザルヲ以テ仲仕ノ不平常ニ絶エズ爲
 メニ倉庫番ハ少シモ荷物ニ對シテ保管ノ油斷ヲナス能ハズ其鍵ハ常ニ腰ヨリ
 離サスシテ注意セリ然ルニ店長ハ未ダ是等ノ方面ニ對シテ嚴シク之ヲ矯正セザ
 ルヲ以テ爲メニ私行上ニ付キ種々ノ風評ヲ醸サレツ、アリ然レトモ別ニ茲ニ
 陳述スベキ事ニアラズ

以上ハ今回出張ノ大眼目タル安平支店事故荷物ニ關スル取調ノ大略ナリ

第二章 店務ノ取扱及組織ノ現状

第一節 事故荷物取扱方

安平支店現時ノ事故荷物取扱方ヲ記スルニ當リ既ニ前章ニ於テ述ベタル所ト或
 ハ重複ニ涉ランコトヲ恐レ只其大要ヲ記サソ
 安平支店ニ於ケル事故荷物ノ調査ヲナスニ當リ本年四五月以前以後及ヒ七月以
 前以後ニ於テ其書類ノ整備及其取調ノ精疎ノ上ニ頗ル徑庭アルヲ覺知シタリ
 之レニ客歲末ニ於ケル荷主ガ紛擾ノ反應並ニ當事者ノ反省及六月ニ於ケル事
 事故荷物ハ特ニ主副兩簿ヲ用ヒ其他之ニ附隨セル諸帳簿及其取調ノ證據能ク整
 ヒ居リ「マニフェスト」及「船送等」モ事故ノ關係ヲ明了ナラシメタルハ頗ル行届キタ

ルモノト云フマシ且荷物ノ事故ニ對シテ本船及支店へ發スル照會狀ニ對シ各其
 責アルモノハ多ク其回答ヲ遲延スルコトハ各船及各店ニ於ケル一般ノ弊習ナル
 ニ此類ノモノニ對シテ殊更ニ三四回ノ追書ヲ發シテ之ヲ糾シタル跡ヲ見タルハ
 能ク其煩ヲ厭ハザルモノト云フベシ

安平支店現在ノ事故荷物取扱ハ前記ノ如シ然レトモ開ク所ニヨレバ全支店ニ於
 テハ小生等ノ出張ヲ豫知シタリシヲ以テ汲々トシテ其整理及取調ニ着手シ之カ
 爲メ當務者ノ徹夜セルモノニ回ニ及ヒタリト云フ此言眞ナリトスルモ斯ク一旦
 整理セルヲ得バ將來ノ取扱ハ客年ノ如ク不備ニ陥ルコト之無シト信ス只惜ムラ
 クハ本船トノ荷物受渡ノ正確ナラサルニ在リ然レトモ之亦當港ノ狀態他港ト全
 一視スベカラザルモノアルニ歸スルトセハ論ナキ處ナリ

安平香港線荷物ニ就テハ凡テ文字ノ異ナルニモ據ルベシト雖入出荷共ニ其取扱
 ノ不完全ニシテ書類等モ殆ント完備セズ大ニ改良ヲ要スベシ由來安香線ニハ寄
 航地ノ數少ク對岸ニ於ケル荷物ノ荷造リ宜シキガ爲メ荷物ノ事故極メテ稀ナル
 ト安平ニ於ケル安香線ノ荷主ハ殆ント皆支那人ナルガ故ニ偶々事故ノ生スルコ
 トアルモ之ヲ叱制シ去リテ云々セザラシムルコト、ハ其事務改善ノ緒ニ就カサ
 ル所以ナルベシ

紛來荷物アルトキハ從來之ヲ以テ各船ニ對シ不着荷物ニ對スル擔保トシテ留置
 スルコトハ各級店及支店ヲ通シテ今ニ存スル弊習ナレトモ當支店ニ於テハ現時
 此習ヲ見ズ規程通りニ實行セリ

第二節 執務ノ現況

安平ハ輸入港ナルヲ以テ店務ノ主ナルモノハ入荷ニ在リ從フテ其力ヲ用ユル亦專ラ入荷ノ整理ニ在リ砂糖輸出季ノ外當店ノ輸出物ハ微々トシテ見ルニ足ラズ故ニ各入荷主任者ハ便宜出荷ヲモ兼ヌ當店ノ店員及其業務ノ配置左ノ如シ

安平香港線入出荷

沿岸線及打狗線入出荷

會計係
船係
倉庫係

書記	山 中 盈 藏
書記	重 宗 典 式
書記	片 山 金 之 助
書記	中 尾 辰 介
書記	渡 邊 嘉 勝 太
雇	出 原 龜 三 郎
雇	木 藤 彦 五 郎

右ノ如ク書記四名雇員三名アリテ常務ニ從事ニルヲ以テ船舶入港ナキ日ニ在リテハ少シモ多忙ヲ感セズト雖入港ノ際ハ店員ガ本船ニ出張スルニハ三連ノ沖合迄危険ナル激浪ノ間ヲ行カザルニカラス一回臨船シテ歸ルニハ半日ヲ費サハルベカラズ然ルニ當港ニハ一時ニ各船集合スルコト多シ即チ打狗線ノ來ルトキハ三及六ノ日ニ於テ沿岸線ト會合シ之ニ安香線ノ各船ハ隔土曜日ニ若船シ水曜日ニ發船スルガ故ニ二隻乃至三隻ノ一時ニ集合スルコト往々アリ斯ノ如キ場合各船へ一人ツ、出張ヲ要シ又一方ニハ支店ノ直グ傍ラニ一棟及二丁程ヲ隔テ、二

棟ノ倉庫アリテ荷捌ノ際ニハ社員一名ツ、立會ハザルベカラスサリトテ支店ヲ空ニシ來客ノ用辨ヲ欠クコト能ハス是ヲ以テ各船ノ集合スル場合ハ非常ノ多忙ヲ訴ヘ居レリ故ニ或ハ分擔以外ノ店員臨船スルノ止ムヲ得サルアリテ荷物授受ノ正確ヲ欠キ又ハ上陸切符ヲ徵集スル能ハサルコトアリ小蒸瀛船、船及仲仕ノ差線ニ困難ヲ來スコトアリ或ハ店員ノ臨船スル能ハサル場合アリ此等ハ皆各船カ安平支店ヲ目シテ怠慢ト云ヒ不整理ト云フノ原因ナリサレハ店員ヲ増加スルニ非レハ到底此困難ヲ救フコト能ハス且店長ハ打狗ヲ兼任スルカ故ニ常ニ安平ニノミ在ル能ハスサレハ其不在中ハ店長代理者タル助役ノ確實ナルモノヲ置カレノコトヲ望ム云々トハ店長カ熱心ニ縷述セル處ナリ

現店長就任以來其熱心ト勉強トハ今日決シテ怠慢ノ評ヲ容ル、ノ餘地ナシ然レドモ全店ノ弊ハ強チ之ヲ以テ蔽フベカラザルモノアリ即チ

一 小蒸瀛船及船ノ手配鈍ク特ニ船船ハ來ルモノ夫ノ出ツル遅ク或ハ人足調ハザル等ノ不始末往々ニシテ爲メニ以前ヨリモ大ニ荷役ヲ後レシテ揚殘リヲ來スコトアリテ獨リ多船集合スルトキニ限ラズ

一 風波ノ少シク暴キ日ニ在リテハ補給廠ノ船船ノ出ツルヲ待タサレハ支店ノ船來ラズ爲メニ反リテ戎克船ノ時ヨリ荷役ヲ休ムコト多シトハ一般各船ノ評ナリ之レ支店カ仲仕ニ對スル監督指揮ノ緩慢ナルニ歸セズンバアラス大ニ注意スベキコトナリトス

一 上陸客ヲ船ニ乗セ小蒸瀛ニテ曳セシムル場合船賃トシテ參拾錢ツ、ヲ徵取ス

サントモ其徴取方一定セズ或ハ乗組ミタル船係ニ於テ徴取スルコトアリ或ハ船夫之ヲ徴取スルコトアリ或ハ小蒸船長之ヲ取立ツルコトアリテ毎一定セズ從フテ其實收入タル實ニ曖昧タルヲ免レサルベシ又參拾錢ト云フモノノ表示アルニ非ズ乘客ハ只徴取者ノ言フカ儘ニ支拂フノミ

一安平支店ハ船客ノ取扱一モ實施セラレズ切符ノ發賣ハ盡ク之ヲ運輸組及仲次人徳昌號ニ一任セリ

徳昌號ハ一二等切符ヲ發賣スルモ其額少ク其多數ハ一ニ運輸組ノ扱ニ係ルナリ且最モ奇ナルコトハ各船ノ出帆日ニハ支店ノ支關ニ出張シテ之ヲ發賣ス其狀恰モ取扱ノ如ク而モ其運賃ノ五分ハ盡ク運輸組ノ所得タリ愚ノ至リト云フベシ之レ全店カ基隆支店ノ出張所タリシ際各店員間ノ申合セニヨリ各取扱ヲ分擔シタルモノ其後轉々相次キ因襲ノ久シキ以テ今日ニ至リタルモノニシテ速カニ改良シテ取扱制ヲ實施セザルベカラズ

一現今安平支店ノ入荷事務ハ他港ニ比シ比較的整理セルコトハ既ニ述フル處ノ如シ而シテ其倉庫ニ於ケル過剩荷物トシテ古キモノナカリキ之レ蓋シ小生等ノ出張前十數個ヲ直チニ本社へ發送セシニヨルナルベシ其他荷主カ引取テ了セザルモノアリ不着ニ對スル代品トシテ交渉中ノモノ二三アルノミ之ヲ基隆支店カ二百個ニ近キ過剩荷物ヲ有セシニ比スレハ遙ニ整理セルモノト云フベシ然レモ對岸線ニ於ケル事務ハ未ダ整理セズシテ常ニ手後レ勝ニナリ居ルハ開航日尙淺キニモ依ルベシト雖主任其人ニモ大ニ注意スベキモノナリトス

一各船入港ノ際船客ノ上陸券ヲ徴取スルハ臨船シタル社員ノナスベキ處ナルニ當店ニ於テハ之ヲ實行セズ一ニ本船員ニ委ネタリ勵行ヲ望ム所ナリ

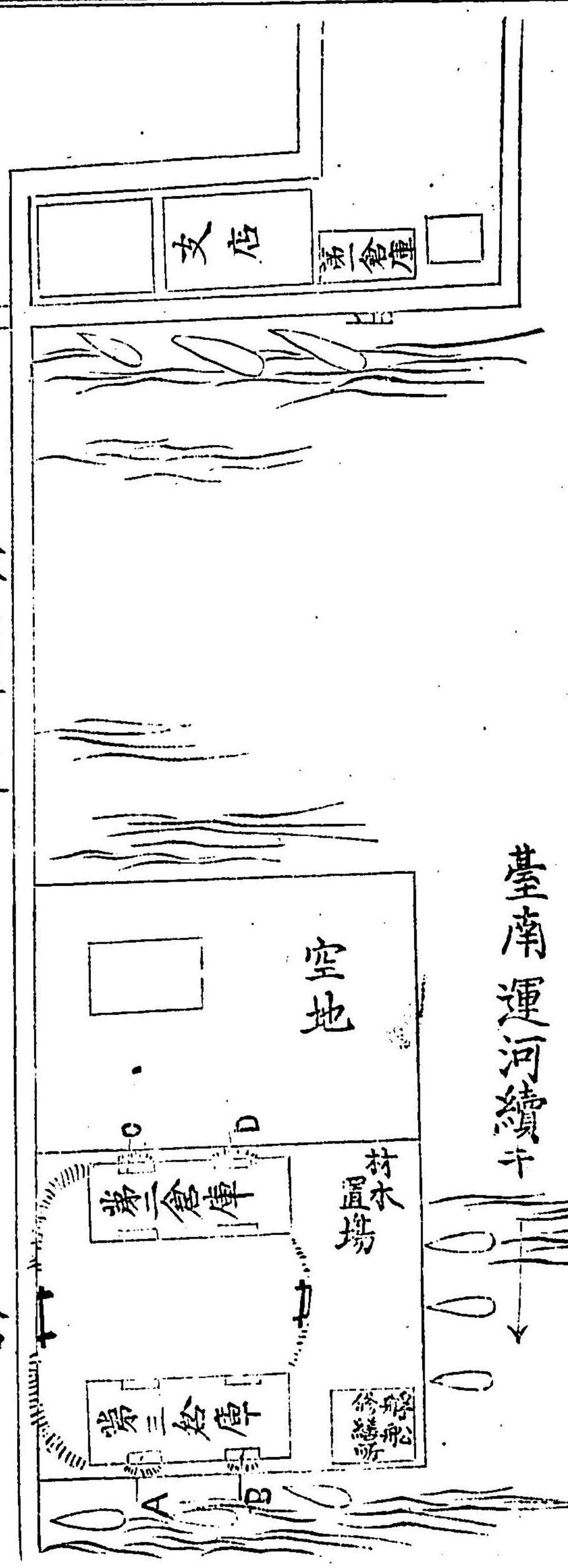
一會計ノコトハ小生等深ク之ヲ取調ベズ曩キニ計理課員出張ノ際濫堆セル事務ヲ整理シ去リ現今ニテハ日々ノ勘定ヲ其日ニナシ終リ店長ノ檢印ヲ受クルニ非レバ退出セザル様ニナリ居レリ之レ店長カ大ニ誇稱スル處ナリ

第三節 倉庫及荷捌ノコト

第一款 倉庫ノ設備及其取締 倉庫ノ設ケハ畧圖ニ示ス如ク支店ニ接シテ一棟及支店ヨリ約二丁ヲ隔テ、二棟アリ(假ニ之ヲ第一第二第三倉庫ト稱ス)第一倉庫ハ稍壞廢シ其後面及側面ニハ朽廢セル藁茅ノ類堆ク積リ其内部モ亦他ノ倉庫ニ比シテ頗ル整理不行届ナリサレバ主ナル荷物ハ總テ此倉庫ニ入レズト云フ第二倉庫及第三倉庫ハ其建物モ新シク倉内能ク整理シテ清潔ナリ此内ニ倉庫係ノ席ヲ設ク

從來安平支店倉庫ノ取締行届カザリシコトハ事故荷物ヲ生スル原因トシテ大ニ荷主ノ不平ヲ鳴ラセシ處ナリ今其當時ノ取締ヲ開クニ圖ニ示ス如ク第二第三倉庫トモ前後各ニツ宛ノ入口アリ此等ノ入口ハ炎熱燥クガ如キ土地ノ常トシテ終日其戸ヲ開放シ通風ヲナサ、レバ其内ニ在リテ業ヲ執ルコト能ハズ然ルニ正午ヨリ二時間余ハ仲仕ハ皆此倉庫内ニテ晝寢ヲナスノ習慣アリ窓戸開放ノ儘眠リテ食ル又一方第三倉庫ノA、B、ノ兩入口ハ直チニ海ニ接シ茲ニ土人ノ荷船小艇船數多繋留シアリ故ニ全船係ニ在リテ發給ナル土人舟夫ハ其眠リニ乘シ

テ數尺ヲ踏ミ入ルレバ易ク倉庫内ノ荷物ヲ荷取スルヲ得之ヲ舟ニ積ミテ直ニ



逃ケ得ルノ便アリ又一方第二倉庫ニ在リテモ後面隣地ト境ヲ接スル所ニ只名
 バカリノ竹垣アルノミナルヲ以テ爲メニ荷物ヲ荷取セラル、ノ要アリ此ノ如
 キ不取締ノ倉庫ノ番人ニ在リテハ惡漢ノ竊取ヲ恣ニスルハ實ニ容易ナリ於是
 現店長就任スルヤ先ツ倉庫ノ取締ヲ嚴ニスルノ急ナルヲ認メA・B・C・Dノ四入

口ニハ點線ノ如ク柵ヲ設ケテ一切是ヨリ出入スルヲ得サラシメ開放スルモ尙
 通風ヲ容易ナラシムル様ニナシタレバ箱以上ノ不取締ヲ救フヲ得タリ又道路
 ヨリ運ブ荷物ハ一切前面入口ヨリシテ繰ヨリスル出入荷ハ兩倉庫間ヲ連ネテ圖
 ノ如ク柵ヲ設ケ其間ノ入口ヨリスルコト、シ隣地ノ境界及道路ニ面シタル柵
 壁ハ之ヲ改築スルノ計畫中ナリト聞ク

兩倉庫間及其後ノ空地ハ多ク材木類ヲ積置ク所トナリ居レリ
 右ノ如ク三棟ノ倉庫ハ一所ニ集在セズシテ支店ヨリ二丁ヲ隔ツ而モ倉庫番ト
 シテハ只一人ノ雇員アルノミニシテ彼ヲ監セハ此ハ空トナリ到底充分ノ監視
 ナナス能ハザルヲ覺ユ

臺灣各店ニ於テハ倉敷料ヲ嚴重ニ取立ツル支店ナシ只安平支店ノミハ倉敷料
 ノ徵取最モ嚴格ニ之ヲナセリ是ハ現店長就任以來勵行セシ所ニシテ爲メニ荷
 主ニヨリテハ大ニ不滿ヲ唱ヘサルモノナキニ非ズサレドモ可成早ク荷物ヲ引
 取ラシムルノ方策上最モ其處置宜シキヲ得タルモノト信ス

第二款 荷捌ノコト 倉庫ノ設備及取締ニ次テ述ブべきハ荷捌ノ狀況ナリ曩キ
 ニ會社カ運輸組ヲシテ安平ヨリ臺南迄ノ運河輸送ヲサシメ各荷主ノ許迄配
 達ヲナセシ時ハ會社ハ運輸組ノ爲シタル事故ニ對シ總テ責任ヲ負ヒタルヲ以
 テ非常ノ不利益ヲ來シタルモ其後一切ノ荷捌ハ支店ノ倉庫ニ於テ之ヲナス
 トセシヨリ會社ノ責任ハ倉庫限リトナレリ故ニ運河輸送ハ依然運輸組之ヲナ
 スト雖今日ハ會社ノ代人ニアラスシテ荷主ノ代人トナリテ之ヲ運送スルナリ

即チ荷捌チナス際ニハ荷主自カラ倉庫ニ就キ之ヲ檢シテ受取ルカ又ハ運輸組
 カ之ヲ檢シテ受取り之ヲ臺南ニ送致ス其間若シ損害荷物アルトキハ直チニ其
 旨ヲ通知シ荷主立會ノ上之ヲ檢シテ引渡可成永ク倉庫内ニ置カザラフコトヲ
 努メリ

運輸組カ會社ノ責任ノ下ニ運河輸送ヲナセシテ變シテ荷主ノ代人トナリテ其
 業ヲ營ミシ以來荷主ハ常ニ其行動ニ慚焉タラサル處アリ專ラ運輸組ノ獨占ニ
 委ヌルノ不利ヲ認メ近來主ナル臺南荷主ハ相謀リテ臺南運輸合資會社ナルモ
 ノヲ設ケテ自カラ荷引ヲサントノ計畫中ニシテ其契約書モ既ニ調製シタリ
 ト云フ

第四節 對岸事務ノ現況

安平支店カ店內各部ノ事務ノ割合ニ整理シ居ルニモ拘ハラズ對岸事務ハ大ニ不
 整理ノ感アリ之レ店員其人ヲ得ルト否トニ大ニ關係スルコト最モ其主タル源因
 ナルベシト雖對岸航路ノ荷主ハ重ニ土人ナルヲ以テ内國荷物ヲ取扱フト同一ニ
 論スル能ハス特ニ對岸ノ各代理店ハ三井物産ヲ除クノ外ハ英人ノミナルヲ以テ
 文書ノ往復應接ノ言語等其道ニ精通シタル人ニ非レバ非常ノ不便ヲ醸スベシ特
 ニ本社ノ規程ハ之ヲ對岸各店ニ實行スルコト能ハサルヲ以テ事務ニ對スル支店
 ト對岸トノ衝突ハ免ル、コト能ハザルベシ而シテ支店ノ對岸ニ對スル事務ハ山
 中書記一人ニテ從來之ヲ取扱ヒ居レトモ店長不在ナルキハ其代理ヲモナスベキ
 位置ニ在ルヲ以テ自然ニ其負フ所ノ任務繁クシテ對岸文書ノ往復遲延トナリ對

岸ノ各店ヨリハ通信疎慢ナリトノ攻撃ヲ常ニ耳ニスル所ナリ
 淡水支店ニテハ歐文事務ニ從フモノハ武田書記ノ外ニ土人一名アリ頗ル英語ニ
 精通セルユシ凡テ對岸事務ニ就テハ歐文ヲ要スルト全時ニ荷主ハ殆ント土人ノ
 ミナルヲ以テ又支那語ニ通セザルベカラズ安平支店ニ於テモ支那人又ハ臺灣土
 人ニシテ英文ニ通スルモノヲ雇入ル、ハ全支店對岸事務ヲ整理スルニ於テ最モ
 必要ナルコトヲ認メタリ

第三章 安平支店ノ地位及流評

第一節 店長ノ熱心

現店長ハ業務ニ對シ頗ル熱心ナリ就任以來店務ノ整理及改革ニ銳意シ其職務ニ
 對シテハ嚴格斷行ノ二方針ヲ以テ店員ヲ督勵シ着々トシテ事務ヲ進捗セルハ事
 實ナリ爲メニ或ハ荷主ヨリハ餘リニ嚴格ニシテ便利ヲ願ミザルトノ誹アリ店員
 間ニハ職務ノ嚴格ニ過キ寛容酌量ナキヲ快トセザルモノアリ然レトモ是等ノ小
 事ハ店長ノ豫メ期セシ處ニシテ少シモ意ニ介セズ着々シテ事務ノ刷新ヲ企圖セ
 リ而シテ店長モ自カラ云フ予今ヤ四面楚歌ノ内ニ在リ然レトモ我目的ノ達スル
 迄ハ敢テ其方針ヲ變セザルベシ老シテ職ヲ辭スルモ安平ニ在リ職務ノ不結果ヨ
 リ職ヲ罷メラル、モ亦安平ニ在リ何レニシテモ安平ハ吾執職上最後ノ決戦場タ
 ルヲ覺悟スル所ナリト決心セリ

何レノ店長ニシテモ會計ノコト事故荷物ノコト及倉庫内部ノ調査等ノ如キ細密

ノコトニ就テハ其現狀ヲ知悉スルモノ殆ソト少シト云フモ可ナリ此点ニ就テハ現店長ハ周密ナリ朝ハ早ク出勤シ退出ハ常ニ晩キヲ以テ店員中ニハ以前ノ店長ニ比較シ其思遣リナキヲ訴ヘタルモノアリト云フ

第二節 荷主ト安平支店トノ關係

從來安平支店ニ於ケル因襲トシテ船荷証券附荷物ニ對シテモ荷主ノ便利ヲ謀リ無擔保ニテ荷物ヲ引渡シ後ニ証書ヲ受取リテ溯資ノ荷主ニ融通ヲ助ケタルヲ屢々アリ此弊習ヲ打破セント欲シタル店長ナキニ非スト雖モサナキダニ吾社ニ對シテ不平ヲ鳴ラシツ、アル荷主ニ對シ其意ヲ損フノ不利ナルヲ慮リ之ヲ勵行スルニ至ラサリシカ現店長ハ就任以來先ツ此弊ヲ破リ如何ナル荷主ニ對シテモ必ス船荷証券引替ニアラズンハ荷物ノ引渡ヲナサハルコトモシヨリ從來此破格ノ便宜ヲ受ケシ荷主ハ忽チ其不便ヲ訴ヘ之ヲ哀訴スルモ聞入レザルヲ以テ臺南荷主ハ一般ニ其措置ノ甚ク嚴格ニ過キ荷主ノ便宜如何ヲ願ミサルヲ難シ現店長ニ對シ據焉ヲラスシテ却テ荷物ノ損害賠償ヲ強求シ來ルガ如キモノ少カラズ且又荷物辨金其他ノ交渉ノ爲メ荷主來リテ店長ト會談スルニ當リテモ店長ハ毎ニ其得意ノ能辨ヲ振ヒテ之ヲ辨破シ去リ荷主ヲ口ヲ開ク能ハザルニ至ラシムルヲ以テ荷主ハ一般ニ現店長ヲ喜ハス重要ノ用務アルニ非ザレバ可成接近セザラシコトヲ努メ居ルノ狀ニ在リ斯クノ如キノ狀態ニ在リテハ店長亦右等ノ荷主ニ接スルヲ好マズ偶々其家ヲ過グルコトアルモ辨償ノ請求ニ遇フヲ恐レテ常ニ之ヲ避クルニ至レリ要スルニ目下荷主ト店長トノ間ハ恰モ反目睚眦ノ狀ニ在リ故ニ

或一部ノ荷主ニシテ幾分カ店長ニ加擔シツ、アルモノ及運輸組ノ一部ハ切リニ之カ調停ニ努メツ、アリト聞ク然レトモ之レニ業務勵行ノ結果ノミヨリ來ルモノトスレバ將來ノ爲メニ却テ喜ハシキ現象ナリトス然レトモ現時荷主ノ不平者ニ在リテハ店長ノ私行上ノ欠点ヲ捕ヘ來リテ大ニ攻撃シ居ルガ如キ極端ニ至ルハ斯業ノ爲メ又店長ノ爲メ悲ムベキノ限リナリトス特ニ只愛フル所ハ人ニ對シテ好惡ノ念強キ現店長ニ在リテハ業務ノ勵行ヨリ生スル不和以外ニ感情上ノ反目踏リ來リ居ルコト之ナリ

前記ノ狀況ナルヲ以テ店長ハ臺南實業家ノ組織セル商業俱樂部ニ入會セント奔走シ居レトモ部員ハ排斥シテ之ヲ承諾セス他ノ臺灣各港ニ在リテハ勸誘シテ本社各店長ヲ公共ノ會合ニ加入セシメントスルニ比シテ實ニ霄壤ノ差ヲ來セリ

第三節 官邊トノ交際

臺南荷主ニ對スル安平支店長ノ關係ハ前節ニ述フルカ如ク互ニ相反目ノ間ニ在ルニ反シ店長ト諸官衙トノ間ハ極メテ圓滑ナリ故ニ補給支廠ニ對シ又稅關ニ對シテモ決シテ衝突スル如キコトハ曾テ之ヲ耳ニセサルノミナラズ反テ吾社ノ爲メニ多クノ便利ヲ與ヘツ、アリ之レ店長カ當該官吏ト交際ノ巧ナルニヨルベシト雖モ一般ニ安平地方ノ諸官衙ニハ店長ト同郷同縣ノ知人極メテ多キハ亦其一原因ナルベシ從フテ其私交上ニ於ケル費用モ尠少ニアラザルコトヲ知ルヲ得ルナリ

第二編 基隆

第一章 事故荷物之調査并ニ荷物取扱之事

第一節 不足及過剩荷物ノ現狀

基隆支店ニ於ケル事故荷物ヲ調査スルニ當リ最モ一驚ヲ喫シタルハ各倉庫内ノ荷物中ニ於テ非常ニ多數ノ未報告過剩荷物ヲ發見シタル是也由來基隆ハ殆ソト入荷物及沿岸接續荷物ヲ扱フノミニシテ全地ヨリ輸出スルモノハ只儘カニ少量ノ阿片及ヒ稀ニ硫黄アルノミサレバ輸入港ノ常トシテ事故荷物ニ就キ苦情多キハ勿論ナリト雖モ臺灣ノ咽喉トシテ最モ重キチナセル全支店カスク迄テ其取扱ノ疎漏ニシテ監督者ノ注意行届カサリシコトハ實ニ豫想ノ外ニ出テタリ今各倉庫ニ於テ發見シタル過剩荷物ニシテ其當時調査シ終リタルモノ總數實ニ百六十四個ニシテ尙未タ調査シ終ヘスシテ支店ニ委嘱シ置キタルモノ別ニ六十餘個合計二百二十餘個ノ多キニ至レリ而シテ此等過剩荷物ノ一部ハ第一倉庫外庇ノ内ニ堆積シアルヲ以テ漏雨ノ爲メニ腐蝕ヲ來タシタルモノ少ナカラス今其調査ヲ終リタルモノニツキ之ヲ時代別ニスレバ左ノ如シ

三十二年五月以前之分

百〇五個

全年全月以後之分

五十九個

又之ヲ其性質ニヨリテ區別スレハ左ノ如シ

卅二年五月以來ノモノニシテ給符落ノ爲メ全ク荷主ノ知レサルモノ三十八個

荷主ヲ知リ得ルモ引取ラズ又住所不明ナル爲メ通知スル能ハサルモノ四十個
外包或ハ給符ノ不明ノ記入ヲナシタルモノ
四〇個

同時期以前ノモノニシテ一切不明ナルモノ

百〇貳個

右之外尙近代ノモノニシテ不足分ニ對スル代品トシテ交渉中ノモノアリ荷主ガ引取ラサル爲メ空シク保存シアルモ何時請求セシモ計ラレスト云フモノアリ是等多數ノ放任荷物ノ爲メニ倉庫カ占領セラル、モ倉敷料ヲ請求セス又其引取方ヲ催促セス遷延遲滯シ自然ノ儘ニ放任シタルハ一ニ其扱ノ疎漏ト云ハサル可カラズ右ノ如ク支店ノ責ヲ負フ過剩荷物ノ内ニハ或ハ臺灣航路以外ノ紛來荷物モアルヘシ或ハ送狀以外ノモノモ混入セシナルヘシ此等ニ對シテ直チニ之ヲ仕立港ニ積返シ又ハ本社運輸課ニ報告シテ其處分ヲナシ置カハ此等ノ堆積ハ來サ、ルナリ殊ニ安平及沿岸各港行ノ荷物ニシテ取調ノ照會ニ接スルモ只帳簿ノミチ見テ符ヲ倉庫内ヲ改メズ以テ今日ニ至リタルモノモ又多キニ居ルナルヘシ現ニ今回右過剩品ヲ列記シ安平支店ニ至リ其不足荷物ト對照シタル結果七個ハ全店行ノ荷物ナルコトヲ知リ直チニ送付スベキ旨ヲ申置キタル如キ尙是ヲ外ニシテ安平支店當事者カ實地其過剩荷物ヲ改メシハ續々其不足荷物タルヲ發見スルヤモ知ルヘカラス特ニ其不着ノ爲メ己ニ辨金シ終リタル荷物モ又此ノ内ニアリト思ハバ豈ニ歎スベキニアラズヤ

今回右二百二十餘個ノ内其腐敗ニ歸シタルモノ及ヒ其未調査ノ分ヲ除キ直チニ本社へ送附スベキ旨ヲ命シ其中既ニ百二十二個ハ若荷セリ其内保詰物及積物類

ハ凡テ腐敗或ハ漏洩被損シタリ硝子類ノモノハ紛碎セラレ其他全ク價格ヲ損シタルモノ頗ル多ク中ニハ鏡モ脱シ底モ落チタル空樽モ到着セリ斯クノ如キ者ニ對シテハ支店ハ其價格ノ損セサル前適當ノ處置ヲ施シ置カハ斯ノ如キ損害ヲ生セサルヘキニ之ヲ放棄シ置キタルハ無責任ノ誹ヲ免カレ、能ハサルニシテ此ノ過剩荷物ハ運輸課ニ於テ調査中ニ屬スレトモ其既ニ調ヘ得タル處ノミニテモ本社ニ於テ辨償濟ノモノ十一點不着報告ニヨリ取調中ニ屬スルモノ十二點アルコトヲ知り得ラル、ニ至リテハ唯驚クノ外ナシ

過剩荷物ノ行先不明ノモノハ本社ヘ送付スヘキコトハ不文ノ成規ナリ本年六月更ニ成文ノ事故荷物取扱規程ヲ設ケテ其處置ヲ定メラレ各過剩及不着荷物ニ就テハ其時々運輸課ヘ報告スヘキヲ規定セラル然ルニ當支店ハ全然之ヲ等閑ニ附シ以來過剩ノ報告ニ接シタルハ僅カニ十數個ニ過キス而シテ多クハ後ニ至リ出荷地ヨリ送荷ノ手續ヲナシ處分濟ニナレルモノナリ然レハ本社ニ在リテハ基隆ノ如キニアリテ此ノ如キ事アラントハ符テ夢想セサル所ナリキ茲ニ至リテ大ニ事故荷物實地調査ノ必要ナルヲ覺エタリ

基隆支店ニ於ケル不着荷物ハ甚々多カラズ其不着ト稱スルモノモ多クハ次航或ハ他船ニテ追送シ來ルノ例ナルヲ以テ全店ニ於ケル不足荷物ノ辨償ハ極メテ少ナシ只一時出荷地ノ誤リ及各船ノ揚達ヒ等ニ歸スルモノノ如シ

第貳節 損害荷物ノ現狀

基隆支店ハ安平及其他沿岸各港ト異ナリ接續ノ煩ナク港モ比較的良シキヲ以テ

從來荷物ノ被害少シ只其大部分ヲ占ムルモノハ酒及醬油等樽物ガ差シノ爲メニ或ハ著シク減量シ或ハ空ク空トナルノ類ニシテ朝鮮航路ニ於テモ屢々見ル處ナリ之レ各船ノ積附ニ就キ充分注意スヘキ點ナレトモ亦大阪及神戸ニ於テ荷受ノ際樽ノ良否ニ就キ深ク荷主ニ注意ヲ與ヘ不長ノモノニ對シテハ必ス証明書ヲ取リ置クヘキコトトセハ此等ノ責任ヲ大ニ免カル、コトヲ得ヘシ然ルニ近來基隆ニ於テモ又屢々拔荷ノ害ヲ見ルニ至リ現ニ小生等ノ出張中ニモ靴ニ拔荷アリ諸ニ拔荷アリ亦洋反物ニ拔荷アルヲ認メタル如キハ斯業ノ爲メ大ニ遺憾トスル所ナリ又安平ニ於ケル近來ノ拔荷ハ村井ノ煙草ニシテ基隆港仲仕ノ所爲ナルヲ疑ヒ荷受ノ際疑ハシキモノハ之レヲ坪量開展シテ試ムルコトニ交渉シタリシカ基隆支店ニ於テハ煙草ニ限ラズシテ雜貨ニ此不幸アルヲ見ルニ至リシハ恐クハ船内仲仕ノ所爲ニシテ殊ニ積荷ノ儘屢々夜泊リヲナス時ニ於ケル取締嚴重ナラサルニ依ルモノ一原因ナルヘキヲ以テ同支店ニ於テ嚴重ノ取調ヲ求メ置キタリ樽物ノ損害ニ就テ注意スヘキハ各支店ヨリ各船ヘ向テ請求スル証明書是ナリ各船ニ於テハ其二分減或ハ三分減ニ對シテモ或ハ七八分ノ減量ニ對シテモ全シク單ニ差シノ爲メ減量ナドノ記載ヲナスノミナルヲ以テ船艙及倉庫内ニ於テ其上如何程ノ減量ヲ生スルモ皆證明書ノ不完全ナルガ爲メ一ニ本船内ノ損害トシテ通過シ店員ハ唯々例ノ支店氣質ヲ以テ事務ノ通過ノミヲ勉ムルガ故ニ右證明書ヲ取リタル以上辨償ハ當然ノモノトシテ店長ノ權限ヲ以テ辨償シ去ルノ感ナキヲ得ス爲メニ荷主ハ悉ク本船ノ取扱疎漏ニ出ツルトナシ商船組及陸上ノ損害ハ

一モ其證ヲ得サルナリ故ニ以來本船ヨリ發スル證明書ハ必ズ何分減ト記入セシム様ニスベシ尤モ注意深キ船ニ在リテ此等構物ハ決シテ商船組ニ委ネズ必ス店員ト共ニ會社ノ幹ニテ送り込ミチナスモアリ各船ニモ是非實行セシメタシ獨リ構物ノミナラス凡テ荷物ノ損害ニ就テハ各店ハ各船ヨリ發セル證明書ヲ得テ權限内ニ於テ辨償ヲナスト雖トモ本船ニ在テハ只其現狀ニ就キ證明シタル迄ニシテ辨償ノ如何ヲ知ラズ運輸課ヨリ取調フルニ當リ初メテ先キニ證明シタル荷物ノ辨償サレタルコトヲ知リ彼ノ荷物ニ就テハ斯クノ如キ理由アリテ辨償スヘキモノニ非サル旨ヲ申出ツルコト少シトセズ要スルニ辨償ニ就テハ入荷店出荷店ト各船トノ間至ク消息ヲ欠キ證明書ハ其記入ノ不完全ナル爲メ反テ他人ノ加害ヲモ負擔スルノ弊アリ之レ大ニ注意スヘキ處ナリトス

第三節 荷物ノ授受及取扱

第一款 接續荷物ノ手續 第一節ニ於テ述フル如ク基隆揚荷物モ沿岸行ノ荷物モ其出荷地ハ全シク主トシテ大阪及ヒ神戸ナルニ基隆ニハ不著荷物少クシテ沿岸ニ多キコト基隆ニ數多ノ過剩荷物ヲ存セシメ及沿岸各港ノ不著ハ打狗線ニ在リテモ基隆港ニ陸揚シテ更ニ沿岸線ニ積換ヲ爲ス部分ニ多キコト等ハ明ラカニ基隆支店ノ接續手續ノ宜シカラサルヲ證スルニ足ル安平支店ノ不著荷物ニ於ケル全支店ノ手續ヲ調査スルニ當リ内地基隆線ヨリ沿岸線接續ノ荷物ニ比較的誤リ少キモ右取調荷物ハ主トシテ沖繩經過打狗線各船カ風波ノ爲メ安平ニ揚荷ヲ了セズ復航ノ際基隆ニ陸揚セシモノニアリテ基隆カ沿岸線ニテ

發送ノ手續頗ル疎漏ナルヲ發見セリ此等ノ場合ハ單ニ總數ヲ以テ受取り一々荷物明細書ナク發送ノ際モマニフエスト面ハ只何十何個何月何日何凡揚發品ト記シテ送ルコトアリ故ニ安平ニ於テハ只個數ノミヲ知ルト雖トモ荷物点檢ノ上ナラテハ其如何ナル荷物ノ到着セシカヲ知ル能ハズ而モ是尙忍ブベシ中ニハ甚シキハ「マニフエスト」ニモ記載セズ便借送狀ヲモ附セズシテ空ニ送り附ケルモノアリ又備カノ荷物ヲ一度ニ送ラズ四回乃至五回ニ涉ルコトアリ左レハ基隆ノ手續取調之際實際安平ニ於テハ六個ノ不足ナレトモ基隆ニ於テハ其証跡上八個ノ不足トナリ居レリ又一方ニハ材木ヲ混スル場合解荷トナリシ爲メ發送ノ數ハ遙ニ受取數ニ超過スルノ奇觀ヲ呈セリ此ノ如キ場合如何ニ雜貨ノ數減シ居ルモ尙材木ノ數ノ超過セル爲メ總數ノ上ニ於テハ云々スル能ハサルモノ往々アリ尤モ此類ノ場合受渡ノ上ニ於テ材木ト雜貨ヲ區別シ居リ或ハ沿岸線マニフエストニ一々雜貨ヲ明記スルコトアリ共ニ常ニ一定シ居ラズサレトモ現今ハ盡ク一々明細ノ記載ヲナシ居ル旨店員ハ辨解セリ

右ノ如ク接續荷物ノ手續宜シキヲ得ス且打狗線ノ臨時揚荷ニ就テハ常ニ之ヲ以テ常務以外ノ厄介物視シ其取扱モ極メテ疎漏ナルヲ覺ユサレハ臺南及打狗ノ荷主ハ早クモ之ヲ看破シ店長ニ親展狀ヲ送りテ其取扱上ニ就テ警告セシ處アリタリト云フ

第二款 入荷物ノ取扱

入荷物ノ荷受ハ一々基隆商船組ニ一任シ去リ店員ハ只帳簿ヲ據シテ荷物ノ實際ニ與リ知ラサルノ弊ハ曾テ大阪支店ノ富島組ニ於ケ

ルカ如シ本船ニ對スル交付書ノ受取証ニモ商船組ノ店員ノ捺印アルコト屢々
ナリ支店員ハ只商船組ノ藏入ニヨリテ初メテ荷物ノ取扱チヤスノミ安平支店
ノ不着荷物ニ對スル當店ノ手續取調チナスニ當リ「マニフェスト」面ト藏入帳
トチ照合セント欲シタルモ當時即チ昨年末ノ帳簿終ニ見當ラズシテ止ミタル
ノ不都合アリキサレドモ當支店ニ於テ樽物等ノ損害アルノ外不着荷物少ナキ
コトハ前述ノ如シ每航海多少ノ不着荷物アルモ次航或ハ他船ニテ多ク追送ス
ルノ例ナリ然レトモ基隆支店ニ於テハ出荷地ノ手續ニ就テ不便ヲ感スルコト
亦甚カラズ大阪及神戸共毎々「マニフェスト」ノ送致遅ク荷物ノヨハ到着スルモ
「マニフェスト」ハ次便ニ送リ來リ或ハ二三便ニ渉ルコト屢々ナリ爲メニ荷主ハ
船荷証書ヲ持參シテ荷渡ヲ請求スルコト切ナルモ引渡ヲ爲ステ得ス空ク倉
庫ニ堆積スルノ不都合アリ是レ大阪神戸ニ於ケル本船荷物積切時間ノ確定モ
サルヲ以テ出帆ノ際マテ各船ノ積附ヲ爲シ爲メニ「マニフェスト」ヲ調製シテ其
船便ニ送付スヘキ違ナキニ依ルヘシ故ニ各船積荷積切時間ヲ定ムルコトヲ心
要トス

基隆入荷ノ内臺北行即チ停車場積ノモノハ舢舨ヲ別ニシテ直チニ第三號倉庫
ニ送ルヲ以テ非常ノ便利ナレトモ各船積附ニハ臺北行ノモノト否トテ混積シ
アルヲ以テ積取ニ非常ノ不便ヲ來シ之ヲ實行スル能ハズ且ツ又可成各荷主ノ
荷チ區別シテ積マサルヲ以テ本船直取等ノ場合一荷主ノ荷物ヲ一度ニ積取ル
能ハズ爲メニ接續上少ナカラサル錯誤ヲ生スルコト少ナシトセズ之レ本船及

積出地ニ注意スベキ所ナリ

臺北ニテ荷主ノ訴スル所ヲ聞クニ一般ニ社船ハ郵船ト比シテ荷物ノ取扱疎漏
ニシテ濡荷特ニ多ク且又基隆支店ノ取扱宜シカラザル爲メ破損ノ害チ蒙ムル
コト多シト云フサレバ或ル荷主ハ雨中荷役ノ際ニハ必ス舷側ニ雨覆ヲ設ケテ
レシコトヲ望ムト云フモノアリ木村商會代理店タル土橋商店ヲ訪ヒタルトキ
ノ如キハ九月十日建臺南丸積ニシテ濡損ヲ蒙レル煙草四十二個ヲ荷姿ニ備示
シテ其取扱ノ不良ヲ訴ヘラレタリ又盛進商行ヲ訪ヒタル時ノ如キモ宇治上茶
ヲ入レタル三個ノ大瓶ヲ送リ來リタルカ貳個ハ破裂シテ中品散乱シ而モ雨中
ノ配達傍觀實ニ氣ノ毒ニ感シタリサレド此等荷物ノ損害ハ果シテ會社ノ責任
中ニ生セシモノナルヤ否ヤハ實ニ疑ハシキモノニシテ基隆ヨリ臺北ニ至ル迄
瀛海積チナス際基隆仲次人ハ之ヲ舢舨ニ積ミテ停車場へ送ルニ充分ノ雨覆ヲ用
ヒズ爲メニ降雨絶へ間ナキ基隆ノコトナレバ時ニヨリテハ企舢舨内ニテ多ク
ノ濡濕ヲ生シ而モ仲次人ハ之ヲ以テ商船會社ノ爲ス所トナスノ弊アリ又瀛車
積ノ際ニモ濡損ヲ生スルコトナシトセズ是等ヲ考ヘスレテ荷主ハ偏ニ吾會社
ヲ攻撃スルハ誤リナラズヤトノ旨ヲ以テ答ヘ置キタリ此点ハ臺北行荷物ハ第
三倉庫即チ停車場倉庫ニ悉ク積入ル、コトトセバ其損害ヲ免カル、コトヲ得
ラルヘシ

第三款 事故荷物取扱規程及辨償規程ノ實行 事故荷物運帳過不足荷物運帳ノ
備付アリサレトモ可成之レニ記入スルコトヲ避ケ過不足ノ生スルヤ直チニ之

レヲ記入セスニ航海ヲ經タル後愈其事故ノ容易ク處分シ終ラザルヲ計リテ
 和メテ記入スル下ハ獨リ基隆ノミナラズ各店通シテノ弊ナリ爲メニ右案帳ヲ
 以テ事故荷物ノ統計ヲ知ルコト能ハサルナリ又過剩荷物ノ取扱ニ就テ全ク規
 程ヲ無視シタルコトハ前既ニ之ヲ述ベタリサレト其他支店トシテ取扱フヘキ
 ノ規定ハ之ヲ實行シツ、アリ安平支店ハ南滿線ニ對シテ事故荷物取扱規定上
 主腦店タルノ事務ヲ實行セザルト全ク基隆支店ハ沿岸線ニ對スル全規程ノ
 事務ヲ實行セス即チ沿岸各港ニ對スル過不足荷物盛帳ナク又倉入荷物盛帳ノ
 設ケナク只沿岸線ニ於ケル各港ノコトハ凡テ全然他店視レ去リテ其狀態ヲモ
 詳ラカニセス之レモ各支店一般ノ通弊ニシテ管轄線路ニ對スル注意ノ不充分
 ナル原因ナリトス

事故荷物辨償手續ニ關シテモ沿岸線ニ就テハ各店ハ基隆支店ノ手ヲ經テ本社
 へ申出ツベキ規定ナレトモ一モ實施セラレズ之レ各店及基隆支店相待チテ其
 責ヲ盡ササルカ故ナリ

第四款 船荷證書事項ノ勵行如何 船荷證書面條項ヲ勵行スルニ當リ最も多ク
 起ル問題ハ裏書事項ニ於テ總テ荷造ノ不良ヨリ生シタル毀損漏洩及總テ荷物
 内部ノ損傷異狀ニ就テハ一切辨償ノ責ニ任セサル旨ヲ記シ尙蒙灣行荷物ニハ
 破損濡損中品漏洩等ハ一切其責ニ任セズトノ印ヲ押シテ渡スモノナリ是等ノ
 契約ニ就テハ從來其効果上及商客上種々ノ議論ノ存スル所ナレトモ今茲ニ之
 ヲ論スルヲ止メ只船荷證書ノ摘要欄内ニ漏洩其責ニ任セズトノ印ヲ蓋澗ニ限

リ用ユルニ於テハ之ヲ勵行セザルヘカヲサルハ勿論ナリ且基隆ノ如キ荷物辨
 償ノ大部分ハ荷物ノ破損減量ニ在リト雖モ其果シテ本船員或ハ店員ノ責ヲ負
 フベキコトヲ證據立ツルコト非常ノ難事ニシテ結局一ツモ辨償ノ責ナシト旨
 フチ得ルニ至ルヘシ然レトモ基隆支店ニ於テハ之ヲ勵行セス常ニ商業上平和
 チ破ラザランカ爲メト云ヒテ可成悉ク之ヲ辨償スルノ策ヲ取レリ且支店ニ於
 テモ一時ニ多數ノ荷物ノ内其一ヲ損シタル荷主ノ如キハ左程嚴シク通ラザル
 モ僅々數挺ノ樽物ノ内其一ヲ漏洩セシ場合ニハ之ニ對シテ無責任ヲ主張スル
 ハ衷心忍ビザル所ナリト云ヘリ爲メニ基隆支店ハ其方針一定セスシテ荷主ノ
 強求ニ遭ヒ常ニ辨償スルノ傾キヲ來セリ之レ現時安平支店ノ辨償方針トハ全
 ク正反對ニ出テ從テ基隆支店ニ於テハ荷主ノ苦情少ナキ一原因ナランカ

第二章 倉庫ノ設備及荷捌荷受之事

基隆支店ノ倉庫ハ左ノ如シ

- 一 壹號倉庫 (支店ノ傍) 凡ソ百十一坪 受持 雇員 塚本市太郎
 - 一 貳號倉庫 (停車場) 凡ソ百二十坪 全 全 岩下 武二
 - 一 參號倉庫 (舊支店跡) 凡ソ百四十坪 全 全 國司周之助
- 右ノ如ク基隆ハ安平ト全ク三棟ノ倉庫ヲ有ス然レトモ其規模整理遜カニ安平ニ
 及ハズ第一號及第二號倉庫ハ共ニ屋破レテ日光漏射スル處アリ降雨ニハ漏リテ床
 ナ漏スアリ床板ハアレントモ朽敗セル所アリ加フルニ基隆ハ濕潤多キヲ以テ其下層

ニ在ル諸荷物ハ常ニ多少ノ濕氣ヲ帯ビザルナク且兩者共ニ倉庫ト云フモ外觀通常ノ家屋ト異ナラズ只停車場前ニ在ル第三倉庫ノミハ稍倉庫トシテ土地相應ニ遜色ナシト雖モ倉庫ノ設備全ク不備ナリト云フモ可ナリ當路者亦其改築或ハ増築ノ急ヲ知ルト雖トモ基隆港築港ノ大計劃ハ未タ發表セラレズ從ツテ海陸ノ便否ヲ知ルヲ得サルカ故ニ未タ着手スルヲ得サルモノナルト一ハ其營繕ノ疎慢ナルノミナラズ三倉庫共ニ規模小ナルヲ以テ打狗線ノ臨時陸揚等ノ時ニ際シ或ハ瀛車ノ通セザルコトアルトキハ忽チ狹隘ヲ告ケ其手配ニ苦シムヲ例トス

例令築港ノ竣工ヲ待チテ改築スルノ外ナシトスルモ尙數年ノ後ナルベシ其間現今ノ儘狹隘不整理ヲ持續スルトセバ荷物ノ損害ヲ惹起スルコト僅少ニアラザルベクレバ是非トモ假營繕ヲ施シテ荷物ノ保管ニ注意スル様セラレコトヲ望ム

荷捌ハ基隆ニ支店ヲ有スル主ナル荷主ハ多ク自己ノ船ヲ以テ本船ヨリ直取チナスアリ又倉庫内ニ於テ仲次ノ手ニ引渡スアリ又直接荷主ニ引渡スコトアリ此等直取ノ場合ハ荷主ハ未タ船荷證書ヲ手ニセザルコト多キヲ以テ引換ニスルコトヲ得スト雖モ此等ノ荷主ハ皆基隆ニ支店ヲ有シ財産身元確カナルモノナルヲ以テ證書ヲ差入レシメテ直渡ヲ許シ後ニ該證書ト引渡ニ船荷證書ヲ受取ルノ例ナリ

臺北行ノ荷物ハ本船ヨリ直チニ停車場ニ送致スルノ便ヲ計リ第三號倉庫ヲ設ケラレタリト雖トモ前章ニ述ブル如ク本船ノ積附宜シカラザル爲メ船積ニ之レヲ區別シテ積ム能ハス其結果第三倉庫ヲ使用スルコト少ク主ニ第一第二ノ不良ノ倉庫内ニテ仲次人ニ引渡スノ不便アリ其結果トシテ一旦倉庫ニ揚ケ仲次人ハ更ニ船ニテ

停車場ニ送レテ以テ臺北荷主ハ餘分ノ掛物ヲ支拂フコト、ナレリ

倉敷料ハ五日以内ハ徵取セズ其以上ニ涉ルトキハ一日一個金壹錢宛ノ定メナレトモ嚴格ニ之ヲ勵行セズ

荷受ニ就テハ接續荷ノ外當地ノ輸出物ハ只儘カニ少量ノ阿片及稀レニ硫黄アルノミナルヲ以テ見ルニ足ラズ此等ハ皆運賃及荷造一定シアルカ故ニ検査ノ手數ヲ要セズ直チニ倉庫ニ於テ荷受チナシ其他ノ雜貨等ニ就テハ第二號倉庫ニ於テ之ヲ検査シ其運賃ヲ評定シテ送狀ニ記入ス

三棟ノ倉庫ニハ各主任者ヲ置キテ取締チナスヲ以テ危險ノ患少シト雖トモ一々其主任者ニ委子去リテ店長以下店員ハ多ク現狀ヲ知ラズ二百餘個ノ過剩及未引取ノ荷物ヲ入レ置キ少ナカラヌ面積ヲ充塞セラル、モ毫モ顧ミズ且倉敷料ヲ嚴格ニ取ラザルヲ以テ荷主ハ都合宜シカラザル時ハ何日迄モ引取ラザルノ弊アリ是レ倉敷料ノ徵取ハ必ス之ヲ勵行セサルベカラザルノ必要アリトス

材木類ハ倉庫ニ入レズ支店ノ北海岸ニ當リテ平川倉庫ノ空地ヲ借受ケ茲ニ積置ケリ通路ニ面スル方ハ只名バカリノ柵ヲ設ケタリト雖トモ海ニ面スル方ハ何等ノ設ナキヲ以テ竊盜ノ患ナシトセズ又借地料ハ一ヶ月百二十餘圓ヲ支拂ヒ居レモ契約面ニハ個數拂ヲ以テ借地拂ヲ定メ居リ常ニ一定シ居ラザルヲ以テ今回月額ヲ以テ定メントノ交渉中ナリト聞クサレトモ荷主ニ向テハ倉敷料ヲ徵取スルコトナシ之ヲ當事者ニ糾セハ即チ曰ク若シ倉敷料ヲ徵取スルトキハ盜難其他ノ損害ニ就テ賠償セザルベカラズ從來ハ材木ノ不足ニ就テ一モ云々アリシコトナシ唯ニ云々セザル

ノヨナラズ此類ノ禍ノ生スルコト殆ントナシト云ヘリ又奇ナリト云フベシ然レトモ此等倉敷料モ亦設備ヲ施シテ以テ徵收スヘキモノナリトス
 既ニ前章ニ於テ述フル如ク安平港不着荷物ノ多キハ基隆支店ノ接續ノ手順宜シカ
 ラズ各倉庫ニ臺北行其他ノ荷物ト混シテ接續荷物ヲ藏スルヲ以テ毎ニ接續積出ノ
 際積殘ヲ生シ特ニ打狗線ノ臨時陸揚ノ際ナド一層ノ混雜ヲ來タシ爲メニ再送ノ節
 一回ニシテ積送リヲ了セス三回乃至四回ニ涉ルコトアリ是レ事故ノ生スル最大原因
 ナリトスサレバ接續荷物ニ就テハ一ツノ倉庫ヲ定メテ必ス之ニ積入ル、コトトシ
 可成他ノ荷物ヲ入レザルコト、セバ大ニ此混雜ヲ免ル、ヲ得ント信ス

第三章 船商船組及仲次人

第一節 船商及商船組

基隆支店現在ノ船商及其定員ハ左ノ如シ

一 荷物船	十二艘	貳拾八圓
船頭	壹人	給料ハ個數拂
船	三十人	三人乘六隻
定夫船大工	三人	一人ニ付參拾六圓
一 水船三十噸入	二隻	一人ニ付拾五圓宛外ニ六圓食料
船頭	二人	

船頭三十人ハ商船組ノ保證ニテ支店ノ雇入レタルモノニシテ其支拂割合ハ附錄
 附帶費用ノ表ニ在リ

右ノ如ク十二隻ノ荷船アリト雖トモ其内二艘ハ老朽シテ其用ニ堪ヘズ

基隆商船組ハ舊大坪船及高砂組ヲ合同シテナレ一ノ合資會社ニシテ會社ノ
 船及自己ノ船ヲ使用シテ荷客ノ乘揚積卸及水切藏入ノ業ヲ擔當ス其各荷物
 ニ對スル水揚賃取立及仲仕賃船賃支拂賃ハ附錄ニ表示セリ

商船組ハ大阪及神戸ノ支店ニ於ケル富島組ノ如ク本船トノ荷物授受ニ就キ一切
 ノ事務ヲ引受ケ居ルヲ以テ交附及受取證ニ全組員ノ印ヲ用フルコト多ク從フテ
 事故荷物ニ就テモ支店員ハ其藏入ニ至リテ初メテ其損害ヲ見荷割ニ至リテ其不
 足ヲ發見スルコトヲ常トス故ニ荷物ノ差シナドアル場合本船ヨリハ單ニサシト
 記シアル證明書ヲ渡スモ店員ハ船内ノ損害及若シモ商船組カ之ニ乘レテ施シタ
 ルコトニ就テハ一ツモ知ルヲ得ス共ニ以テ本船ノ爲ス所トナスノ風アリ且前章
 ニ於テ述タル如ク倉庫ノ狹隘ナルトキ及荷役ノ後レタルトキニ當リ船組ニ荷物
 積ミタルマ、夜泊リヲナスコト屢々アリ此時ニ當リ夜中ノ取締嚴ナラズシテ
 中品採取ノ害ヲ醸スコトモ亦疑ナキ能ハサル所ナリトス

基隆ニ支店ヲ有スル主ナル荷主ハ多クハ自己ノ船ヲ以テ本船ヨリ直取シ又直積
 ナラス此場合ハ附帶費用ニ就テ當店ノ關係ナク只直接荷役賃ヲ仲仕ニ支拂フノ

船客ノ船運賃ハ左ノ表ノ如シ

基隆港當社船賃銀表

物 荷 手	客 乘			發 着		大 阪 商 船 株 式 會 社
	自 濱 船	自 濱 船	自 濱 船	至 小 基 隆	至 小 基 隆	
至 附 義 重 橋	至 停 車 場	至 小 基 隆	至 附 義 重 橋	至 停 車 場	至 小 基 隆	平 日 間 夜 間 風 波 ノ 日 間 夜 間
一〇	七	七	二〇	一五	一五	一三 一〇 一〇 二五 二〇 二五 二五 三〇 一五 二〇

右ノ表ニヨルトキハ基隆港船客船賃ハ一定シ且各船ニモ揭示シアルヲ以テ外見上船客ノ爲メニ大ニ便利ナルカ如キモソハ唯有名無實ニシテ絶テ之レカ實行ヲ見ルコト能ハス即チ各船ノ投錨スルヤ各旅館ノ客引ハ續々本船ニ入り込ミ來リテ客ヲ本社ノ船船ニ移シ其船賃ハ旅館ヨリ之ヲ精算スルヲ以テ支店ノ手數ハ大ニ省略スルコトヲ得レトモ客引ヨリ乗客ニ對シテ徴收スル船賃ハ常ニ此額ヲ超過シテ乗客ノ疑ヲ招クト共ニ中間客引ノ腹ヲ肥セリ而シテ揭示表ニハ小基隆、義重橋、停車場ト其々揭示アレトモ實際船賃ニハ此等ノ設備ナク悉ク各旅館

ノ爲メニ小基隆ニ送り込ムノ船賃アルノミ故ニ事情ニ精通シタル乗客ハ自カラ「サンパン」ヲ雇ヒテ各目的地ニ至ルヲ例トス特ニ乗船ノ場合ノ如キハ別ニ船賃ノ定例ナキヲ以テ各旅館ハ勝手ニ過分ノ賃錢ヲ徴收シ居レリ故ニ各船揭示ノ賃ヲ揚ゲントセハ停車場、義重橋、小基隆行ノ各船船ヲ設備シ明カニ目標ヲ建テ依テ向フヘキ所ヲ知ラシムルコトヲ必要トス

第貳節 仲次人

當支店ニ屬スル專屬仲次人ト稱スルモノ十名程アリ皆保證金百圓ヲ納メ居リ專屬ノ契約書ヲ差入レタリト雖トモ多クハ亦郵船會社ノ仲次ヲモ營ム
當港ノ仲次問屋ハ一般ニ荷主ニ不實ニシテ基隆ヨリ停車場ニ船送リチナス場合ノ如キモ船ノ雨覆ハ完全セズシテ濕潤ヲ生スルコト少シトセス然ルニ之ヲ以テ會社ノ爲ス所トナシ荷主モ亦之ヲ信シテ會社ヲ攻撃スルノ弊アルコトハ第一章ニ於テ零記スルガ如シ
當港ノ仲次人ハ多ク旅宿業ヲ兼業シ密カニボーイ雜掌或ハ船長事務員ト結託シテ無切符隠載チナスコト夥シト開ケリ某事務長ノ言フ處ニ依レハ隠載ハ主ニ三等客ニ在リテ基隆ヨリ長崎ニ至ル間最モ多シトス故ニ先ツボーイチシテ客室ヲ見廻ラシメ次ニ事務員チシテ見廻ラシメ深更ニ入りテ自カラ其人數ヲ檢スルニ屢々四五人ノ無切符者ヲ發見スルコトアリト云フ而シテ其源ヲ尋ヌレバ多ク仲次人ト船員トノ結託ニアリト云フ故ニ長崎及門司ニ於テハ各支店員ノ出張シテ上陸券ノ受取ヲ嚴ニスルハ刻下ノ急務ナレトモ之亦勵行チ怠リ居レリト云フ

基隆ハ單ニ輸入港ニシテ殆ント輸出物無之然ルニ比較的仲次人ノ數多キハ頗ル奇觀ニシテ普通仲次人トシテノ收入ハ確カニ彼等ヲ支ヘ得ヘクモアラズ然レトモ重ナル收入ハ之レニアラスシテ臺北荷主ノ爲メニ滾車輸送ヲナスニ在リ彼等ハ各荷主ヨリハ各荷別ニ滾車運賃ヲ請求スルト雖モ數多ノ仲次人合同シテ貨車ヲ借切リ一課メニ荷物ヲ輸送スルヲ以テ仲次人各己ノ貨フヘキ運賃ハ極メテ僅少ナレバ其差額ハ彼等ノ利スル所トナレリ之レ此奇觀アル所以ナレトモ爲メニ積附ニ無理ヲ生シ破損ヲ來スコトモ亦少ナカラザルベシ附記シテ以テ參考ニ供ス

第四章 各船ニ對スル事務及其取締

第一節 沿岸線管轄店トシテノ事務及取締

當支店ハ沿岸線各船ニ對シテ本社一部ノ事務及取締ヲナスヘキニ其成績甚々宜シカラズ一般ニ沿岸各船ニ乘シテ之レヲ見レバ其取締ハ本社直轄船ニ於ケルヨリモ遙カニ鈍キカ如シ室内必要ノ諸揭示ノ如キハ殆ント之ヲ欠キ裝飾ノ如キモ殆ント之ヲ放任シタルノミナラス各等便所其他ノ不潔ニシテ手洗水管及扉戸等ノ破損セルモノ等ニ就テ支店ハ一モ之ヲ監視セズ且船員ノ服裝及其弊風等ニ就テ一モ之ニ關涉スルコトナキカ如シ

各船ノ荷粉取扱ヲ取調ヘタルニ未ダ一回モ荷粉ヲ陸揚シタルコトナシト云テ而シテ各船ハ如何ニ荷粉ヲ取扱ヒツ、アリヤハ支店ハ之レヲ知ラス唯々多分ノ荷

粉ヲ生スルコトナキカ如シト答フルノミ

船客遺忘品ノ如何ヲ調ヘタルニ之亦嘗テ陸揚シタルコトナシ只一回編蝠傘ヲ陸揚シタルコトアリシモ其所有主ヲ知ルヲ得テ送リ届ケタリト云フ又以テ規定ニヨレル監督ハ充分ナラザルカ如シ

贈品ハ盡ク基隆支店ヨリ給與スルモノニシテ多クハ豫蓄品規程ニヨリ本社ヨリ送り來レルモノヲ全店ニ蓄藏セリ然レトモ全地ハ濕潤絶エ間ナキ上ニ注意周到ナラザル由ニテ盡ク濕氣ヲ帶ヒ「ビスケット」如キモ小生等カ乘船シタル宮島丸ニ於テ本建ニ取出シタルモノナリト云フニ恰モ蒸菓子ノ如ク軟變セリ客ニヨリテハ其幾日月ヲ經タルモノカト思フナルベシ

故ニ物品ノ性質ニヨリテハ基隆ニハ豫蓄スルコト能ハサルモノ多ク内地同様ノ考ヲ以テ豫蓄セシメバ各船ハ多ク變味ノモノヲ使用スルニ至ルヘシ之レ計理課ニ於テ注意ヲ要スヘキコトナリトス

各船及各店ノ運賃勘定ハ毎ニ三四回航海ノ後ニ非サレバ概ラサルヲ例トス是レ多少其督促嚴ナラサルニモヨルヘシ爲メニ會計事務ハ益手後レトナルノ傾キアリ之レ或ハ全店會計事務ノ非常ニ滯滞セル結果トシテ自然ニ其督促緩ニ流ル、ニ至ルモノカ會計事務ノ不整理ハ全支店ニ於ル一大問題タリ倘々計理課員ノ取調タルアレハ其報告書ニ詳カナラント信スレバ茲ニ之ヲ畧ス

淡水ニハ南清航路各船員ノ社宅ノ設ケアルモ沿岸線船員ニ此種ノ設ケナク物價ノ高低航路ノ險惡ナル點ヨリスルモ船員ノ權衡ヲ失スルノ感アリ故ニ基隆ニモ

之レカ設備ヲ與ヘラレノコトヲ望ムトハ同航路各船ノ希望ナリトス
第二節 一般各船ニ對スル取締

臺灣諸航路ニ於ケル各船運貨直取ノ弊多キコトハ夙ニ耳ニスル所ニシテ之レカ取締ニ關シ嚴シク各店ニ注意シタル結果トシテ基隆支店員モ若船ノ場合各船ニ臨船シテ上陸券ノ徵取ヲ勵行スヘキモノナリシモ小生等カ臺南丸ニテ若船セシトキノ如キハ運輸主任臨船シタルモ素ヨリ其目的ニアラズシテ上陸券ハ盡ク本船員ニ於テ之ヲ受取ルヲ見ル然レトモ此日ハ恰モ臺中丸及盛航丸ガ暴風ノ爲メ全港ニ於テ遭難セシ折ナレバ或ハ手廻リ兼ネタルナラントモ或事務長ノ言フ處ニヨレバ基隆支店ハ上陸券ノ受取ヲ怠リ偶々其勵行ヲ請求スルトキハ前夜擔當者ハ徹夜業ヲ執リタルガ爲メ臨船スルコト得サリシナド稱シ爲ニ隠蔽ノ弊ヲ除クヲ得ス基隆支店既ニ然リ船内ノ弊風革マラザルハ誠ニ遺憾ナリト云ヘリ之レ支店ガ各船監督ニ注意ヲ致サ、ルヨリ生スル所ニシテ向後支店ト共ニ本社ニ於テモ一層ノ注意ヲ以テ是等ノ弊風ヲ矯正セシムコトヲ切望ス

郵便ノ授受ハ局ト本船トノ直接ナルヲ以テ支店ハ其事務ニ直接關與セズ各船ガ基隆ニ着スルトキハ或ル一船ヲ除ク外ハ上級船員ハ一般ニ直チニ上陸シテ各自其定宿ニ就キ或ハ旗停ニ至リテ酒ヲ被リ夜ニ入ルモ歸船セズ時ニハ臺北ニ至リ妓遊ヲ試ミ翌日風雨ニ際シ偶々漁車不通トナリ出帆ニ後レタルノ例ヲ開ク畢竟スルニ支店カ各船ニ對スル管理ノ嚴チ欠キ各船員ハ支店ヲ眼中ニ置カサルノ致サ、ル所多キニ居ルニ由ラスンバアラズ凡ソ各支店ノ弊トシテ一般ニ本

第五章 雜件

社ニ於ケル自店ノ評判ヲ善クセント欲シ船員ニ細ビテ其欠點ヲ傳ヘザラシムコトヲ努ム當支店ノ如キハ最モ各船ニ對シテ概要ノ地位タルニ拘ハラズ間々船員ト共ニ本社ノ執務ニ對シテ云々スルノ弊アリト聞クガ如キハ支店ノ威嚴ニ關シ大ニ遺憾トスル所ナリ

一 以上述フル所ヲ顧レハ基隆支店現在ノ狀況ハ頗ル不整理ナリト云ヒテ可ナラン然レモ此レ主トシテ其弊ヲ舉ケテ其狀ヲ酌マザルノ致ス所ナルベシ基隆ハ臺灣諸航路ノ最樞要ノ地位ニアレハ從テ事務ノ範圍モ廣ク總督府ノ關係アリ軍隊輸送ノ事務アリ沿岸線ニ對シテ爲スヘキ事務アリ爲メニ充分手腕アル店員ヲ置クニ非レバ其好成績ヲ舉グル能ハザルハ勿論ナリ元來基隆支店ノ定員ハ二十三名ナリト雖モ現今ハ書記七名雇十三名アリテ雇員其過半數ヲ占ムルヲ以テ責任アル店員ニ乏シ之レ其店務ノ揚カラザル一原因ナランカ考慮ヲ要スベキ所ナリ

一 店長ハ社務ニ熱心ナルカ如ク店員モ一般ニ能ク勤ムルカ如シ且店長ヲ始メトシテ私行ニ關スル風評少ナク此点ヨリシテ業務ニ影響ヲ及ホスカ如キコトナカルヘシ然レトモ忌憚ナク云ヘハ業務ニ關ス聯絡ノ統一チ欠クト店員ニ有力ノ人少ナキハ全支店ノ欠点ナリ今回社員一部ノ變動ヨリシテ從來運輸ノ主任トシテ殆ソト主ナル店務ヲ掌握セシ長谷場氏ハ安平支店請トナリ其助手ニアリシ糸川氏ハ打狗ニ轉勤セラレ一時ニ運輸ノ當局者ヲ變更シタルハ全店事務ノ上ニ於テ頗

ル打撃ヲ與ヘタルヘシ現時ハ續助役及安達書記其後ヲ繼キ居レリ其店員ヲ使用スヘキハ運輸事務ニ於テ實ニ急ナルヲ覺ユ

一郵船會社ハ橫濱丸一艘ヲ以テ神戸基隆間一ヶ月二回ノ航海ヲナスノミ然レトモ其聲價最モ善ク人皆橫濱丸ヲ稱ス小生等ガ乘船セシハ臺北丸ニシテ二十四日出帆ノ等ナリシモ暴風ノ爲メ延着シ荷揚ヲ了セザル爲メ二十五日ニ延期シ橫濱丸ト全日ニ出帆セリ然レトモ臺北丸ハ只基隆第二回目ノ發船ニシテ其名未ダ知ラズ當日旅館福岡館ニ在リシ乘客ハ小生等二人ヲ除クノ外二十數人ハ悉ク橫濱丸ノ乘客ノミニシテ全館ヨリ橫濱丸へ辭ヲ出セシモ臺北丸へハ之レヲ發セズサレバ當日臺北丸乘客ハ僅カニ一等二名二等六名三等五十一名ナリシモ橫濱丸ハ一等十八名二等二十三名三等百十二名ノ乘船者ヲ得其聲望全日ノ談ニアラズサレバ今回臺北丸修繕ノ上新タニ臺灣航路ニ使用セラル、カ如キアラハ先ツ臺北新聞記者其他知名ノ士ヲ船内ニ聘シテ宴ヲ張リ其船ヲ紹介シ臺北地方人士ニ其船ヲ知ラシムルカ如キハ其聲價ヲ賣ルニ於テ最良ノ策ナラシカ敢テ愚案ヲ呈ス

一臺北ヨリ來ル乘客ノ便利ヲ謀リ停車場ニ出張所ヲ設ケテ切符ヲ發賣シ列車ノ着スル毎ニ小蒸氣ヲ茲ニ回船シテ其送込ヲ便ニスルガ如キハ乘客ヲ引附クルニ於テ利益多カラシカ現今停車場前休憩店ニ乘船切符發賣所ト記シテ内地へノ出帆アル日ハ店員一名茲ニ出張シテ切符ヲ賣出シ居ルト雖トモ直チニ本船ニ乗込ムヘキ設備ナキヲ以テ乘客ハ尙各旅店ニ至リテ切符ヲ買ハシムルノ便ナルヲ以テ更ニ其効果ヲ見ルコトヲ得サルナリ

一臺北諸新聞出航廣告ニハ漢和兩文間其東西沿岸船ノ顛倒セルモノアリ或ハ過去ノ出帆ヲ廣告セルモノアリサレト支店ハ此等ノ事ニ留意セサルカ如シ細事ト雖トモ充分ノ注意ヲ要ス

一當店入出荷運賃各其係ニ於テ徵收シ每船ノ計算表ノミヲ會計ニ渡シ現金ハ後ニ引渡スノ制ナリ今回野村雇員ノ費消事件ノ如キ此慣習アルニ加ヘテ會計ノ滯滯甚タシカリシカ爲メ一船ノ金ヲ以テ數船ノ運賃ニ流當シ永ク其罪跡ヲ蔽フチノ便アリタルカ故ナリサレバ今後ハ凡テ現金扱ハ之ヲ會計ノ出納掛ニ一任スルノ制ニ變更セシコトヲ急務トス

一基隆支店ノ前ニ當リテ小サキ待合所アリ榜シテ船客待合所ト大書スレトモ一々其用ヲナサス乘客ハ盡ク旅宿ヨリ或ハ停車場ヨリ直チニ艙板シテ本船ニ至リ嘗テ一人ノ乘客茲ニ憩フチ見ズ唯群童ノ遊戯場トナレルノミ中央ニ備ヘタル卓子ハ小兒ノ小石ヲ排フルノ外何ノ用ヲナサズ待合所トシテハ全然無用ノ者ナリ寧ロ停車場前海岸ニ設ケテ切符ヲモ發賣スル所トナスヲ得策ト考ヘリ

一事故荷物ノ取扱甚タ疎漏ニシテ事故荷物取扱規程ヲ勵行セサルハ此不整理ヲ來シタル原因ナリトス故ニ荷物係ノ主任ニ於テ嚴シク注意スルト共ニ店長モ亦能ク注意シテ店務ノ整理ヲ計ラシコトヲ望ム

一荷物ノ損害ニ對シ責任ヲ定ムル唯一ノ證據ハ運輸士ノ證明書ニアリ然ルニ由來各船ヨリ交付スル證明書ハ損害ノ發生セシ理由ヲ記入セス又其損害ノ程度ヲ明記セス爲メニ損害ヲ査定スルニ當リテ悉ク本船ノ責任ニ移ルコト多シ之レ直チ

ニ改良注意スベキ所ナリトス

一 抜荷及ヒ中品減量ハ船艙ノ夜泊ヲ爲ストキニ多シ此等ノ監督注意ハ最モ急速ニ實行スルコトヲ要スヘシ

一 各船運轉士ハ自己ノ發シタル證明書カ損害辨償ニ對シ如何ナル結果ヲ來タシタルヤハ殆ント興リ知ラザルハ今日ノ通弊ナリトス故ニ此等ノ結果ヲ知ラシムルト共ニ證明書ノ貴重ナルヘキコトヲ知ラシムルコトヲ必要トス

一 接續荷物ノ取扱甚ク不整理ニ歸スルヲ以テ臺灣南部ノ事故荷物ヲ生スルコト多シ故ニ此等ハ倉庫ヲ別ニシ帳簿ヲ整理シ其取扱ニ注意スヘキヲ目下ノ急務トス

一 船荷證券條項ノ履行ハ基隆支店ニ於テハ更ニ行ハレズ然レトモ責任ヲ負フヘカラサルモノモ悉ク之レヲ負フニ於テハ其際限ヲ知ラサレバ之ヲ勵行スヘキハ特ニ同店ノ注意スヘキ所ナリトス

一 沿岸線ニ對スル監督及ヒ注意ハ全然之ヲ忘却スルカ如シ船内ノ設備及風紀船員ノ勉否及私行ハ店長ニ於テ大ニ留意セラレシコトヲ望ム

第三編 淡水

第一章 荷物ノ取扱及ヒ事故荷物ノ

淡水ノ滞在ハ僅カニ二日ニ過キズサレバ全店ニ於ケル詳細ノ事項ヲ調査スルヲ得ズ又荷役ニ臨ミテ之ヲ取調フルノ暇ナク爲メニ詳細ノ報告ヲナスヲ得サルハ遺憾ナリトス

第一節 荷受ノ模様及倉庫ノ

淡水ハ臨時船ノ外内地航路ノ關係ナク唯南滿航路ノ管轄店タルノヨナルヲ以テ店務ノ事情他店ト全シカラザルモノ多シサレバ當店ニ於ケル荷受及荷捌ノ一端ヲ述ヘテ高考ノ一助ニ供セント欲ス

淡水ニ於ケル輸出荷物ノ多クハ臺北ヨリ輸出スルモノニシテ仲次人ハ淡水ニ日本一人及臺北ニ土人一名アリテ臺北ヨリ出ツル支那人及土人ノ荷物ハ後者ニ於テ盡ク之ヲ引受ケ全地ノ内地人及外國人ノ荷物ハ淡水支店臺北出張所ニ於テ之ヲ引受ケ共ニ戎克ニ積ミテ淡水河ヲ下リテ淡水ニ致ス然ルニ輸出荷物ニ就テハ悉皆税關ヲ經ザルヲ得サルヲ以テ總テ一旦税關倉庫ニ揚ケ更ニ積入ル、ヲ要スルカ故ニ本船出帆ノ日ニ送り來ルモノハ荷主或ハ仲次人ニ於テ自カラ税關ノ手續ヲ了シ直チニ本船ヘ積入ル、ガ故ニ本船ノ責任ハ其船側ヲ限リトスルモ其以前ニ送り來ルモノハ支店倉庫ニ於テ荷受ヲナスト雖モ支店ハ現荷物ニ就テ關知セサルモノ多シ揚荷モ此ト全シク多クハ税關ノ検査ヲ終フンバ各荷主ハ自カ

ラ之ヲ引取ルモノアリ或ハ淡水河戎克船ノ輸送ヲ營ムモノ荷主ニ代ツテ之ヲ受
 取リ支店ノ倉庫ニ入ル、モノハ殆ント少シト云フ
 當港ハ各船直チニ波止場先ナル脚場船ニ横附スルノ便アルヲ以テ幹船ヲ用ヒズ
 只陸上及船中仲仕ニ使用スル人夫ハ日本人三十名計リト土人三十名計リトアリ
 初メ仲仕受負人ヲ募集シ其内受負額ノ最低廉ナルモノ二名ヲ擇ヒ一人ヲシテ船
 中仲仕ヲ受負ハシメ一名ハ陸上仲仕ヲ受負ハシメタリシカ陸上仲仕受負人ハ春
 夏秋ノ三季ハ漸ク收支相償フヲ得ト雖モ冬季ニ在リテハ荷物ノ數少キ故ニ常ニ
 欲損ヲ免レズ且陸上及船中ノ仲仕各相分ル、ヲ以テ互ニ不便ヲ感シ權衡ヲ失ス
 ルコトアリシカハ兩者ハ終ニ合同シテ滬尾組ナルモノヲ組織シテ此等ノ仲仕業
 ヲ引受ケルコト、ナレリ
 倉庫ハ税關倉庫ノ一部ヲ借受ケテ積揚荷物ヲ保管スト雖モ別ニ借庫料ヲ支拂ハ
 ズ其藏番ハ税關ノ番人劔ヲ提ケテ之ヲナスト雖モ是又税關ノ好意ニ出ツルモノ
 ニシテ手當ヲ給セズ支店所有ノ倉庫ハ事務室ノ後ロニ凡ソ六坪程ノモノアレト
 モ茲ニハ船舶ノ附屬品不要物品及過剩品ノミヲ入レ置キ積荷ハ一切借倉庫ニ入
 ル、モノトス

第二節 船荷證書ノフ

南清航路ニ於テハ一トシテ船荷證書ヲ發セザルモノナシト雖モ正當船荷證書ヲ
 發行スルコト少ク多クハ Mate Receipts ヲ以テ之ニ代用ス然レトモ此ノ如キハ廈門汕
 頭ヨリ淡水ニ發スルモノ及淡水ヨリ是等ノ各港ニ向テ發行スルモノニシテ香港

ヨリ淡水ニ及淡水ヨリ香港ニ向テ發スルモノハ必ス正當船荷證書ヲ用フト云フ
 Mate Receipts 面ニハ本證ヲ以テ船荷證書ト引換ニセザル場合ニハ本證ハ船荷證書ト
 全一ノ効力ヲ有シ船荷證書所載ノ各條項ヲ適用スベシトノ旨ヲ記シアルヲ以テ
 毫モ差支ナカルベシト雖モ本證ヲ荷主ニ交附シ去ラハ支店ト本船トノ授受ノ證
 跡ヲ存スル能ハザルヲ以テ後日ニ至リ其授受ノ不明ナル爲メ事故ノ責任ヲ明ニ
 スル能ハサルノ感アリ然レモ本航路ハ内國航路ト異ナリ税關ノ檢査アリテ現荷
 物ト「マニフエスト」ノ相違ヲ許サス且一般ニ「マニフエスト」ニ記載セル荷物ハ必ス
 積入レタルモノトシテ船陸共ニ受取證ト全一ノ効力ヲ認メ居ルヲ以テ例令 Mate
 Receipts ナクトモ積入ノ如何ニ就テ紛議ヲ來スノ憂ナシト云フ

順序ヨリ云ヘバ「マニフエスト」ヲ受取リタル上ニテ船荷證書ヲ發行スベキモノ
 ニシテ「マニフエスト」ヲ以テ船荷證書ニ代用スルハ實ニ變則ノ制ナリト雖從來
 「ドグラス」會社モ全樣ノ制ヲ執リ居タルヲ以テ當港及臺北ノ荷主ハ此制ニ馴致シ
 テ船荷證書ノ用ヲ解セザルモノ多シ嘗テ此變則ノ制ヲ改メント欲シ淡水支店ハ
 「マニフエスト」引換ニ船荷證書ヲ發セントセシガ荷主ハ何レモ「マニフエスト」
 ヲ持來ラス又船荷證書ヲ請求シ來ラズ臺北荷主ヨリ積荷ヲ引受居ル戎克船頭ハ
 只習慣ニヨリ本船ヨリ「マニフエスト」ヲ受取リ直チニ封入シテ之ヲ郵送スルコ
 ト常ナルヲ以テ支店ノ計畫ハ終ニ實施ノ運ニ至ラス以テ今日ニ至リタリ若シ將
 來此制ヲ改メ盡ク船荷證書ヲ發行セントスルモ荷主ハ多ク出帆ノ當日ニ至リ一
 時ニ持チ來ルヲ以テ一々之ニ船荷證書ヲ交附スルコトハ現在ノ店員ニテハ爲シ

得ベカラズ又當地ノ仲次人ハ内地仲次人ト異ナリ自カラ川送或ハ「マニ」ニ「エ」スト
 ヲ調製シ來ルカ如キコト無キヲ以テ其繁ニ堪エズ加フルニ淡水ニ「ノ」ミ之ヲ勵行
 スルト雖モ厦門汕頭等ノ如キハ一朝之ヲ改ムル能ハザルモノアルヲ以テ其効著
 シカラズト云フ然レトモ此ノ如キ變則ノ制度ハ到底永ク持續スベキモノニ非サ
 レバ遂ニハ一般ニ正當船荷證書ヲ發行スルコトヲ改ムベキコトヲ要スベキナリ

第三節 事故荷物ノコト

淡水支店ハ從來未ダ事故荷物ノ報告ヲナサス其現況ヲ知ル能ハサリシカ先ツ其
 倉庫ニ就テ檢シタルニ過剩荷物ハ只二個アリシ「ノ」ミ其一ハ荷主ノ姓名明瞭ナル
 モ管テ引取ニ來ラズ其儘今日ニ至リ今ハ荷主ノ在否分明セズ多分當地方ニ在ラ
 サルモノト考ヘラル是等ハ事故荷物取扱規程ニヨリ本社ヘ送致スベキ旨ヲ申置
 クリ又不足荷物其他ノ損傷荷物ニ就テハ客年以來頗ル交渉ヲ重ネ支店ニ於テ本
 社ノ責ニ歸セキモノト認メ既ニ支拂セシモノ及請求中ノモノ約二十個アリテ未
 タ本社ニ提出セサリシカ今回引纏メテ稟議ノ手續ヲナシ來リタリ其外尙當時出
 荷店ト交渉中ニ係ルモノ二三件アリタリ

當航路各船ニ於ケル荷物ノ取扱方ヲ述ヘンニ荷物ニ對スル責任者及其組織ハ各
 船ニ於テ異ナリ舞鶴丸ハ小生等出張ノ當時ハ支那人船長カ兼ネテ荷物ノ「タ」リ
 「ト」受貨ヒ自カラ「タ」リ「マ」ン六人ヲ雇入レテ其授受ヲ掌ラシメ其責任ハ運轉
 士ト連帶シテ之ヲ負ヒタリシガ故ニ事故荷物ノ辨償ニ關シテモ其一半ハ船長ノ
 負擔トセリ然ルニ其後船長ハ荷物ノ「タ」リ「マ」ン辭シタルヲ以テ更ニ「コ」ソ「ア」ラ「ド」

ル」ヲ雇入レテ之ヲ掌ラシメタリ故ニ事故ノ生スルコトアレバ可成本船ニ於テ交
 涉ヲナシ之カ處分ヲ終ニシコトヲ努メ自然授受ニモ注意スルカ故ニ過不足ヲ生
 スルコト極メテ甚ク濫荷ハ往々之アリト雖モ是又「コ」ソ「ア」ラ「ド」ノ自辨ヲ終ルノ
 制ナルヲ以テ本社ヨリ支出スル者ハ從來甚ダ僅少ナリ又過剩荷物ノ處分ハ如何
 ニナシツ、アリヤト云フニ偶々之アルトキハ可成本船内ニ留メ置キ不足ノ辨償
 ニ充當シタルモノ、如ク淡水支店ニ陸揚シタルモノ甚シト雖モ事故荷物取扱規
 程ハ此類ノ處置ヲ許サス然レモ「コ」ソ「ア」ラ「ド」ニ對シ不足荷物辨償ニ關シテハ其
 一半ヲ負ハシメナカラ過剩荷物ニ關シテハ其處分權ノ一半ヲ與フル能ハズトス
 ルハ當テ失スルヲ以テ店長ハ當支店ニ限リ例外法ヲ設ケ過剩荷物ハ不足荷物ニ
 充當スルヲ得セシメ「コ」ソ「ア」ラ「ド」ヲ希望シ居レリ斯クノ如ク當航路ノ事情他ト異ナル
 所少シトセズ又對岸各代理店ハ事故荷物取扱規程ヲ實行スベクモ「ア」ラ「ザ」レ「バ」南
 清諸航路及香福線長江航路ニ於テハ例外法ヲ用フルノ必要アリ何レ案ヲ具シテ
 便法ヲ設ケンコトヲ欲ス

淡水丸ニ於テハ荷物ノ責任ハ運轉士之ヲ負ヒ四人ノ「タ」リ「マ」ンヲ雇入レテ之
 ニ從事スルコト臺灣線ニ異ナラズサレトモ清國沿岸線ハ内地航路トハ其趣ヲ異
 ニスルヲ以テ暫ク此兩者ヲ並ヒ行ヒ其長短ヲ試驗中ナリト云ヘリ今回明石丸カ
 香福線ヲ航行スルニ際シテモ舞鶴丸ト全様ニ「コ」ソ「ア」ラ「ド」ヲシテ荷物ノ「タ」リ
 「ト」負擔セシメタリ

右ノ如ク各船其責任者ヲ異ニスルヲ以テ支店ニ於テモ規程ニヨリテ一定ノ扱ヒ

チナス能ハズ各船ニ於テモ素ヨリ規程ヲ實行スルコト難キモノアリ故ニ淡水支
店ニハ事故荷物帳ノ設ケナク各船ニモ之ヲ備ヘタルモノナシト雖モ例外法制
定ノ曉ニハ淡香安香等ノ各線ニ於テハ其取扱ヲ全一ニシテ取締ヲ嚴ニスルコト
ヲ要ス只困難ナルハ對岸ニ於ケル外人代理店ノ習慣ニ之ヲ實行スルヲ得ルヤ否
ヤニアリトス

第二章 乘客及各船ニ對スル事務及取締

第一節 乘客ニ對スル取締

前述ノ如ク南清各船ニ於テハ他航路ト其趣ヲ異ニシ其事務モ整理ヲ欠ケル中ニ
モ最モ取締ナキハ乗船切符ノ制ナリ他線ニ於テハ凡テ各店ニ殘ル分ト乗船券ト
上陸券ト三枚續キナレトモ本航路ニ使用スルモノハ二枚續キニシテ上陸券ナシ
サレバ乗船ノ際各船ニ於テ切符ヲ徵取スルトキハ下船ノ際ハ一モ切符ノ調ヘナ
キヲ以テ其取締ナキヲ憂ヘ船ニ於テハ姑息ニ區々ノ上陸券ヲ作り乗船ノ際切符
引換ニ之ヲ渡スノ制ヲ採ルノ不都合ヲ演シ居レリサレトモ乘客ノ大部分ハ支那
人ノミナルト各船ニ於テ其制ノ區々ニナリ居ルトナリ以テ多クハ其用ヲ解セスシ
テ紛失スルモノアリ或ハ放棄スルモノアリ此ノ如キヲ以テ店員カ上陸券ヲ徵集
スルカ如キコトハ思ヒモ寄ラズ其取締ノ慢ナル甚タシ凡テ臺灣線切符ハ本社ヨ
リ番號ヲ逐フテ送致スルノ規定ナレトモ北清線ヲ除クノ外未ダ外航線ニ用フル
切符ノ設アラザルガ故ニ淡水ニテ便宜調製シタル結果ナラン故ニ速カニ漢英ノ

二体ヲ以テ記シタル三枚續切符ヲ調製シ其取締ヲ嚴ニスルヲ必要トス
切符ノ設ケ既ニ前述ノ如クナルヲ以テ乗船ノ際混雜ニ乘シテ密カニ乗込メバ一
モ其無賃如何ヲ知ルコト能ハズ爲メニ數多ノ密乗者ヲ生スルコトアリ且又本船
ニ於テモ各店ガ取締ノ道ナキヲ奇貨トシ隱藏チナスモノ夥シト開ク故ニ直取運
賃モ從フテ多シ船員自カラノ言フ處ニモルモ每航海四五拾圓ヨリ百貳拾圓ニ
至ルヲ普通トスト云フ然ルニ船中ニハ又直取切符ノ規定ナク只現金ヲ徵取スル
ノミナルコト恰モ舛船賃ノ如クナルヲ以テ是亦一モ取締ナシ至急其制ヲ設ケン
コトヲ要ス

第二節 各船乗組員ノ事

乗組員ニ就テ云フベキ所ハ船長及「コンプラドル」ノコトナリ淡香線ノ乘客ハ殆
ト支那人ノミナルヲ以テ船長ノ如キハ必ス支那人ヲ雇入ル、ノ必要アリ舞鶴丸
ニハ船長トシテ毎月百圓ヲ給シ船長ハ之ヲ以テ料理人及ボーイ三人ヲ自己ノ資
任ノ下ニ雇入レ船部一切ノコトヲ掌リ且「コンプラドル」ヲ雇入レテ荷物ノタ
リヲ受負ハシメ毎月百貳拾五圓ヲ支給シ之ヲ以テ自カラ荷物方六人ヲ雇入レ荷
物ノ授受ヲ司リ荷物ノ不足損害及過剩ニ就テハ本社ト拆半シテ其責ヲ負フノ内
約トス

淡水丸ノ船ニ就テハ舞鶴丸ノ如ク支那人ヲ雇入レ全ク百圓ヲ給スト雖モ荷物ニ
就テハ「コンプラドル」ヲ雇入レズシテ全ク巡轉士ノ職務トナシ支店ハ糞キニ新紙
ニ廣告シテ日本人ノタリマン四人ヲ募集シタリシニ應募者十數人アリテ願

ル好結果ヲ收メ毎月拾五圓宛ヲ與ニ運轉士ノ下ニ荷物ノターリリニ從事セシメ
暫ク兩船ノ結果ヲ比較シ居レリ前述ノ如シ
明石丸ハ小生等ノ出張中福香線ニ向ケ抜錨セシカ當時ハ船長ヲシテ船及荷物ノ
ターリリヲ引受ケシメ船長トシテハ百六拾圓ヲ給シ荷物ノターリリニ向テ百貳
拾五圓ヲ與フルコトニナシタリ全船長ハ支那人ニシテ日本語及英語ニ通シ正直
ニシテ嘗テ此業ニ經驗モアリ全船カ沿岸線ヨリ香福線ニ變更セラレタルニ就キ
從來社船ニ用ヒシ船長ハ多ク淡水支店ニ於テ点檢ノ上全船長ニシテ買取ラシ
メタリシカ油頭ニ至リシトキ船長ハ船品仕入レノ爲メ上陸シ出帆ニ後レタリト
ノ理由ヲ以テ船長ハ獨斷直チニ之ガ下船ヲ命シ更ニ自カラ新船長ヲ雇入レタリ
爲メニ現船品ハ多數ノ損失ニ歸シ自カラ苦心シテ好船長ヲ得タルモ水泡ニ歸シ
タリトテ淡水支店長ハ頗アル其專横ノ處置ヲ憤レルモノ、如シ茲ヲ以テ更ニ現
舞鶴丸ノ如ク別ニ「コンプラドル」ヲ雇入レ船長ト荷物受授トノ責任者ヲ區別セリト
云フ

總テ南清航路ニ於テハ乘客ハ多ク支那人ニシテ油頭ノ代理店ハ共ニ英人ナルヲ
以テ船員ハ一般ニ支那語ノ必要アルト全時ニ亦英語ヲモ解セザルベカラズ然ル
ニ全地方及南清沿岸ニ於テハ土人及支那人ニシテ英語ヲ解スルモノ頗ル多シサ
レバ現時海員拂底ノ折柄當航路各船水火夫ニハ是等ノ土人或ハ支那人ヲ使用ス
ルコト、セハ一々任免ニ際シ本社ノ手ヲ煩ハシ遣ク送り戻ス等ノ不便ヲ避ケル
ヲ得且其給料モ内地人ヨリハ高キヲ要セズ從フテ是等ヲ支配スル運轉士機關士

第三節 船ノ事

其他ノ上級船員モ以來可成英語ニ精通スルモノヲ選ハハ五ニ英語ヲ以テ其用ヲ
辨スルコトヲ得ベシ將來ハ可成此方針ヲ取ラレシコトヲ良策トス

從來淡香線各船ニ於ケル一食船費ハ左ノ如シ

一等	貳拾五錢	一等士官	貳拾五錢
二等	拾七錢	二等士官	拾七錢
三等	八錢	下級船員	八錢
支那人	參錢七厘	支那人	五錢
下級船員		下級船員	

又各船來客船費ハ左ノ如シ

洋食 壹圓 和食 參拾錢

右ノ如クナリト雖モ一等及二等ハ低價ニ過キ困難堪カラズ爲メニ船長ハ屢々損
失ヲ來シ永續スルモノナシ其都度從テ船僕モ必ス一變スルカ故ニ自然ニ乘客ノ
取扱行届カザルノ弊アリ加フルニ北清事件ノ發生以來船品仕入地タル香港及汕
頭ニ於テ物價ノ騰貴ヲ促カシ止ムヲ得ス皿數ヲ減スルナド本船ヨリモ屢々其困
難ヲ訴ヘ出テタルモノアルニヨリ本年十月ヨリハ從來ノ船費ヲ改メテ一等食貳拾
五錢ヲ參拾錢トシ二等食拾七錢ヲ貳拾錢トナシタリ是實ニ止ムヲ得サル處ナラン
翻テ「ドグラス」會社ノ船ヲ開クニ一等船客ニ對シテ會社ハ每食一弗宛ヲ船長ニ渡
シ船長ハ更ニ朝食貳拾五錢晝食及夕食各五拾錢宛ヲ以テ船長ニ引受ケシメ其殘

額即チ一弗七拾五仙ハ船長ノ收得トナシ其内ニテ乘客ニ對シ酒類及煙草ヲ供スルノ例ナリ然レトモ三等船客ニハ運賃ノ内テ以テ食事ヲ供セズ各自携帯シテ乘船セシメ然ラザルモノハ實費ヲ徵集シテ食ヲ供ス故ニ全シク三等運賃ト云フモ彼我ノ間ニ頗ル差異アルコトヲ知ルベシ

又船員ニ在リテハ船長一等運轉士機關長ノ三人ニ對シテハ一ヶ月銀壹百弗二等士官ニハ一ヶ月一人ニ付銀貳拾五弗ノ割ヲ以テ船長之ヲ受賃フ

彼我ノ間ニ賄費ニ就テ右ノ如ク大差アルヲ以テ其狀立ニ至リテモ非常ノ庭徑アルヲハ論テ俟タズ其食器ノ如キモ到底我社ノ企テ及ブ處ニアラズ且室内裝飾ノ如キモ非常ノ費澤ヲ極メ其拭磨ノ周到ナル等吾ノ及ハザル所遠シト聞ク今回吾社ノ賄費直上ケモ對抗上質ニ止テ得サルナルベシ

淡水及對岸各港ニ於テ各船來客賄多シ故ニ之ヲ取調ヘタルニ全ク各地稅關官吏ノ意地穢クシテ船中ノ接待ヲ目的トシテ臨船スルニ起因セリ淡水及對岸各港ニ於テ「ドグラス」會社ハ稅關官吏ニ勸ムルコト多キノミナラズ船長ハ稅關長ト互ニ親交アルヲ以テ其部下ノ官吏モ船長ニ一步ヲ讓リテ荷物ノ検査モ自カラ船艙口ニ望ミホーイ椅子ニ憑リテ塵烟ノ中ニテ執務スルモ社船ニ來リテハ之ニ反シ船長以下ハ殆ソド眼中ニ置カスシテ暴慢不遜ノ取扱ヲナセリ又我社船ト彼ノ船ト全時ニ入り來ルトキハ必ス彼ヲ先ニシ吾ヲ後ニスルヲ常トスルガ如ク吾社ハ前記ノ接待ヲ勤ムルニモ拘ハラズ尙彼等ヲ甘ンゼシムルニ足ラズ故ニ全航路ニ於テハ船長其人ヲ撰ミ代理店主ト共ニ彼等稅關長ト親交セシムルニ至ラハ從テ其

部下ノ專横ハ自然ニ妨遏スルヲ得ベシ

南清航路ニハ各船氷ノ消費高頗ル多ク糞キニ賄費ノ内ニテ支辨スベキコトヲ交渉シタリシガ當航路ハ緯度ノ低キト多量ノ肉類ヲ使用スルトヲ以テ其保存ノ爲メニハ從フテ獨リ夏季ノミナラズ冬期ニ於テモ多量ノ氷ヲ要シ盛夏ノ候ナド乘客ノ食用トスルモノモ甚カラス然ルニ受負賄額ハ前記ノ如ク低廉ナルヨリ頗ル困難ヲ感シ居ル際到底賄費ノ内ニテ支辨スルコト能ハズ若シ強ヒテ之ヲ行ハシメソカ現今ノ支給額ニテ船長トナルモノハアラザルベシ故ニ此儘支給スルコトハセリ

第三章 (畧之)

第四章 雜件

第一節 店長ノ希望

一今回淡香線使用ノ輪船ヲ新造セラレ、ニ就テハ三等ノ別室ヲ設ケラレタリ之レ支那人ノ商人ガ對岸ニ往來スルモノハ多クノ金錢及貴重品ヲ携エテ乘船スルヲ常トスサレバ對岸各會社船ニ於テハ三等室ノ兩側ニ別室ヲ設ケ寢臺ハ鉄棒ヲ以テ釣シ不要ノトキハ之ヲ強ミテ側板ニ並附スル様ニシ其入口ニハ扉ヲ設ケテ鍵ヲ附ス而シテ其運賃ハ普通三等ノ五割増トス此ノ如キハ金錢ヲ常ニ携帯スル商人ニ取リテハ極メテ便利ナルヲ以テ社船ニ向テ之ヲ要求スルモノ甚カラス故ニ新造船ニモ右ノ通り五割増運賃ニテ此設ケアラソトト望ム

一新造船監督者ニハ回航ノ上將來本船々長トナルベキモノヲ擇ハレタシ前項及下項ノ設備ノ如キヲ一例トシテ本航路ニハ特別ノ裝置及設備ヲ要スルカ故ニ將來ノ船長トシテ其監督ニ重大ノ注意ヲ注クト全時ニ本航路ノ習慣等ヲ詳知スルモノヲ以テ監督者トスルハ極メテ適當トス

一新造船ニハ又チーニングノ下ニデブームヲ使用スルヲ得ル様ニ設計ヲ望ム淡水ハ年中降雨多キ地ナレバ荷物ノ積揚ニ際シテ雨濡ヲ來スコト多シ且全航路ノ荷物ハ左程大量ノ貨物ハ殆ントナク茶樟腦及雜貨等ノ箱物類ニ過キザレバチーニングヲ履ヒタル下ニテ更ニブームヲ設ケテ揚卸ヲナスノ便ヲ設ケラレシコトヲ望ム

一新造船ニハ又「ザイド」ニ「デビット」ヲ設ケラレタシ本航路ノ荷物ハウインチヲ使用スル程ノ荷物ニモアラズ又手積揚ヲナス能ハザルノ荷物多シ故ニ一方ニウインチヲ使用スル傍ラ「デビット」ヲ使用シテ直チニ舷門ニ引入レシムルハ極メテ便利ニシテ荷役時間ヲ減少スル所以ナリ

一大船程出張所ハ過般ノ洪水ノ爲メ戎克船ヲ打揚ケ石垣ハ盡ク崩壞シテ家屋破壊シタレバ取り取ヘズ隣家旅宿薩摩屋ノ一室ヲ借受ケテ營業セシガ是非トモ是ヲ改築セザルベカラズ然ルニ從來ノ通りニテハ狹隘ニシテ荷物ノ積置ニ苦ムノミナラズ從來ノ敷地ハ借地ナレバ此際隣地ヲモ全時ニ買受ケ洪水ノ突進ヲ防ク爲メ其前面ニ石ヲ疊ミ上ケテ激水ヲ保護スルニ供セントノ考案中ナリト云フ而シテ全出張所敷地ハ或ハ臺北淡水間ノ瀟車開通スルニ至ラバ停車場

ノ位置ニヨリテ運送ノ便否ニ關係セザルヤ否ヤト云フニ店長ノ意見ニヨレバ停車場ハ艇舸ノ裏ノ河岸ニ設ケルコト、ナル由ナレバ例令停車場ト出張所トノ距離ハ遙カニ隔タルモ大船埠ハ臺北商人ノ集合地ニシテ自然輸出ノ入荷ハ多ク茲ニ集ルベク且從來ノ地位戎克船積ニテ淡水河ヲ下ルニ最モ適當ノ地ナレバ矢張り從來ノ地ヲ擇フテ最良トスト云ヘリ

第二節 結論

以上述アル所ヲ要言スルニ淡水支店ニ於テ荷物ノ取扱及事故荷物ノ處置他店ト全シカラザルハ淡香線ニ於ケル各船責任者ノ制度ノ異ナルガ故ナリ從テ清國諸航路ニハ荷物ニ關スル規程ノ例外法ヲ設ケルノ必要アリ

一 對岸各代理店ノ習慣内地ト異ナリ殊ニ外國人多キヲ以テ會計事務ノ如キ本社ノ制定セル所ニ從フ能ハザルモノアリ故ニ樞要ノ港ヲ擇ヒテ計理課出張所ヲ設ケルコト必要ナルベシ

一 對岸各代理店カ業務ニ冷淡ニシテ豪慢疎漏ナルコトハ安平ニ於テモ全様ノ評判アリシカ是素ヨリ一方ヲ開キテ他方ヲ開カザルノ誹ヲ免レズト雖業務ノ進捗ヲ計ルニハ香港ニ支店ヲ置キ事務上ノ爭ヲ避ケシムルヲ急トス

一 淡水支店長ヲ以テ安平支店長ニ比スレバ双方共ニ業務ニ熱心ナルトモ前者ハ諸方面ニ向テ圓滿ノ主義ヲ執ルカ故ニ易ク船員ノ要求ヲ容レ店員ノ企望ヲ滿タスノ風アリ然ルニ安平支店長ハ船員ヲ抑制シ業務ニ嚴ナルノ風アリ從テ淡水支店長ハ諸種ノ要求多シト雖社界上ノ地位ハ極メテ平和ナリ

一 淡香線ハ開始後日尙淺キカ故ナリト雖モ諸種ノ事務ニ於テ大ニ注意ヲ要スベキ事アリ又店長ニ對岸事情ヲ知悉スルノ便ヲ與ヘ業務ノ刷新方法ヲ編セラレ
ノコトヲ望ム

第四編 澎湖島

第一章 荷物ニ關スルコト

第一節 事故荷物並ニ荷物取扱ノコト

當港ハ荷物ノ出入甚タ僅ニシテ本年六月ヨリ十月ニ至ル五ヶ月間ニ於ケル個數及其運賃ハ左ノ如シ

- 一 輸入荷物個數 二萬六千二百三十六個
- 一 輸出荷物個數 三百二十一個
- 一 運賃 壹萬貳千七百九拾參圓七拾六錢九厘
- 一 運賃 百六拾圓四拾八錢四厘

右ノ如ク荷物ノ少キニ加ヘテ風波ノ憂ナク船ヲ要スルコト僅カニ二丁餘ニ過キザルヲ以テ荷役ノ困難ナク船中ノ損害モ殆ソトナシ只稍困難ナルハ西廻リ船及打狗線各船ノ入港稍モスレバ風波ノ爲メニ後ル、コトアルニ際シ荷役ハ常ニ夜ニ入ルトキ仲仕ハ土人ナルヲ以テ夜業ニ應セザルニ在ルノミ而シテ當支店ニ於テ荷物ノ出入至リテ少ク爲メニ不足荷物ニ就テ辨償シタルコト未ダ之レ無ク時々不着スルコトアルモ後便或ハ次航海ニ到着スルヲ例トス倉庫ヲ檢シテ過剩荷物ヲ調ヘタルモ僅カニ二個アリシノミ全港ハ前記ノ如ク良港ナルヲ以テ各船ガ揚殘シテ生スル等ノコトハ殆ソト之レ無ク從フテ安平ニ於テ最も憂フル如ク揚殘品ヲ明細書ナクシテ基隆ニ陸揚スル如キコトナキハ不着荷物ノ少キ大原

破損漏脱等ノ損害ハ屢々有之ト雖モ全島ハ人口少ク需用從テ狹キヲ以テ總テノ需用品ハ一時ニ多數ヲ積送ラバ各商家ノ貯ヘ盡クル頃ニ至リテ送荷スルナ例トスルカ故ニ各荷主ハ其着荷ヲ待チテ漸ク一般ノ需用ニ應スルノ狀ニ在リ而シテ全港ハ年中雨ヲ見ルコト極メテ少ナキ所ナルガ故ニ各船ノ揚荷ハ盡ク第三棧橋上ニ陸揚ヲナシ各荷主別ニ之ヲ排列シ荷主モ自カラ來リテ茲ニ荷受ヲ爲ス習慣ニシテ若シ破損漏脱等ノ損害ニ就キテ其引取ヲ拒ムトキハ棧橋上ニ放置シタル儘交渉セザルヲ得ズ然ルニ荷主ニ於テ之ヲ積戻サル、カ或ハ引取ヲ拒ムトキハ忽チ島内在荷ノ空乏ヲ訴フルヲ以テ大抵ノ損害ハ之ヲ云々スルコトアルモ尙利害上終ニ黙シテ引取ルノ狀ナリ小生等ノ在店中ニモ全島ニ於ケル酒ハ殆ソト盡キソトシタルニ際シ須磨丸ノ揚荷中一艇ノ酒ヲ見サリシカバ全島人ハ二三日後ヨリハ全ク酒ヲ求ムルコト能ハザルニ至ルベシトテ荷主ハ大ニ憂慮シタリキ斯ノ如キ有様ナルガ故ニ荷主ハ損害賠償ヲ云々シテ引取ヲ遅延スルヨリモ早ク賣出サンコトヲ希フコト切ナリ現ニ須磨丸ノ揚荷中漬物樽一挺醬油樽一挺ノ鏡落アリ箱物ノ破損アリ醬油ノ如キ半量ヲ減シタルトモ支店員ハ辨償シ難キ旨ヲ言張り荷主モ強求セスシテ引取リタリ小額ノ取引ヲ以テ營業ヲナス彼等ニ取リテハ實ニ氣ノ毒ノ至リナレトモ土地ノ狀况ニヨリ安平ト豪島トノ難易蓋シ斯クノ如シ當支店ニ於テ從來損害荷物ノ辨償殆ソト之レナキハ之レカ爲メナリ事故荷物ニ就テハ大畧斯クノ如シト雖モ支店ニハ事故荷物規程ノ諸帳簿ハ盡ク

之ヲ備ヘ一々其交渉ノ顛末ヲ詳記シ居レリ之レヲ彼ノ最モ全規程ノ勵行ヲ要スベキ支店カ却テ等閑ニ附シ居ルニ比シテハ遙カニ整理セリト言フベシ前ニ各船カ澎湖島入港ノ後レ勝ナルコトヲ述ヘシカ西廻リ沿岸線及打狗線各船カ基隆ヲ發スルハ午後四時ナルヲ以テ二十時間ヲ費ストセバ翌日正午ニ着港スヘキ筈ナレトモ全航路間ハ常ニ風波高クシテ沿岸各港間中最モ困難ナルヲ以テ多クハ定時刻ニ着セスシテ午後四時又ハ五時ニ至ルヲ例トス故ニ揚荷少シク多キトキハ到底日ノ内ニ之ヲ終ラズシテ夜荷役ヲナサ、ルベカラズ然ルニ全島土人ノ習トシテ貨銀ノ如何ニ關セス一般ニ夜荷役ニ應セサルヲ以テ斯カ、ル場合ニハ困難少カラズ故ニ基隆發船四時ヲ改正シテ一時頃トナサハ極メテ都合宜シカラント信ス各船ノ基隆碇泊ハ三日間ナルガ故ニ三四時間之ヲ短縮スルコトハ基隆ニ取リテハ一モ痛痒ナカルベシ

第二節 倉庫ノコト

現在當支店ノ倉庫ハ僅ニ四坪計リノ土人ノ家ヲ毎月參拾圓ニテ借受ケ之ニ充テ居レリサレトモ屋漏リ壁破レ更ニ倉庫ノ休裁ヲ具ヘズ然レトモ總テノ揚荷ハ前記ノ如ク第三棧橋ノ上ニテ引渡ノ習慣ナルヲ以テ毫モ狹隘ヲ感セス只荷受ニ際シ之ヲ藏入スルコトアルトキ其設備不完全ヲ訴フルコトアルノミ然ルニ今回全島ニ一大集積倉庫ヲ設ケテ沿岸各港ノ鹽ヲ集積シ置キ何時ニテモ之ヲ輸送スルニ便ナラシメントノ議アリ其地所ハ未タ確定セザレトモ竣工ノ上ハ獨リ鹽ノ集積ノミナラズ沿岸各港ニ於テ揚荷ノ出來ザルトキ及揚殘リ等アリ

タルトキ常ニ基隆ニ集積シテ又ハ内地ニ積戻ル等ノ混雜ヲ來スノ煩ヲ避ケ此地ニ集積セバ如何ナル風浪暴キ日ト雖モ積揚ヲナスニ不便ナルコトナク遠ク積戻スノ不利益ヲ救フヲ得ルノミナラズ個數ノ間違及損害ヲモ遙カニ減少スルヲ得ベキコト、信ス

當支店ニ於テハ倉入荷物ニ就テ別ニ倉敷料ヲ徵收セズ荷主ガ掛物トシテ全港ノ商船組ニ支拂フ額ノ一割ヲ倉庫費トシテ支店ノ收入トナシ居レリ茲ハ頗ル奇ニシテ且利益アル倉敷料ト云フベシ

第三節 船業及仲仕ノコト

澎湖島ニ於テ會社所有ノ幹船ハ現在一隻モナシ支店ハ常ニ其必要ヲ感シ漸ク五百圓ニテ一隻ヲ調フルノ認可ヲ得タリト云フ

當港ノ揚積荷ハ一切之ヲ商船組ニ受負ハシメ商船組ハ自己ノ幹船六隻ヲ以テ本船ヨリ波止塙迄及倉庫或ハ波止塙ヨリ本船ノ運搬及荷役ヲナシ頗ル贏利ヲ收メツ、アリ其收支概算左ノ如シ

本年六月ヨリ十月ニ至ル五ヶ月間毎月平均輸入荷物個數五千二百四十七個ヲ以テ標準トナス

收入ノ部

一金五百貳拾四圓七拾錢

輸入荷物掛物

但シ三才以下ノ者ハ每個八錢三才以上每個拾貳錢ナレトモ之ヲ平均拾錢ト見做シテ立算ス

支出ノ部

一金五拾圓

幹船六隻一ヶ月ノ修繕費

一金五拾圓

士人仲仕ニ對スル内地人監督者三名給料

一金百〇四圓九拾四錢

士人仲仕ニ支拂フ仲仕賃

但シ每個貳錢ツ

雜費

一金五拾圓

合計金貳百五拾四圓九拾四錢

差引純益金貳百六拾九圓七拾六錢

商船組ハ此ノ如ク僅カノ荷物ニ對シテ暴利ヲ收メツ、アリ尙此外ニ僅少ナカラ臨時陸揚荷物及輸出品ノ積荷ニ對シテ頗ル善キ收入アリ

當港ノ如キ平穩トシテ船ト陸トノ距離甚タ近キ處ニ在リテハ商船組カ掛物トシテ前記ノ如ク三才以下ノ荷物ニ對シテハ八錢三才以上ニ對シテハ拾貳錢ヲ徵取スルハ頗ル苛酷ト云ハザルベカラズサレバ荷主ハ屢々其低減ヲ要求スト雖之ニ

應セサルナ以テ彼等ハ商船會社自カラ商船組ノ業ヲ執リ以テ其低減ヲ希フコト切ナリ此時ニ際シテ進ンテ荷主ノ希望ヲ容レ船業及仲仕ヲ支店ノ業務トナスコトハ頗ル利益ナルノミナラズ荷主ノ満足ヲ與フルコトナラン

由來澎湖島ハ荷物ノ出入甚タ少ナク僅カニ毎月貳千六百圓ノ運賃ヲ上クル爲メニ書記二名雇員二名ヲ置クカ故ニ平日ハ業務閑散ニシテ店員ハ全島土人ト共ニ

桃園ノ夢ヲ貪リツ、アリサレバ此等ノ新事業ヲ背負ヒテ其閑ヲ塞カバ店員モ喜

ソテ之ニ熱心スルナルベシ況ンヤ集積倉庫設立ノ曉ニ及ビ尙現今ノ如ク商船組
 ニ一任シテ荷主ノ不利ヲ顧ミサルガ如キハ自他ノ不利益ヲ招ク所以ナレバ今日
 ヨリ進ンテ之ヲ實行スルハ良策ナラソカ
 今試ミニ從來商船組カ收入シツ、アル掛物毎個平均拾錢ヲ七錢ニ低減シ其他ハ
 一切商船組ト同一方法ヲ執ルトスルモ尙收支ノ上ニ於テ左ノ利益アルヲ見ルベ
 シ

收入ノ部

一金參百六拾七圓貳拾九錢

荷主ヨリ徵收スル掛物

支出ノ部

一金五拾圓

船修繕費

一金百〇四圓九拾四錢

仲仕監督者三名ノ給料

一金五拾圓

土人仲仕賃

合計金貳百五拾四圓九拾四錢

雜費

差引純益金百拾貳圓貳拾五錢

以上ハ輸入荷物ノミニ就テ立算セシ處ニシテ尙此他ニ各船ガ臨時他港ノ荷物ヲ
 陸揚スルモノ及僅少ナカラ輸出荷物等ノ積荷ニ就テ利益ノ遺アルコトヲ忘ルベ
 カラズ
 現今商船組カ使用シツ、アル船六隻ナレトモ其最大ナルモノハニセメソト六

十樽ヲ入ル、ニ足リ他ハ二十樽位ヲ入ル、ニ過キズ
 現今澎湖島ニハ會社ノ船ナキヲ以テ船客ハ皆土人ノ船版ヲ傭フテ上下ス其船
 賃ハ辨務署之ヲ定メ埠頭ニ標示シ本船ノ碇泊場所及天候ノ如何ニヨリテ五錢乃
 至貳拾錢迄トス

第二章 雜部

一本島ハ沿岸各港中物價最モ低廉ナルヲ以テ各船ノ贈品直買ヲナスコト最モ多シ
 現今直買先商人ハ土人一名及内地人一名アリテ各船交代ニ双方ヨリ調達セシム
 ト雖モ未タ一定ノ代價ニヨルニ非ス日々ノ直段ニヨリテ納入スルヲ以テ今回兩
 商人ヨリ一ケ年間ノ見積代價表ヲ作りテ略其價格ヲ一定セソトヲ謀リタルニ
 土人ノ提出セシ處ハ一般ニ低廉ニシテ正確ナルカ如シ

一本島ハ物價頗ル低廉ナルカ故ニ代理店時代ニ在リテハ贈品直買ニ就テ代理店五
 分贈長五分商人一割ノ割ヲ分チタリシカ現時ハ支店ノ取締嚴ナルヲ以テ絶エテ
 此事ナシサレトモ贈長ハ正當ノ直買品以外ニ多クノ仕入ヲナシ之ヲ安平又ハ甚
 隆ニ持チ行キ全地ノ直買先商人ニ賣込ニ更ニ支店ノ手ヲ經テ之ヲ買入レ密カニ
 利ヲ貪ルノ弊アリト聞ク各船事務長ニ於テ宜シク取締ヲ嚴ニスベキ處ナリ
 一本島ハ前記ノ如ク各船ニ直買品ヲ供給セソト多キニ反シ荷物ノ運賃僅少ナル
 ヲ以テ其徵收セル現金ハ盡ク之ヲ贈品ノ直買代價トシテ支拂ヒ常ニ現金ノ不足
 ナ感シツ、アリト云フ

一各船ノ投錨塲所一定セズ故ニ棧橋ヨリ二三丁ノ距離ニ碇泊スルヲ通例トスレト
モ或ハ七八丁ヲ距テ、投錨スル船長アリ風波ノ頗ル烈シキ日ニ至リテハ其設備
ニ乏シキ爲メ荷容取扱上大ニ不便ヲ來スアリ目下釜山丸、宮島丸ハ最近距離ニ
投錨スルヲ以テ企地ノ評頗ル善シ

第五篇 打狗

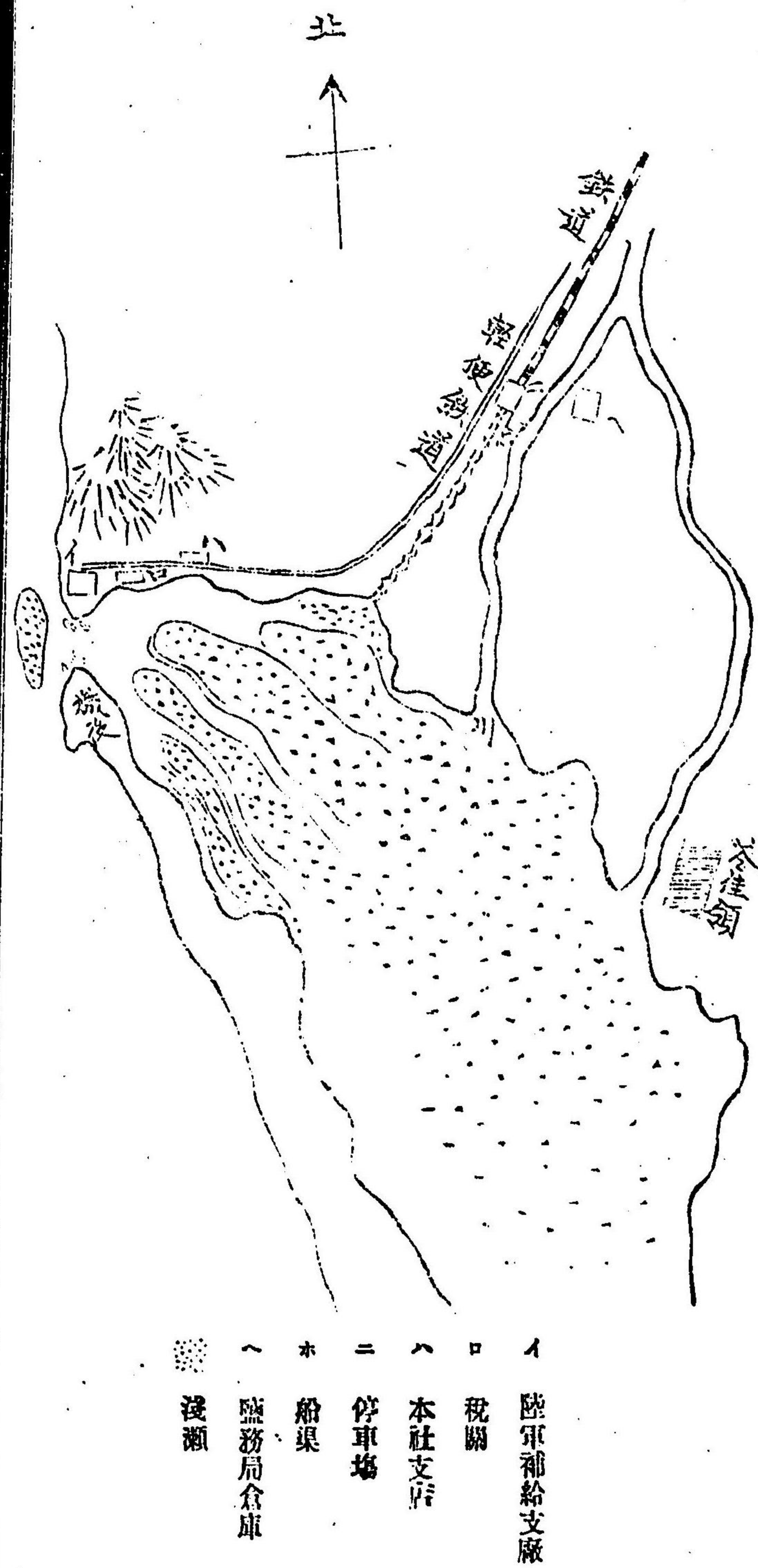
第一章 打狗港ノ現在及ヒ未來ノ地位

第一節 現今ノ地位

一般ニ打狗トハ機後、鹽埕庄、荅往領及ヒ現在支店所在ノ打鼓ヲ總括シタル名稱ニ
シテ其最モ港口ニ近ク海運業ノ衝ニ當ルヘキ地ハ打鼓及ヒ機後ノ兩地ニシテ共
ニ灣ヲ距テ、東西ニ對シ鹽埕庄ハ臺南鐵道ノ停車場ヲ設置シタル地ニシテ陸運
業ノ衝ニ當レリ

打狗港ハ安平港ト異ナリ港外ノ淺瀬ナク各船ハ港口ヨリ五六町ノ處ニ碇泊スル
ヲ以テ舢舨ノ難易遙カニ徑庭アリト雖安平ニ於テ最モ憂フル西南風ハ打狗ニ於
テモ其難ヲ蒙ルヲ以テ荷役ノ困難ハ安平ト大差アルコトナク港口ニ入ル迄ハ
波浪頗ル荒クシテ間々此間ニ遭難ノ憂ヘナキニ非ス現ニ小生等ノ出張ノ際モ乘
客三名三人漕ノ舢舨ニテ須广丸ニ乗船セントシ港口ニ於テ激浪ノ爲メニ轉覆サ
レ終ニ其死屍ヲモ發見スルコト能ハサリキ港口ハ甚タ狭クシテ其幅僅カニ三四
十間ニ過キス其兩岸ニハ岩石水面水下ニ突起スルモノ多ク舢舨ノ通行シ得ヘキ
ハ僅ノ距離ナルヲ以テ風強キ日ニアリテハ頗ル危險ナリトス然レトモ港口ノ狹
隘ナルカ故ニ一旦港内ニ入レハ如何ナル暴風ノ時ト雖少シモ舢舨ニ對シテハ危
險ナク極メテ平穩ナリ港内ハ一般ニ淺クシテ且洲多ク南方遠ク四里ニ灣入ス打
鼓ノ灣岸ニシテ港口ニ近キ税關附近最モ深ク六七呎ヨリ一〇呎ニ至ルト云フ而

シテ灣内ニハ北ヨリ來ル一支流アリテ河身深サ三四呎小舩ヲ通スルヲ得之レテ
 迦ルコト一運弱ニシテ左岸ニ鹽埕庄アリ鹽務局ノ鹽倉ハ此處ニ設ケラレ食鹽ノ
 積出ハ此川岸ニ於テ之ヲ爲ス然レトモ此邊ハ一般ニ水淺ク小舩ノ外通セサルヲ
 以テ少シニテモ風波ノ日ハ此ノ邊ヲ通航シ得ラルヘキ舩ハ港外ニ出ツル能ハ
 ス故ニ食鹽ノ積込ニハ灣内ニ於テ更ニ之ヲ大ナル舩ニ積換ヘ本船ニ至ラサル



ヘカラス

打狗ヨリ二里二十四町ニシテ鳳山アリ此間ノ荷物運送ハ補給廠ノ輕便鐵道ヲ借
 受ケ若クハ荅佳領ヘ小舩ニテ送り更ニ車力ヲ使用セリ

打狗ノ港況大畧斯ノ如キヲ以テ到底大船ヲ港内ニ入ルハコト能ハス於是當路者
 ハ築港ノ議ヲ起シ其設計ヲ討論シツ、アリ然レトモ未タ其計畫熟セサルヲ以テ
 如何ナル設計ヲ施スヘキヤハ豫知スル能ハスト雖モ愈竣工シタル曉ニハ大ニ打
 狗ノ面目ヲ改ムモノアラン又臺南打狗間鐵道ハ既ニ其工事ヲ終ヘ不日開通スル
 ヲシナレハ陸送便モ打狗ノ入出荷ニ對シテ頗ル影響ヲ與フルナルヘシ以下築港
 及鐵道ノ敷設ニ關シ其見聞セル所ヲ述ヘテ高考ニ供ヘントス

第二節 鐵道

前記ノ如ク臺南ヨリ鳳山ヲ經テ打狗ニ至ル鐵道ハ漸ク竣工ヲ告ケ來ル十一月二
 十八日ヨリ開通スルコト、ナリ打狗ハ之レカ爲メ非常ニ陸送ノ便ヲ得タルコト
 ハ疑ナ容レズ從テ舊來補給廠ノ輕便鐵道ヲ借リ若クハ車力ニヨリテ送致セシ荷
 物ハ之レニヨリテ便ヲ得ラルヘク又臺南ノ荷主中ニモ安平ニ荷物ヲ揚ケスシテ
 打狗ヨリスルモノ漸ク増加スルニ至ルヘシ特ニ補給廠ニ於テハ從來安平揚ニテ
 臺南ニ送リシ御用物ハ十二月ヨリハ悉ク打狗揚トナシ鐵道ニテ送込ムコトニ決
 定セリト云フ

現時安平港ニ於テ本船ヨリ陸揚シタル荷物ヲ安平倉庫ヨリ臺南ニ輸送スルニハ
 平均每個拾壹錢ノ費用ヲ要シ且破損汚濡等ノ禍多キヲ以テ一般ニ安平港ニ依ル

ナ朕フカ故ニ鐵道落成ノ上ハ總督府ニ交渉シ打狗ヨリ臺南迄ノ運賃ヲ是レト殆
 ヲト同額迄ニ低減セラル、コトヲ得ハ費用ハ高マラスシテ却テ荷物ノ損害ヲ減
 シ得ヘシ小生等出張中臺南荷主ノ團體專ラ其計畫中ナリキ
 現今ノ鐵道ハ前圖ノ如ク支店ヲ距ル殆ト一運半以上ノ處ニ打狗停車場ヲ設ケ
 アルヲ以テ本船ヨリ揚荷シタル艀船ハ更ニ之ヲ小艀ニ移シテ川ヲ遡ラサルヘカ
 ラス又停車場ノ傍ニハ一小船渠ヲ開鑿シツ、アリ之レニ荷艀船ヲ入レ直ニ鐵道
 貨車ニ横附ニシテ積移スノ便ヲ設備セリ然ルニ遠カラス更ニ鐵道ヲ河邊ニ延長
 シテ打狗港ヨリ一運計ナル海岸ニ其終點ヲ置キ荷艀船ハ河ニ遡ルヲ要セスシテ直
 ニ茲ニ積移シ得ル様ニセントノ計畫アリテ既ニ決定シ居レリト云フハ尙ホ
 一層ノ便利ヲ與フルニ至ルヘシ

陸上ノ設備大略前記ノ如ク次節ニ於テ之ト關聯シテ築港ノ大略ヲ述フヘシ
 第三節 築港事業

築港ノ計畫ハ現今切リニ討議セラレツ、アリト雖モ未タ其設計サヘ定マラサル
 ナ以テ打狗港カ之カ爲メ如何ナル影響ヲ蒙ムルヘキヤ素ヨリ知ル能ハス然レト
 モ當路者ノ語ル處ヲ以テ考フルニ概ネ左ノ二計畫ニ出ツルカ如シ
 第一計畫 港内ヲ堀揚ケ四里餘ノ灣ヲ切斷シテ埋立テ鹽埕庄邊迄河身及ヒ灣内
 ナ浚渠シ戎克艀ヲ以テ直チニ港外ヨリ鹽務局ノ倉庫及ヒ現在ノ停車場ヘ航行ス
 ルヲ得セシムルニ在リ現時ハ前記ノ如ク港内ハ打狗稅關海岸ノ近邊最モ深シト
 雖モ他ハ無數ノ洲アリテ大艀ハ航行スルコト能ハス爲メニ再ヒ小艀ニ積移シテ

鹽埕庄或ハ停車場ニ至ラサルヘカラス此類ヲ除クハ則チ第一計畫ニシテ目下ノ
 急務ナルヘシ

第二計畫 浚渠及ヒ埋立ニ次テ必要ナルハ港口ノ狹隘及ヒ其危險ヲ除クニアリ
 港内ノ工事ハ如何ニ完全スト雖モ其便利ハ唯々艀船ニアルヲ以テ本船ハ依然ト
 シテ港外ニ碇泊セハ安平ト全樣ノ西南風ヲ受ケテ荷役ノ困難ハ更ニ大甚アルコ
 トナシ現在ノ港口ハ前記ノ如ク艀船ノ通航シ得ヘキ處ハ僅カノ距離ニ過キスシ
 テ其兩岸ニハ岩礁矗立シ且潮流急激ナルヲ以テ極メテ危險ナリトス曾テ本社船
 白川丸艀尾ヨリ進メテ辛フシテ通過シタルコトアリト雖モ其後ハ唯々安平、打
 狗、東港間ヲ航行スル小蒸瀛船ノ出入スルノミ

往昔打狗港口ハ現在ヨリモ遙カニ廣クシテ艀船ノ出入ニ對シ危險少カリシカ明
 治七年西郷都督臺灣社ヲ攻撃セルトキニ當リ時ノ帝國軍艦此港口ヨリ灣内
 ニ入りタルコトアリシヲ以テ清國政府ハ國防ノ爲メ深ク之ヲ憂ヘ直ニ兩岸ヲ堀
 崩シテ之ヲ狹メタル爲メ岩礁矗立シ大船ノ進入スルコト能ハサルニ至リタルナ
 リト土老ハ語レリサレトモ此岩礁ヲ取除キ港口ヲ擴張スルニハ左程ノ困難ナカ
 ルヘシト雖モ港外一丁斗ノ處ニ水深七尺ノ洲横ハルヲ以テ之レヲモ取除カス
 ハ自由ニ港内ニ入ルコト能ハス此洲ハ日清戰役ノ當時曾テ之ヲ測量シタルコト
 アリ近頃再ヒ之ヲ測量シタルモ更ニ増減シ居ラサルヲ以テ全ク潮流、風波ニ基因
 スルモノト見ル能ハザレハ取除クトスルモ再ヒ生スルカ如キコトハナカルヘシ
 然レトモ其下層ニ岩礁アルヤ否ヤハ未ダ知ル能ハズト云ヘリ而シテ愈々此大事

業ニシテ成效シタル曉ニハ現今ノ沿岸線各船ノ如キハ自由ニ港内ニ入り極メテ
安全ノ碇泊ヲナスヲ得ベシ當路者ノ意見ニヨルモ愈著手スルトセハ千六七百噸
ノ船舶ハ自由ニ通行スルヲ得ルニ至ラシト云フニアリ
然レトモ右ノ計畫ハ頗ル大工事ナレバ果シテ急速實行シ得ベキヤ否ヤハ當路者
ト雖モ大ニ危ム所ナリトス於是又更ニ方向ヲ變シテ港口ヨリ南ニ當ル舊砲臺ノ
下ハ外海ト港内トノ距離極メテ狭キヲ以テ此處ヲ開鑿シテ港口トナスノ利ヲ説
クモノアリテ目下物議中ナリト云フ故ニ打狗ノ築港ニ對シ確タル成案ヲ得ルコ
トハ尙ホ遠キ未來ノコトニ屬スベシ然レトモ打狗港ノ築港成就スルノ曉ニハ全
港ハ恐ラク沿岸第一ノ良港トナリ荷物ノ集散ニモ大ナル影響ヲ與フルモノナル
コトハ今ヨリ期シテ待ツベキ所ナリト信ズ

第二章 荷物輸出入ノ狀況

第一節 官鹽輸出ノ狀況

打狗港内南方四里ニ連ナル一帯ノ沿岸地ハ渺茫タル鹽田多クシテ其年々ノ産額
約三千萬斤ヲ下ラス總督府ハ鹽運庄河内ニ鹽庫ヲ設ケテ茲ニ集積スサレトモ其
河岸ヨリ海岸迄約三哩アリ之ヨリ各船碇泊場迄ハ殆ント一哩アルヲ以テ鹽務局
河岸ヨリ舁船ニ積ミテ本船ニ送ルニハ極メテ平穩ニアラサレハ更ニ灣内ニ於テ
大舁ニ積移サ、ルヘカラス且其鹽ハ袋入少ナクシテ殆ントバラ積ノミナレハ之
ヲ積出スニハ先ツ土人苦力ガ策ニ入レテ之ヲ背負ヒ來リ倉庫ノ前ニテ一々秤量

シ其ヨリ更ニ河岸迄ニ二丁計ノ間ヲ背負フテ小舟ニ移シ灣内ニ漕出シテ再ヒ戎
克船ニ移シ換フル際ニモ亦タ此ヲ以テ運ツカ故ニ本船積込迄ニ頗ル時間ヲ費シ
自然荷役ヲ遅延セシムルノミナラス其倉庫ヨリ本船ニ至ル迄ニ於テ多クノ減量
ヲ生スルコトハ現時ノ取扱上ニ於テ實ニ止ムヲ得サル所ナリ且上等鹽ハ多ク袋
入レトナシタレトモ其袋及荷造不良ナルヲ以テ破損シテ散失スルモノ甚々多ク
第一回ノ積取ニ際シ五十萬斤ノ積殘ヲ生シタルヲ以テ再ヒ鹽務局ノ倉庫ニ返戻
シタリシカ倉庫前ニ於テ更ニ之ヲ秤量シテ其減量ヲ試ミタルニ五萬斤即チ一割
ノ欠損ヲ生セリサレハ積入ノ際一割ヲ減損シ陸揚ノ際又一割ヲ減スルモノト見
レハ都合一回ノ積揚ニ對シ二割ノ欠損ヲ生スヘキナリ即チ第一回須磨丸カ打狗
ニ於テ上等鹽袋入二十万七千餘斤下等鹽十五万六千餘斤ヲ積入レ神戸陸揚ノ上
小栗回漕船ノ秤量スル所ニヨレハ上等鹽ハ十七万二千六百斤下等鹽ハ十四万六
千餘斤ニシテ上等袋入鹽ニ於テ三万四千五百斤下等鹽ニ於テ一万斤ノ欠損ヲ見
ルニ至レリ然ルニ上等鹽ノ欠損下等鹽ヨリモ遙ニ多キハ其袋ノ破損セルモノ約
二百個其内ヨリ散出シタルモノハ悉ク下等鹽ノ中ニ混入シタル所以ニシテ之ヲ
一万二千斤トスレハ下等鹽ノ實際欠損ハ二万二千斤ノ欠損即チ上等鹽ハ約一割
一分下等鹽ハ一割四分餘ノ減量アルヲ知ルヲ得タリ
積出ノ手續ハ上ニ述フル如クナルヲ以テ其手配頗ル時間ヲ要シ碇泊時間ヲ延長
セシムルノ憂アリ須磨丸第一回ノ積取ニ際シ鹽務局ノ取調フル處ニヨレハ現在
ハ一臺ノ秤量器ヲ以テ秤量スルカ故ニ半日間ニ五十万斤宛チ積出スヲ得タレト

モ人足及ヒ船ノ手配整備セハ鹽務局ハ現在ノ設備ノ儘ニテモ三臺ノ秤量器ヲ以テセハ半日ニ百五十万斤ハ積出スコトヲ得ト云ヘリ然ルニ第一回ノ結果ヲ見ルニ船及ヒ人足ノ不足セル爲メ半日ニ幸フシテ十万斤ヲ積入レタルヲ得ルノミサレハ鹽務局倉庫ヨリ散鹽ヲ積ムニ際シテハ船及ヒ人夫等ノ設備ヲ充分ニスルコト實ニ急ナリトス

第二節 一般荷物ノ取扱

打狗支店ニハ船三隻ヲ有シ打狗運輸組ノ社員ニ於テ其船廻シ及仲仕人足ノ受負ヲナスト雖モ從來小蒸船ノ設ケナキヲ以テ其回船遅ク且仲仕ノ手廻シモ常ニ敏活ヲ欠クノ弊アリ常ニ補給廠ノ機嫌ヲ採リ其小蒸船ニ曳カレテ便利ヲ謀レリ然レトモ他所ノ船ナレハ使用意ノ如クナラスシテ不便ヲ感シタリシカ今回新タニ同港ニモ小蒸船ヲ設備スルコト、ナリタル山ナレハ此不便ハ免カレ得ラルヘシ

打狗ノ揚荷中ニハ鳳山行荷物最モ多ク支店ハ倉庫ニ於テ荷捌チナシ運輸組ハ之ヲ引受ケテ峇住領ニ舟送シテ車力ニヨリ又ハ補給廠ノ輕便鐵道ヲ借リテ鳳山ニ送致スサレトモ其運送ノ設備ハ極メテ不完全ニシテ事故ヲ生スルコト少ナシトセズ且打狗運輸組ハ安平ニ於ケル臺南運輸組ノ如ク荷主ノ代理者ニアラサレハ其事事故ヲ生シタル荷物ニ對シ會社ト運輸組トノ責任荷主ニ明カナラザルヲ以テ彼レヲ責ムレハ之レニ譲リ之ヲ糾セハ彼ニ避クル等頗ル荷主ヲシテ不便ヲ感セシメアリ故ニ鐵道開通シテ此中間事故ヲ一掃スレハ荷捌ノ上ニ於テ頗ル便利ナ

第三節 支店及築港

築港ノ計畫及ヒ鐵道開始ノ爲メニ現在ノ支店及ヒ倉庫ハ其位置ヲ變更スヘキカハ茲ニ述ベント欲スル所ナリ現在ノ支店ハ舊支那人ノ家屋ヲ借受ケテ使用スルモノナルヲ以テ執務上狹隘ナルノミナラス東面ノミ開キテ他ノ三面ハ壁ヲ以テ閉チ切リタルガ故ニ夏時ニ至レハ炎熱堪ユル能ハサルノミナラス光線ハ東面ヨリ射入シ來ルヲ以テ半日ハ各自椅子及卓ヲ携ヘテ屋外ニ出テ事務ヲ取ルニ至ル等臺灣各支店中最モ不便ノ家屋ナレハ是非共新タニ支店ヲ建築スルヲ要スヘシ

今若シ新タニ支店ヲ建築ストセハ其地位ハ何レニ定ムヘキヤハ素ヨリ築港ノ設計確定スルニ至ラサレハ適當ノ地ヲ定メ難カルヘシト雖モ其竣工ハ幾年ヲ期スヘキヤハ未ダ知ルベカラス且又倉庫ハ現在支店ノ門側ニ凡ソ二三十坪ノ借庫一棟アリト雖モ荷物ノ集積シタルトキハ屢々狹隘ヲ感シツ、アルニ將來鐵道開通ノ結果益々揚荷ノ増加スルニ至ラハ到底一大倉庫ヲ建築セザルベカラズ目下支店及ヒ倉庫ノ建築地トシテ最モ適當ト考フルハ港口ニ近キ税關ノ側ニアル空地是レナリ此地所ハ曾テ府長ヨリ本社ヘ内申アリタル由ニテ灣岸中最モ水脚深キ處ナルヲ以テ假令築港實行セラレ、トモ浚渠及埋立ノ憂ナク極メテ恰好ノ地所

ナリサレド其價額ニ於テ果シテ適當ニ買得ラル、ヤ否ヤハ調査セザリシ所ナリ
然レトモ現時打狗ノ荷捌ハ基隆ト全ク荷主ノ大部分ハ直ニ自カラ荷物ヲ引取
リ倉庫ニ久シク委託スルコト少ナキヲ以テ鐵道ノ延長及築港ノ計畫確定スルヲ
待チテ徐ロニ瀛車積ニ便利ナル場所ヲ擇ヒ茲ニ大倉庫ニ建設スルモ敢テ遅キニ
アラサルヘシ

第四節 事故荷物

安平ニ於テハ荷物ノ事故甚ク多ク之レカ辨償モ非常ノ金額ニ至リタルニ反シ打
狗ニ於テハ屢々神戸大阪ノ積殘及ヒ基隆ノ接續ノ宜シカラザル爲メ間々不着ト
ナルコトアレトモ多クハ追送シ來リ或ハ代品ヲ以テ辨償シ去リ從來全支店ノ辨
償額ノ甚ク僅少ナルハ其揚荷ノ數量遙カニ少額ナルニヨルハ勿論ナリト雖モ安
平ニ比シテ港ノ良キ爲メ揚殘ヲ生スルコト少ナキト舩船ノ航行短キト支店ト荷
主トノ關係又ク親密ニシテ交渉ノ爲シ易キ等其重ナル理由ナルベシ
安平ハ本船ヨリ倉庫ニ至ル迄ハ三運餘アリテ巨浪淺灘ニ激シテ屢々舩船ヲ覆ス
カ如キコトアリト雖モ打狗ハ本船ヨリ倉庫迄ハ僅カニ一運弱ニスギズ港口ノ外
ハ波浪高シト雖モ其距離短クシテ安平ノ如キ困難ナシ且打狗ニアリテハ倉庫ノ
設備極メテ完カラスト雖モ支店ノ前全一ノ門内ニアリテ取締行届ケルカ爲メ本
船ヨリ積取りタル以後ニ於テ事故ヲ生スルコト殆ント稀ナリト云フ
今打狗支店設置以來全店ニ於ケル不着荷物ヲ調フルニ左ノ如シ
不着荷物總計五十一種 此個數三千二百六十九個

内 譯

着荷濟 三十六種 三千二百二十九個
未 着 十五種 四十個

右ノ如ク其不着個數ノ非常ニ多キハ出荷地ニ於テ「マニフェスト」ニ記載シテ送附
シタル限リハ盡ク不着トシテ算セルヲ以テナリ故ニ打狗揚ノ「マニフェスト」ニ記
載シナカラ積殘リタル爲メ荷主ノ都合ニヨリ安平揚トセルモノモ此内ニ含有ス
ト知ルヘシ之レ全支店カ不着ト稱スル荷物ノ割合ニ實際ノ不着遙カニ少ナキ所
以ナリ

右不着荷物ヲ航路別ニ統計セハ左ノ如シ
打狗線 三十八種 三千百九十九個
沿岸線 六種 九個
臨時線 五種 五十八個
安香線 二種 三個

上記ノ如ク打狗支店ノ不着ト云フ意味ハ他店ニ比シ廣義ニ解スルカ故ニ打狗線
不着荷物三千百九十九個ノ内ニテモ神戸積瓦一口ニテ二千八百二十一個アリ之
ハ荷主ノ依頼ニヨリ基隆揚トナシタルモノナリ
更ニ打狗支店設置以來ノ過剩荷物ヲ檢スルニ左ノ如シ
過剩荷物總計 十七種 二百八十個

内 譯

轉送濟 十五種 二百七十五個
 倉庫保管中 二種 五個
 之ヲ航路別ニスレハ

打狗線 十四種 四十二個
 沿岸線 二種 二百三十一個
 安香線 一種 七個

打狗支店ノ事故荷物ヲ調査スルニ當リ全店ハ荷物ノ扱ヒ及ヒ帳簿ノ備ヘ他店ニ比シ最モ整理シ居ルコトヲ認メタリ安平及ヒ基隆支店カ昨年ノ事故荷物ニ關スル記録及ヒ其取調ノ書類等ヲ調査シタルニ一モ纏リ居ルモノナカリシニ比スレハ遙カニ整理セリト云フヘシ

事故荷物臺帳及ヒ附屬書類ニハ詳細ニ記録ヲナシ一々取調ノ跡ヲ明カニセリ倉庫内モ能ク整理シ掃除モ行届キ居レリ之レハ小生等ノ出張ヲ豫知シタル爲メ前以テ整理シ置キタルナリトハ店長自カラモ云ヘリ安平ノ倉庫ノ能ク整理シ居タリシモ之カ爲メナラン

第三章 雜件

一 安平支店長ハ第一篇ニ於テ述ヘン如ク臺南荷主トノ關係全ク不和ニシテ反目毗裂ノ狀ニアリ嘗テ臺南ニ於ケル商業俱樂部ニ入會ヲ申込タルモ之ヲ拒絕シタル程ナリト雖モ打狗支店長トシテハ最モ衆望アリテ鳳山及ヒ打狗ノ荷主ト互ニ相

親ミ就中補給廠トノ交際最モ親密ニシテ互ニ其便利ヲ助ケ合フカ故ニ凡テ營業上ノ問題ニ就テハ常ニ容易ク之ヲ決シ得テ煩ヲ殘サス先頃打狗ニ於ケル内地會ノ副會頭ニ推選セラレタルヲ見テモ其一般ヲ知り得ラルヘシ

一 店員ハ一般ニ他店ニ比シ能ク依遊ストノ評アリ之レ或ハ店長ノ企地ニ於ケル主義自然ニ之ヲ致シタルモノナランカ然レトモ職務ニ對シテハ皆ナ能ク勉メ居ルヲ以テ未ダ其弊ノ營業上ニ及ボシタルモノアルヲ聞カサルナリ打狗及ヒ安平ノ店長ハ一人ニテ兼任シ兩店共ニ助役ノ設ケナキヲ以テ店員ハ執務及ヒ行跡ニ關シテ自然ニ憚ル處少ナキニ至ルノ弊ナキヲ得ス加フルニ打狗支店モ鐵道開通以來業務漸ク膨脹スルトセハ兩店各專任ノ店長ヲ置クハ必要ナルヘシ

一 店員ニ社宅ノ設ケキヲ以テ作次人ノ二階ニ居住スルモノアリ又料理店ニ出入スルモノアリ共ニ其弊ヲ醸スコト少ナカラスト考フルノミナラス社會ノ風評モ又宜シカラサルヘシサレハ全店ニモ早ク社宅ヲ設ケラレシコトヲ希望ス

今參考ノ爲メニ打狗鹽務局倉庫坪數及其包容量ヲ擧クンバ左ノ如シ

- 一本倉庫 一棟 四百九十六坪
- 但シ漆喰塗日本風建物
- 右一棟ヲ分チテ二十室トス
- 各一室ノ包容量平均凡二十一萬四千二百二十八斤
- 總包容量四百二十八萬二千五百六十斤
- 一假納屋 大小十七棟 三百五十四坪半

但シ竹柱葺即チ全島在來ノモノ
 内 大 六棟 二百四十坪 包容量百五十万斤
 小 十一棟 百十四坪半 全 八十五万八千斤
 合計包容量二百三十五万八千斤
 一總包容量 六百六十四万五百六十斤

第六編 各船

第一章 各線ノ部

一各店ニ於ケル事故荷物並ニ其救濟方法ヲ取調ヘタルニ當リ各船ノ荷物取扱中最モ改良ヲ要スベキハ各店トノ授受分明ナラサルニ在リ前數節ニ於テ述ベタル如ク現今各店及各船ニ用フルモノハ只少サキ紙片ヨリ成レル交附書面ニ荷物ノ總個數ノミヲ記シテ各船或ハ各店ニ渡シ之ニ對シテ其一半タル領收證ニ全ク總個數ノミヲ記シタルモノヲ受取リ以テ唯一ノ證據トナスナリ其捺印ト云フモ各船ニ在リテ其責任者タル一等運轉士ノ印ヲ用フルモノ少ク多クハ二三等運轉士或ハ水夫長雜掌等ノ印ヲ用フルコト多シ各店ニ在リテモ雇員ノ捺印ヲ用フルアリ中ニハ仲仕頭ナドノ捺印スルモノ屢々之アリ且各船各店共一般ニ交附書面ニ過不足ノ但書ヲ加フルコトヲ嫌ヒ若シ不足等アルトキハ交附書面ニハ總數完全ノ受渡ヲ記シ置キ別ニ證明書ヲ交附スルノ弊アリ爲メニ後日ニ至リテ其證明書ヲ紛失シ或ハ之ニ氣附カズシテ交附書ニノミ依ルカ故ニ反テ事實ニ相違セル受授ヲ證明スルノ材料トナルコトアリ又既ニ第一編ニ於テ述ベシ如ク總個數ノ受授ニアリテハ揚達荷物ニ就テハ各船全ク責ヲ免レ偶々他港ニ陸揚チナス場合ノ如ク如何ナル荷物カ何港ニ揚アリシヤ只總數ノミヲ知リテ其種類ヲ知ル能ハズ之カ取調チナスニ當リ或ハ解荷ノ爲メ總數ノ超過スル等アリテ全ク取調チナスニ苦ムコト往々アリトス内海航路ノ如キニ至リテハ寄港地ノ數多クシテ碇泊時

間モ僅少ナルヲ以テ各個ニ就テ對照スルハ稍困難ナルベシト雖モ臺灣諸航路ニ在リテハ瀬戸内海ト全一ノ取扱ヲナスノ不完全ナルコトハ云フヲ俟タズ又大阪神戸等ノ如キニ至リテハ臺灣船積荷ニ對シテ各埠船毎ニ一々ノ荷物種類荷印及其數量ヲ明記シタル移送狀ヲ用ヒ居ルト雖モ各港一般ニ之ヲ實行セズ且又大阪神戸ト雖モ揚荷ニ際シテハ一モ此等ノ類ヲ用ヒズ安平ニ在リテハ近時陸揚移送狀ヲ用フト雖モ畜ニ雜貨何個材木何個穀物何個等ト大別スルノミナルヲ以テ是レ亦不完全ヲ免レズ

サレハ臺灣諸航路(朝鮮航路モ)ノ各船各港ニ於テハ積揚荷トモ各其埠船ニ必ス「マニフエスト」全様ノ船積移送書及陸揚移送狀ヲ用フルコト、シ其方式ヲ一定シ是ニ據リテ「タリーマン」及店員立會ニテ數讀ヲナシ設ケタル欄内ニ數ノ符號ヲ記入スルコト、シ其授受ヲ明瞭ニスルカ如キハ實ニ改良ノ急ナルモノト考フルナリ斯クスレバ船積移送書ハ船積差圖書タルノ便アルノミナラス過不足荷物ハ舷側ニ於テ其何印何種タルヲ知ルヲ得損害荷物ノ摸樣ヲモ發見スルニト容易ナルヘシ尙ホ移送書ノコトニ就テハ岐路ニ涉ルノ嫌アレバ別ニ案ヲ具シテ高考ヲ仰カント欲ス

一各船ニ手荷物預リ制度ヲ設ケルコトヲ要スベシ各航路各船トモ手荷物ノ制度一定セザルヲ以テ多クハ乘客ハ各自之レヲ携ベテ乘込ニ自カラ之ヲ携ヘテ下船スルヲ以テ下船ノ際ハ混雜一方ナラズ殊ニ臺灣航路ニ在リテハ手荷物ノ數多キヲ以テ内地航路ニ比シテ一層其取締ヲ要スル處ナルニ各船トモ一モ之ヲ顧ミス中

國線ノ如キ船ニヨリテハ合鑑引換ノ制ヲ設ケルモノアレトモ米ター一般ノ制規ニアラサルヲ以テ事務員ニ於テハ紛失ノ場合其責任ノ自分ニ歸セシムコトヲ恐レ船客ヨリ預ケ入レテ要求スルモ合鑑ヲ渡スコトヲ避ケ從ツテ保管ノ注意ヲ欠クコト多シ故ニ手荷物預リ規程ヲ設ケテ早く此不備ヲ救ハンコトヲ希望ス

一船員ノ待遇臺灣沿岸線ト南清航路トニ於ケル船員ノ待遇ヲ見レバ左ノ如シ

種類及航路	南清航路	臺灣沿岸航路
社宅	有	無
船長乘船手當金	六拾五圓	貳拾圓
壹等運轉士手當金	四拾五圓	拾貳圓
貳等運轉士手當金	參拾圓	八圓
參等運轉士手當金	貳拾圓	五圓
機關長手當金	五拾五圓	拾五圓
壹等機關士手當金	參拾五圓	拾圓
貳等機關士手當金	參拾圓	七圓
參等機關士手當金	拾五圓	四圓
事務長又ハ事務員	參拾圓	拾五圓
次席事務員	貳拾圓	拾圓

右ノ如ク兩航路乗船手當金ニ大ナル差アルハ内外國線ノ事情大ニ異ナルモノアルニ依ルト雖モ南清航路ニハ各船ニヨリテ各新宅ヲ給セラレ居ルニモ拘ハラズ沿岸航路ニハ其設テキハ官ニ兩航路船員間ノ權衡ヲ欠クノミナラズ風紀ヲ傷フ止ニ於テモ多少關係ナクンバアラズ是以テ臺灣沿岸航路各船員ハ各基隆ニ關染ノ旅館アリテ碇泊ノ時ハ常ニ是ニ來リテ休泊スルノ例トナレリ爲メニ旅館ニ至レバ自然酒ヲ命シ或ハ妓ヲ招ク等ノ習ニ陥リ船員ノ風紀ヲ紊シ常務ニ關係スルコトモ少ナカラサルヘシ且此等ノ弊ハ自然ニ沿岸各船員手當金ニ不足ヲ訴ヘ南清航路ト比較シテ不公平ヲ鳴ラスモアルニ至ル故ニ沿岸線各船上級船員ニハ基隆ニ各社宅ヲ設ケラレノコトヲ希望ス

南清航路ニ比シ沿岸線ノ手當金ハ前記ノ如ク平均參分一或ハ四分ノ一ニ居ルハ前者ハ外國航路ニシテ外國船ト競争ヲ爲スノ要アルト新設航路トシテ初メテ外國船ノ間ニ進入シタル時ノ困難トシ慮リタルニ依ルト雖モ兩航路ハ船員自身ニ取リテ其差異ノ大ニ過クルヲ覺ユルナラシ沿岸航路ニ在リテハ糞キニ毎月二回ノ航海ヲ三回トナセシヨリ基隆ノ碇泊時間大ニ減セラレタルノミナラズ年中航海最モ困難ニシテ特ニ秋冬ノ候ハ風波ノ爲メ常ニ基隆ノ入港遲延スルモ再ヒ定期ヲ踏マサルヲ得サルヲ以テ毎ニ三日ノ碇泊ヲ爲ステ得ス然ルニ南清航路ニ在リテハ香港ニ三日淡水安平ニ三日ノ餘裕アリテ航海日數ハ沿岸線ヨリモ遙ニ少ク且兩航路ニ於テ船員ノ耳目ヲ樂マシムルモノ、如キハ全日ノ比ニアラス此等ヲ斟酌スレバ兩航路ノ手當金ニ於テ三分ノ一乃至四分ノ一ノ比ヲ設ケタルコト

ハ實ニ權衡ヲ欠クノ詳ナカルヘカラス今少シ沿岸航路ノ手當金ヲ増シ二分ノ一位ニ達セシメラレノコトヲ希望ス

沖繩經過打狗線各船ハ基隆以往打狗ニ至ル迄ハ沿岸線ト少シモ異ナル所ナシ而カモ沿岸線ノ最モ困難ヲ極メル航路ヲ經過スルモノナレバ沿岸線トノ比較上其權衡ヲ失ハサラシメン爲メニハ沿岸航海ニ對シ日數割ヲ以テ相當ノ特別手當ヲ設ケルコトヲ至當ナリト考フルナリ

一各港揚殘リ荷物ハ各船ニ於テ特ニ注意シテ取扱フ事ヲ要ス安平支店ニ於ケル不若荷物ノ最モ多キハ此類ニシテ此揚殘リ荷物ニ對シテ本船ニ一ノ「マニフエスト」其他ノ明細ヲ記載セルモノナキヲ以テ陸揚ニ際シテモ總數サヘ不確ナルモノアリ或ハ本船内ニ留メ置キ次航或ハ臨時ニ陸揚スルモノアリ尙甚シキハ之ヲ利用シテ他日ノ不足ニ當ツルモノアルヲ聞クカ如キハ嚴シク取締ルヘキ處ナリトス是レ總個數受渡制ヲ廢シ各個受渡制ヲ執ルニ至ラバ大ニ其弊ヲ除クヲ得ベシト雖モ此等ノ荷物ニ對シテハ直チニ其明細番ヲ作ラシメ一等運轉士ニ差出シ一等運轉士ハ可成早ク一回ニテ悉皆陸揚ヲナシ永ク船中ニ留メ置カサルコトヲ注意スヘキモノトス

一各船「ボーイ」ノ各等別腕章ハ一般ニ實行セラレヌ臺南丸ノ如キハ是ヲ實行シ居レリト雖モ中ニハ全然之ヲ付セザルモノアリ又出帆ノ際ノミ是ヲ附シ航海中ハ之ヲ脱スルモノアリ爲メニ船客ハ不便ヲ感スルヲ以テ一般ニ勵行セシムル事ニ注意スルヲ要スベシ

一各船々客用スリツバ及草履ハ等級ニヨリテ異ニスルノ制ナレトモ一般ニ壹貳等客ノ區別ナク時々「ボーイ」ハ一二等客ヲ誤リテ食堂へ案内スルコトアリ故ニ「スリツバ」及草履ヲ壹貳等ニ用フル場合ニハ必ス色分ニスルヲ要スヘシ

一各船ニ於テ「ウインチ」ヲ使用スルニ當リ船艙ノ奥迄テ其鍵ヲ引キ行キ數個ノ荷物ヲ掛ケテ「ウインチ」ヲ以テ船口ノ下迄引附テ其儘揚クルコト多シ爲メニ四方ニ衝突シ破損ヲ生スルコト夥シク且「ウインチ」ノ保存ニモ關係シ荷物等ノ破損モ多クハ此時ニ生スルモノト考ヘラル是レ一ニ船内仲仕ノ不足ナルト其怠慢ナルトニ其ツクモノナレバ仲仕ヲ増スト共ニ各運轉士及荷物方ハ「ウインチ」ノ使用ニ對シ大ニ注意シテ監督スルヲ要ス

一各船々客姓名ノ揭示ハ基隆直航線及字品經過線ニテ實行シ居レリト雖モ其他各線路船ニ在リテハ一モ此設備ヲ見ス之レハ強チ右ニ航路ノミニ必要ナルモノニ非ラス沖繩經過打狗線沿岸線及南清航路ニ於テモ全樣實行スヘキコト必要ト考フルナリ且臺灣直航線及字品經過線ニ實行スルモノト雖モ神戸門司間ノ乘客ハ之レヲ揭示セズ之モ全樣記入スヘキモノナリ

一船中直取運賃ハ必ス普通運賃ノ壹割増ノ規定ナレトモ沿岸線ニ於テハ是ヲ實行セザルガ如シ基隆支店員自カラ其規程ノ確定シ居ルヤ否ヤヲ問フモノアルニ至レリ是レ必ス勵行ヲ要スヘシ

第二章 內地臺灣間各船

第一節 設備

今回ノ出張中往航ハ臺南丸ニテ基隆ニ至リ基隆ヨリ澎湖島迄ハ打狗線須磨丸ニ乗船シ東沿岸ハ宮島丸ニヨリ復航ハ臺北丸ニテ長崎ニ至リ臺中丸ニ轉船セリ今各船ニ就テ其見シ所ヲ述ベシ

臺北丸ハ客室ノ組織頗ル他船ト異ナリ「ソシヤルホール」ヲ如キハ樂器ヲ備ヘ附テ其裝置頗ル美ナリト雖モ其一部ノ破損セルアリ「ペンキ」ノ剥落セルアリ各等室共ニ見苦シク且日本人ニ不便ナル箇所アリ又荷物積揚ノ如キモ船ノ構造ヨリシテ恰モ井戸ヨリ水ヲ揚グル如キ不便アリ然レトモ此等ノ不備ハ今回ノ修繕ニテ完成シタルナルベシ

一內地臺灣間各船ニ滯陸券ヲ發行スルコト

臺灣行ノ乘客ノ中ニハ其寄航地即チ字品、門司、長崎、鹿兒島、沖繩ニ用務ヲ有スルモノアルベシ是等ノ客ニ對シテハ滯陸切符ヲ發行シ一定ノ期限内ハ社船ノ内何レノ便ニヨルモ何レノ港ニ上陸スルモ差支ナキコト、ナサハ會社ノ利益トモナルベク又乘客ノ便利モ多カラシ現今途中上陸シテ爲メニ出帆ニ後レタルトキハ空シク以後ノ乗船權ヲ放棄セザルヲ得サルモノナキニ非ラス斯ノ如キ場合滯陸切符ヲ所持スレバ頗ル便利ナラント信ス是レ獨リ臺灣線ノミナラズ朝鮮航路ノ如キモ亦其必要アルヲ認ム

内地臺灣間及朝鮮内地間ノ各中間港ニハ各船ヲシテ船客搭載報告ヲナサシメ殊ニ一等船客ニ對シテハ其姓名ヲモ報告セシムルヲ要ス然ラサレバ中間港ニ於テ

切符發賣ノ都合ヲ知ル能ハス又社船ニ如何ナル人ノ乗船セルヤチモ知ル能ハス
シテ送迎ニ對シ大ニ不都合ヲ醸スコトアルベシ

一 臺南丸二等室仲賣品代價表ハ破損セリ一等食堂用敷布ハ破レタルモノヲ使用ス
一 一等室ニ一ツモ仲賣品定價表ヲ揭示セズ申告簿ノ揭示ナシ
一 須磨丸ニハ室内ノ裝飾更ニナシ諸揭示類ハ各等ヲ通シテ一モナシ只船籍証書ノ
寫シト申告簿トアルノミ

一 等各室ニハ睡蓋ヲ備附ケス
一 仲賣表ヲ揭示セズ
一 二等客便所ニハ紙箱ノ設ケナシ
一 二等客便所ハ穢クシテ狭ク加フルニ通風惡キ爲メ不快言ハソ方ナシ
一 船内ニハ書籍備附箱ナシ雜誌ヲモ備ヘズ
一 一等食事ノ場合ニモ下地注キ二個及土瓶二個備ヘアリシモ各異ナルモノヲ用フ

第二節 執務ノ狀況

一 各船々長ノ内航海中最モ規律正シク乘客ニ對シテモ常ニ好評ヲ得ルモノハ臺
南丸船長ニシテ臺北丸船長之ニ次ク臺南丸事務長ハ日未タ淺ク事務ニ熟セザ
ル爲メ船客ノ昇降ニ注意ノ周到ナクノ嫌アリト雖モ尙大船ノ事務長タル責
格ヲ失ハズ基隆ニ於ケル一般ノ風評ヲ聞クニ臺南丸船員ハ諸船中最モ規律正
シク他船々員ニ在リテハ基隆碇泊中ハ多ク上陸シテ各狎染ノ宿ニ至ルヲ常ト
スレトモ臺南丸船員ニハ此事ナシト云フ

臺北丸事務長ハ乘客ニ接シテ無聊ヲ感ムルニ於テハ實ニ巧ナレトモ事務取締
ニ就テハ一向無頓着ナルガ如シ

一 各船ニ於テ荷物積入ノ際可成注意シテ臺北行ト否トヲ混セサラシムル様又可
成全荷主ノ數多ノ荷物ハ他ト區別シテ揚荷ノ際一時ニ輒メテ全船積ニ移ス
得ル様ニ注意スルヲ要ス否サレバ基隆ニ於テ停車場倉庫行ト否ラザルモノト
ヲ舂船ニテ區別スル能ハザルヲ以テ自然盡ク小基隆ノ倉庫ニ揚ケテ仲次人ニ
引渡サザルヲ得ズ又荷主ニヨリテハ多數ノ受荷アレ場合自己ノ舂ヲ以テ直受
ヲナストモ他ノ荷主ノ荷物ト混載スルヲ以テ一時ニ引移ス能ハズ且爲メニ數
讀ノ誤リヲ生シ易シ各船積附ノ如何ニヨリテ基隆ニ於テ大ニ便不便ヲ生シ荷
主ノ利不利ヲ來スコト大ナレバ一等運轉士及荷物方ハ充分注意ヲ要スベシ
一 規律ノ点ヨリ云ヘハ須磨丸ハ多少他船ニ劣ルヤニ見ヘタリ船長事務長其他上
級船員ハ多ク制服ヲ着用セズ着港上陸ノ時モ亦然リ
一 事務長及船長ハ皆テ客室ヲ訪フコトナシ
一 食時ニ就鐘ヲ鳴サス
一 船僕ハ船客ノ衣服ヲ熨マズ
一 甲板ノ拭キ掃除ハ時刻一定セズ又運轉士ノ立會フコトナシ洗ヒ拭キ終リタル
後船長或ハ運轉士之ヲ檢スルコトヲナサズ

第三節 取 締

一 内地臺灣各船ニ於テ隱職ヲナスコト多クハ既ニ第二編ニ於テ詳述セリ之レ

主ニ船員ト基隆仲次人トノ隠謀ニ出ツルモノニシテ事務長ハ多ク與リ知ラザルモノ、如シ深更ニ及ビテ自カラ各室ヲ見廻リ切符數ト乗客ノ數トヲ照合スルトキハ五六人ノ超過ヲ見ルコト屢々ナリト云フ船長及事務長ニ於テ宜シク嚴密ノ取締ヲ要スベキ所ナリ

一 臺南凡ニハ三等船客溢リニ「サルン」及「スモ」キソグリーム」ノ周圍ニ群集シテ院キ廻ルモノアリテ雜踏スルモノ之ヲ制止セズ

又出帆後モ上甲板上ニ三等客ノ草履下駄等ヲ放置シ「スモ」キソグリーム」ニハ七月分ノ發着表ヲ其儘揭示シテ取換エザル等ハ同船ニ於テ注意スベキ所ナリトス

一 須磨丸ハ船部ノ整理宜シカラズ船品及器具ヲ甲板上ニ放置シ甲板上ニテ料理ヲナスアリ又三等船客ノ一部ハ「ダラツア」ヨリ送り込マテテ舷門口ヨリ送り込ミ其間ニ於テ三等船僕ハ仲次人トノ間ニ奸策ヲ行フカ如ク憂アリ其ニ事務長ニ於テ取締ヲナスヲ要ス

第三章 沿岸線

一 現今臺灣沿岸線ノ運賃ハ西廻リ船ニ乗スルモ東廻リ船ニ乗ルモ全一ナルヲ以テ基隆ヨリ蘇澳或ハ花蓮迄ノ切符ヲ求メテ西廻リ船ニ乗シ安平或ハ打狗ニ至リ上陸シ運賃ヲ盜ムモノアリ而シテ是等ノ客ハ碇泊時間中上陸ノ旨ヲ告ケテ其儘歸リ來テザルモノナルヲ以テ之ヲ取締ニモ大ニ困難ヲ感ゼリト故ニ之ガ救済

シテハ東西廻リニヨリテ各相當ノ運賃ヲ定ムルホ或ハ次項ノ如ク改正スルノ外ナシ孰レ案ヲ具シテ稟議スベシ

一 西廻リ及東廻リ沿岸線ノ制ヲ廢シ基隆ヲ起点トシ打狗ヲ終點トシテ東沿岸線及西沿岸線ト改メ東沿岸線ハ毎月二回西沿岸線ハ毎月三回ノ航海ヲナスコトハ安平支店長ノ意見ニシテ斯クスルトキハ前項ノ弊ヲ除キ安平ニ數船ノ一時ニ集合スルヲ避ケ荷物ノ揚達ニ關シ本船ノ寄航ハ往復兩回ノ便アルガ爲メ間違ノ處分ヲ速カニシ揚達ノ區域ヲ減スル等ノ利益アリ然レトモ近時澎湖島及安平ヨリ蘇南花蓮港行ノ荷物漸ク増加シ來ラントスルノ模様ナレバ打狗ニ於テ接續セシムルコトハ不便懣カラザルベク各船ニ於テ其不便ヲ唱フルモノ少カラザレバ其得失如何ハ俄カニ斷スベカラス只高考ニ供スルノミ

一 現今臺灣一週運賃ノ規定ナシ故ニ基隆支店ニ於テ屢々其質問ニ接スルモ答辯ニ苦ミ居ルノミナラズ此類ノ船客ナキニシモアラザルベシ現今ノ如ク西廻リ線ニヨリテ蘇澳ニ至ル運賃モ僅カニ壹圓五拾錢ナレバ之ヲ倍加セバ參圓トナリ殆ント食料ニ過キ越エテ蘇澳ニ至ル運賃ハ壹圓五拾錢ナルヲ以テ權衡ヲ失スルコト甚クシ故ニ速ニ一定スルコトヲ要スベシ

一 沿岸線ハ風波常ニ荒キヲ以テ各船客上陸スルヲ得スシテ次港ニ至リ或ハ一週スルモノ往々アリ此場合ハ其航海中ニ對シ舊時ハ每食一等或拾錢二等拾五錢三等拾錢ノ割ヲ以テ食料ヲ徵取シ其切符ヲ次回ニ使用スルヲ得ルノ定ナリシモ現時

ハ一定ノ制ナキヲ以テ其取扱區々ニシテ食料ノ如キモ定額ナク常ニ姑息ノ慮置
 テ探リテ一時ヲ瀰縫シ居レリ之レ至急一定ノ規定ヲ設クルノ必要アルヲ以テ更
 ニ案ヲ具シテ高考ヲ仰カント欲ス

一沿岸線各船準備金ハ現今參百五拾圓宛アリ然レトモ電報ノ發信及臨時贈品ノ仕
 入等ヲナス場合モ悉ク各店ノ振替トナリ居レバ更ニ其必要ヲ見ス故ニ他航路ノ
 準備金ヲ廢シタルト共ニ本航路ニ於テモ封金ノミニ變更スルモ差岡ナカルベシ

一宮島凡ハ船長及事務員共ニ各港ノ評判宜シク荷物ノ揚達モ比較的少シト云フ

一等運轉士ハ每荷役ニ必ス立會ヒ自カラ「ウインチ」ノ指揮ヲナシテ立廻リ敢テ下
 級船員ニノミ委テス動作最モ善ク勉メ居レリ然レモ嘗テ事故荷物取扱規程ノ制
 定セラレタリシヲ知ラズシテ事務ノ整理ニ乏シキハ此人ニ取リテ實ニ遺憾ナリ

一 一等室ニ諸揭示ナシ只運賃表ト檢査證ノ寫トノミアリ

一 一等室ノ便所ハ手洗水ノ通管破損シテ水ヲ給セズ又隣室ノ浴湯洩レテ進入シ船
 ノ穢搖毎ニ流動スルヲ以テ脚ヲ入レ難キコト屢之アリ加之大便所ノ掃除常ニ行
 届カズシテ不潔ナリ

朝食前ニ咖啡ヲ供スレトモ燒麵包ヲ供セズ

贈ハ沖繩經過打狗線ト全額ナレトモ須磨丸ニ比シテ遜カニ不頁ナリ

事故荷物臺帳ノ備附ナシ之ハ本船運轉士ニ注意シ置ケリ

乘客姓名ノ揭示ヲナサス又各室ノ入口ニモ姓名ヲ掲ケズ一等船客ト雖モ互ニ其
 姓名ヲ知ルニ由ナシ他ノ臺灣線ト同様ニ之ヲ設クルヲ要ス

第七篇 雜 部

一、各支店ニ於テハ其管轄線路各船ニ對スル監督一般ニ緩慢ナルノ詳ヲ免レヌ基隆
 支店ニ於ケル沿岸各船淡水支店及安平支店ニ於ケル南清航路各船ハ每次本社ニ
 歸航スルモノニ比シテ其設備及ヒ取締等注意ノ及ハサル所アルヤニ聞ケリ就中
 沿岸各船ノ休裁大ニ異ナル所アルハ船員ノ不注意ニヨルト雖モ基隆支店カ之ニ
 對スル監督ノ實學カラサルニ歸スルコトモ亦多シトスベシ

一、船荷證券ノ條項ハ各支店ニ於テ舉テ履行スヘキコト必要ナリ特ニ第二篇ニ於テ
 述ヘシ如ク臺灣行荷物ニハ其船荷證券面ニ破損、濡損、中品漏脱等ハ一切其ノ責ニ
 任セストノ明示ヲナシ特ニ其南部行ノモノニハ臺灣南部ノ暴風雨期間雨濡、潮濡、
 破損、漏脱無關係ノ約束ナルコトヲ明示セリ然ルニ一般ニ其履行ヲ欠キ破損漏脱
 ニ對シ辨償ヲナスモノ甚カラス之レ各店ニ於テ從來ノ行態上之ヲ謝絶スル能ハ
 サルト自店ノ詳難ヲ免カレシメトニヨルト雖モ延テ本社責任ノ範圍ヲ擴大ナ
 ラシムルニ至ルハ策ノ得タルコトニアラサルヘケレハ將來ハ斷然無責任ノ條項
 ナ履行シ萬止ムテ得サル場合ノ外之レヲ枉ケサルノ方針ヲ執テハ一時ノ困難ハ
 免レスト雖モ久シカラスヲ習ヒ常トナルコト必然ナリ

一、各支店ニ於テ日々荷物ノ出納ハ如何ノ狀況ニアリヤ倉庫ノ集散ハ如何ナルヤ各
 船揚荷ノ事故ハ幾何アルヤ等ノ事ハ只々倉庫番及運輸主任者ニ於テ之ヲ扱ヒ去
 リ店長ハ一モ其狀ヲ知ルコトナク荷練ノコトハ一切與リ知ラサルヲ例トス蓋シ

會計ノ事ニ至リテハ日々ノ出納計算ヲ明ニシテ店長ノ檢印ヲ求ムルノ制ナレバ
店長ハ机上ニ於テ能ク其狀況ヲ知ルヲ得ト雖モ貴重ナル荷物カ日々如何ナル狀
態ニアルヤヲ知ル能ハサルハ店長ノ心ナキニモ依ルトハ云ヘ又法ノ不備ニ基ク
欠点ト云ハサルヘカラス況ンヤ其取締ヲ爲ス如キハ殆ソト之ヲ放任シ自ラ省ヨ
サルヲ例トス基隆ニ於テ多數ノ過剩荷物ヲ生シタル如キハ實ニ此弊ニ基クモ
ノナリサレハ荷物ノ出納モ會計事務ト同シク日々其結果ヲ表示シ店長ノ檢印ヲ
求ムルコト、シ店長之レニヨリテ時々倉庫現荷物ヲ實檢スル事同、セハ上
記ノ弊ヲ防キ事故ノ狀況ヲ審ニシ店長ヲシテ自ラ運輸事務ヲ掌ラシムルコトヲ
得ヘシ

一臺灣各港行木材類ニハ其噸數ノ測定非常ニ寛ナリトノ譏アリ現ニ澎湖島出張中
須磨丸揚荷ノ内木材ニ於テ其個數百數十本不足ヲ生シタルヲ以テ荷主ハ其辨
償ヲ請求シテ引取ラサリシカ終ニ船荷證書記載ノ噸數ニヨリ引渡サシコトヲ申
込タルニ荷主ハ黙シテ引取リタリ之レ支店ニ於テハ證書記載ノ噸數ト實噸數ト
ノ間ニ甚クシキ差違アルヲ知リタルヲ以テ此交渉ヲ爲シタルニ荷主ハ又之ヲ知
ル反リテ自己ニ不利ナル結果ヲ來サシコトヲ恐レ以テ無事ニ其肩ヲ結ビタリト
此ノ如キハ各港常ニ見ル處ニシテ特ニ門司鹿兒島ニ其弊最モ甚クシト云フ是等
ハ或ハ兩荷主間打合セ其各店出納掛ノ目ヲ逃レ運賃ヲ盜ム所爲ナルベシト雖モ
出納各店ニ於テ荷受ノ際ニ嚴重ニ之カ取締ヲ爲スコトヲ必要ナリトス
木材ノ類ニシテモ垂木、桁等ノ如キ小切材木ニアリテハ十數本若クハ三四十本ヲ

以テ一括トナシ之ヲ一個トシテ取扱フモ揚荷ノ際ハ結繩解ケ散乱シテ其數ニ於
テ不同ヲ生スルコトハ實際免レ難キ處ナレハ此等ノ種類ハ悉ク噸數ヲ以テ授受
スル方便利ナルヘシ

一出荷店ニ於テ全一荷主ノ荷物ニ對シテハ之ヲ船荷證券及ヒ「マニフェスト」ニ記ス
ルニ當リ其數種ヲ一糶メニシテ才數及ヒ元價ヲ記載スルヲ以テ一旦其内ノ一ニ
事故ヲ生シ若クハ紛失スルカ如キコトアラハ荷主ハ自己ニ利得ナル價額ヲ算出
シ來リテ要求シ本社ハ又各荷ノ價額ヲ無視シ平均元價ヲ以テ支拂フノ止ムヲ得
サルニ至リ爲メニ荷主トノ交渉常ニ困難ヲ極メリ加之各入荷店ニアリテハ仲仕
賃ノ支拂標準ハ「マニフェスト」記載ノ才量ヲ以テスルカ故ニ各種毎ニ才量ヲ記入
セサレハ其算出標準ニ不便宜カラス而シテ此弊ノ最モ甚クシキハ宇品支店ニア
リトス又二個併三個併ノ如キ合セ荷ニアリテハ必ス其旨ヲ船荷證券及ヒ「マニフ
エスト」面ニ記載セサルハ各支店ノ通弊ナリ故ニ荷物ノ積揚ニ際シ往々其併ケ繩
破レテ解荷トナリ爲メニ個數ニ大ナル違算ヲ來スコト恐レトセス此ノ如キ場合
ハ常ニ荷渡ニ際シ爭ヲ生スル所ナリトス

一各店ノ運賃徵收ハ多クハ各其支店入出荷係ニ於テ計算シ直ニ現金ヲ徵收シ計算
書ト共ニ會計係ニ回附スルヲ例トス爲メニ會計ノ事務ハ常ニ入出荷係事務ニ制
セラレ徵收遲緩ニ陥リ易シ故ニ入出荷係ハ計算書ノミヲ回附シ會計係ヲシテ現
金徵收ヲ司ラシムルコトニ一定セシコトヲ希望ス般陸支店ノ費消
事件ノ如キ實ニ現行制度ノ改良ヲ促スコト急ナルヘシ

一倉敷料ハ各店ニ於テ寬嚴一ナラス安平ニ於テハ近時嚴格ニ徵收シ居レトモ基隆
及ヒ打狗ハ甚ク寬ナリ荷物ノ集散多キ基隆ノ如キハ最モ嚴ニ之ヲ履行スルヲ要
ス特ニ臺灣各港ニハ同一ノ受荷主多シ甲乙地ヲ異ニシテ寬嚴一ナラザルトキハ
嚴ナル支店ハ攻撃ノ口實ニ擧ケラルヘシ故ニ特別ナル事情ノ外ハ各店共ニ一齊
ニ履行スルヲ要ス

一元地積殘リ荷物ヲ不足トナシテ辨償ノ手續ニ從事スルモノアルコトハ今回ノ調
査ニヨリテ發見セリ之レ其取調ノ疎漏怠慢ニ出ツルモノト雖モ亦出荷店ニ於テ
殆分ノ注意ヲ爲サザルニヨリ又入荷店ニアリテモ「マニフエスト」ニヨリテ現荷
物ノ過不足ヲ知リ之ヲ信スルコト厚キヲ以テ爲メニ出荷地積殘ニ就テハ深ク察
ス置カズシテ積入ノ如何ヲ追究セサルノ弊アリ故ニ出荷地ニ於テ「マニフエスト」
トノ調製ニ深ク注意スル積殘荷物ノ如キハ明カニ之ヲ刪除スルコトヲ要ス

一各店ニ於テ着船ノ際社員出張シテ上陸切符ヲ徵收スルコトヲ怠リ多クハ本船員
ニ一任スルノ弊アリ爲メニ隠載者當ニ絶ヘス之レ嚴シク履行スヘキ所ナリ基隆
門司長崎ハ其履行ノ必要一層切ナルヲ覺ユ

一臺灣各支店ニ於テハ社員ノ住宅ヲ設ケルコト必要ナリ各支店所在地ニハ社員ノ
住宅トシテ適當ナルモノヲ借入ル、コトハ實ニ困難ナリ爲メニ終ニハ余儀ナク
兎者シテ所ニ寓居シ或ハ仲次人ノ一室ヲ借受ケ爲メニ社外一般ノ風評モ宜シカ
ラサルモノアリ本社ノ面目トシテ休裁チ欠ケルモノ往々之レ有リ故ニ一級ニ社
宅ヲ設ケルハ必要トス

一各店ニ於テ揚達荷物ヲ生スルコト頗ル多ク爲メニ不着、延着、破損ナドヲ生スルコ
ト從テ多シ是レ各店一般ニ荷物ニ附スヘキ本社規程ノ荷印ヲ履行セサルヨリ生
スルコト少ナシトセス故ニ各店ニ於テハ其出荷物ニ就テハ必ス揚荷港ノ荷印ヲ
二テ所以上ヘ附セシムルコト、セハ此患ハ大ニ減スヘシ

一事故荷物辨償ノ範圍ヲ明示セラレタシトハ荷主及ヒ各店ノ要求スル所ナリ然レ
トモ場合ニヨリ情況ニヨリ豫メ明確ノ範圍ヲ定ムルコトハ困難ナリト雖モ此等
ノ問題ヲ荷主若クハ支店ノ口ヨリ發セシムルニ至ルハ要スルニ店長ニ於テ船荷
證券ノ條項不勵行ヨリ生スル結果ト云ハサルヘカラス現時臺灣行各荷物ニ對シ
テハ前ニ述ヘタル如ク夫々無責任ノ範圍ヲ定メテ捺印シアルヲ以テ其條項ニヨ
リ辨償ヲ拒ミ居レハ自然ニ其範圍ハ一定シ居レトモ從來ノ行掛上店長タルモノ
ハ自身ノ攻撃ヲ恐レ條項ヲ枉ケテ辨償スルノ傾多シ故ニ甲店ニ於テ辨償シ乙店
ニ於テ辨償セサル如キハ同一荷主ニ對シ疑問ヲ起サシムル原因ナレハ臺灣各店
ハ一般ニ同條項ヲ勵行スヘキコトニ一定スルヲ必要トス

臺灣各店視察復命書終

附
錄

附
帶
費
表

安平支店荷物積揚費表

品目	單位	取立金額	品目	單位	取立金額
品目	單位	取立金額	品目	單位	取立金額
穀物	四斗マテ	〇	輕便枕木	十本	〇
全	四斗以上	〇	鐵道枕木	一個	〇
小	二ッ合	〇	重量品	百斤未滿	〇
大	一個	〇	軌道	一本	〇
石油箱	二ッ合	〇	全	一本	〇
燐寸箱	一個	〇	燈	二枚合	〇
洋樽セメント	一個	二〇	障子襖類	一個	一〇
雜貨	七才未滿	一〇	煉瓦	百個	二〇
全	七才以上	一〇	敷瓦	百個	二〇
全	十才以上	一〇	重量品	百斤以上二百斤迄	二〇
全	十五才以上	二〇	全	二百斤以上三百斤迄	四〇
電柱	二十才以上	三〇	全	三百斤以上四百斤迄	六〇
材	切込	一〇〇	全	四百斤以上五百斤迄	一〇〇
全	四分板三坪マテ	一〇〇	雜貨	三十才以上一個	四〇
全	丸太	一〇〇			

備考 雜貨ハ三十才以上五十才ヲ増ス毎ニ拾錢ヲ追徴ス

基隆支店貨物積揚費表

品目	單位	取立水揚費	支拂仕賃	支拂船賃	支拂船賃	殘	收	船積シタル 總合ノ殘收	本船積入ノ 船積シ賃
品目	單位	取立水揚費	支拂仕賃	支拂船賃	支拂船賃	殘	收	船積シタル 總合ノ殘收	本船積入ノ 船積シ賃
雜貨樽物其他	十才未滿	〇	二	一四	〇	〇	〇	二	一四
全	十才以上	〇	三	四	一〇	〇	〇	六	一六
板	四坪未滿	〇	二	一四	〇	〇	〇	二	一四
電柱	一本	〇	四	一四	〇	〇	〇	二	一六
重量品	二百五十斤未滿	一〇〇	三	六	〇	〇	〇	二	一六
全	二百五十斤	〇	三	六	〇	〇	〇	二	一六
全	乃至五百斤	〇	三	六	〇	〇	〇	二	一六
全	五百斤乃至千斤	〇	三	六	〇	〇	〇	二	一六
材木	一噸	八〇	六	六	〇	〇	〇	二	一六
セメント	四百磅	一五〇	三	〇	〇	一〇〇	〇	二	一六

淡水支店貨物陸揚費明細書

品目	個數	倉入	倉出	船中	合計	貨主取立	品目	個數	倉入	倉出	船中	合計	貨主取立
烏龍茶	大一	八	八	七	三	〇	紙類	大一	三	三	〇	〇	〇
全	大一	八	八	七	三	〇	洋布類	大一	八	〇	〇	八	〇
包種茶	大一	八	八	七	三	〇	全	小一	〇	〇	〇	〇	〇
米	小一	五	五	四	一	五	白砂糖	小一	〇	〇	〇	〇	〇
樟腦	一包	八	八	七	三	〇	唐芋布類	一包	〇	〇	〇	〇	〇
芋麻類	一箱	二	二	一	一	〇	木材及板類	一噸	三	三	〇	〇	〇
雜貨類	一箱	二	二	一	一	〇	全	小一	〇	〇	〇	〇	〇
全	小一	五	五	四	一	五	麥粉	一袋	五	五	三	二	〇
全	中一	〇	〇	〇	〇	〇	麥酒	一袋	五	五	三	二	〇
全	大個	〇	〇	〇	〇	〇	海產物類	大一	〇	〇	〇	〇	〇
造草	一個	〇	〇	〇	〇	〇	全	小一	〇	〇	〇	〇	〇
阿片	一函	〇	〇	〇	〇	〇	茶類	一包	一	一	〇	〇	〇
豚魚	一頭	〇	〇	〇	〇	〇	線板	一箱	八	八	七	一	〇
全	大一	〇	〇	〇	〇	〇	普煉瓦	一函	〇	〇	〇	〇	〇
全	小一	〇	〇	〇	〇	〇	屋瓦	一千	〇	〇	〇	〇	〇

明治三十四年二月五日印刷
明治三十四年二月八日發行

非賣品

發行兼
編輯者

大阪市北區西野田大野町一丁目
番外千四百七十番ノ一

櫻尾繁治

印刷者

全市西區鞆下通一丁目
四十八番屋敷

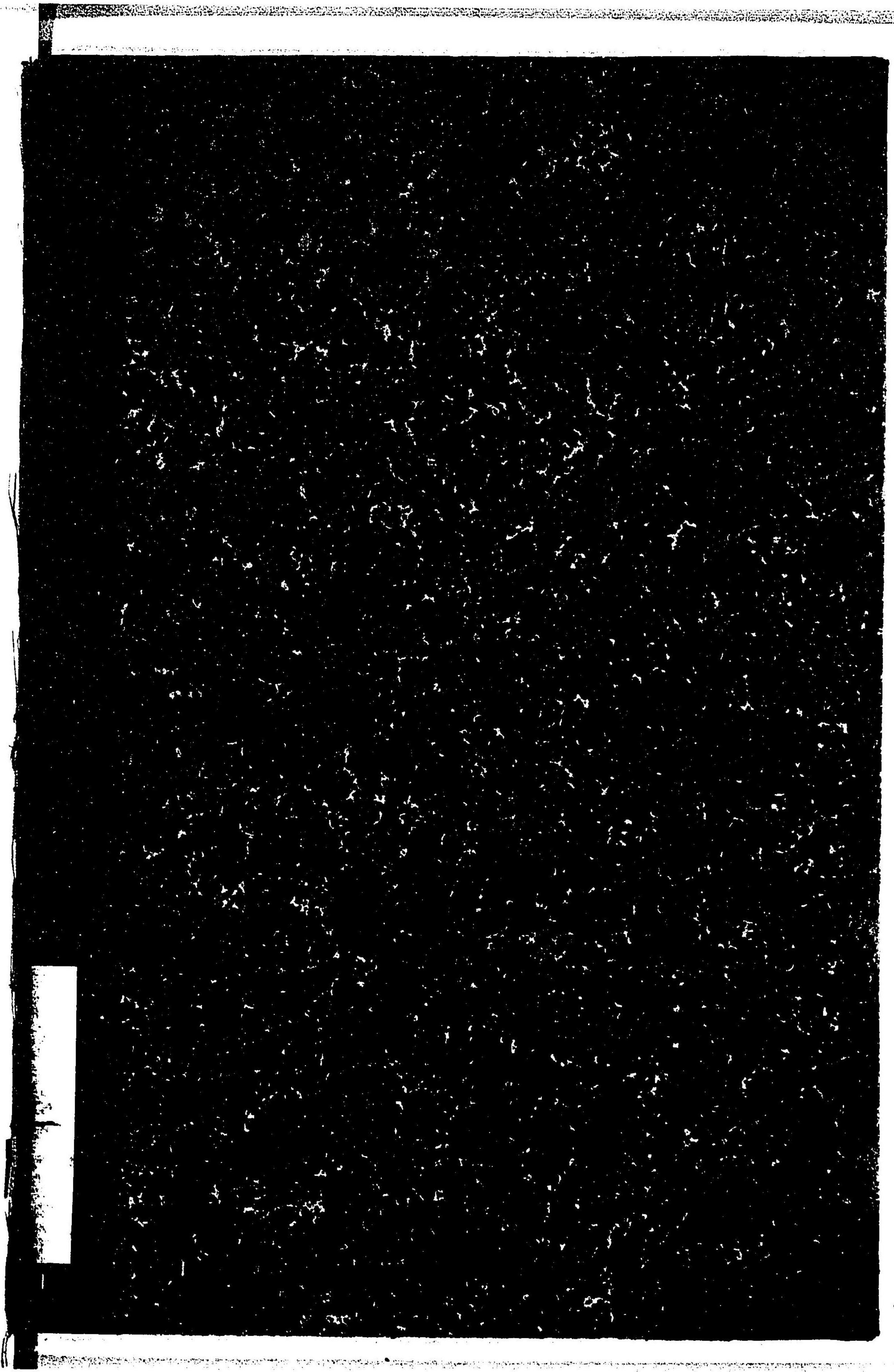
瀬戸清次郎

印刷所

全市九十二番屋敷

鞆活版製造所一成舎

83
90



026589-000-4

83-90

台灣各店視察復命書

樞尾 繁治 / 編

M34

ADD-0269

